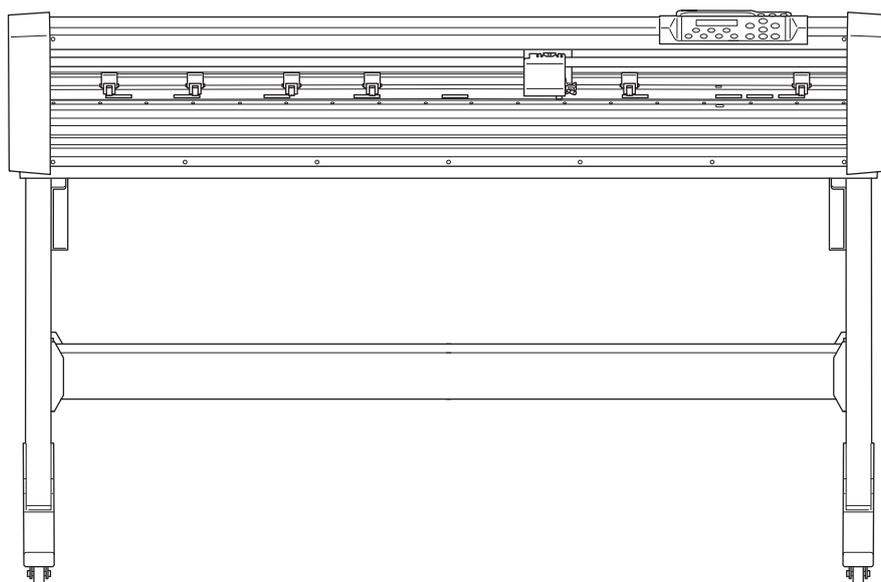


CAMM-1

GR2-640

GR2-540

ユーザーズマニュアル



このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

- 本製品を正しく安全にご使用いただくため、また性能を十分理解していただくために、本書を必ずお読みいただき、大切に保管してください
- 本書の内容の一部または全部を、無断で複写・複製することはできません
- 本製品の仕様ならびに本書の内容は、予告なしに変更することがあります
- 本製品および本書の内容について、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたら、当社あてにご連絡ください
- 本製品の故障の有無にかかわらず、本製品をお使いいただいたことによって生じた直接ないし間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません
- 本製品により作られた製作物に対して生じた、直接ないし間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません

FA04326
R7-240731

<https://www.rolanddg.co.jp/>
Copyright © 2021-2024 Roland DG Corporation

目次

基本的な扱い方	5
基本情報	6
各部の名称と機能.....	7
カッティングマシン本体.....	7
操作パネル.....	9
使用するシートとカットできる範囲.....	10
シートの種類について.....	10
使用可能なシートの条件.....	10
カッティング領域.....	11
メニュー表.....	12
オフラインモードメニュー.....	12
オンラインモードメニュー.....	14
基本の設定と操作	15
使用環境の設定と確認.....	16
表示言語と単位を設定する.....	16
システム情報を確認する.....	17
本機のカッティング設定を優先させる.....	18
プリンタードライバー（または CutStudio/VersaWorks）のカッティング設定を優先させる.....	19
すべての設定を初期設定に戻す.....	20
リヤペーパーセンサーの検知をオフにする.....	21
シートをセットアップする.....	22
セットアップのご注意.....	22
ロールシートをセットする.....	25
平型シートをセットする.....	32
シートのサイズを測定する.....	35
シートを取り外す.....	36
出力の一時停止と中止.....	37
出力の一時停止と再開.....	37
出力の中止.....	37
出力方法	38
カットの方法	39
カット出力の準備.....	40
カッティング条件の目安.....	40
カットテストをする.....	41
カッティング条件を調整する.....	43
カットデータを作り、出力する.....	46
CutStudio を使ってカットする.....	46
Adobe Illustrator を使ってカットする.....	49
CorelDRAW を使ってカットする.....	53
印刷のあとでカットする方法	57
カット出力の準備.....	58
カッティング条件の目安.....	58
カットテストをする.....	59
カッティング条件を調整する.....	61
データを作り、出力する.....	64
印刷のあとでカットするデータを作る.....	65
印刷してカットする（VersaWorks）.....	66
いろんな「カット」と「印刷してカット」	68
長尺で「印刷してカット」をする.....	69
AAS（自動位置合わせ機能）とは.....	69

Adobe Illustrator でセクションカットをする.....	71
CorelDRAW でセクションカットをする.....	76
ミシン目カットをする.....	81
CutStudio でミシン目カットをする.....	81
Adobe Illustrator でミシン目カットをする.....	85
CorelDRAW でミシン目カットをする.....	89
すべてのカット線をミシン目でカットする.....	93
品質と効率を最適化する.....	94
カット品質を最適化する.....	95
シートの厚み/硬さ（柔らかさ）に対応する.....	96
重ね切りをする.....	96
切り込み量を調整する.....	99
角を長めにカットしてカットデータを剥がしやすくする（オーバーカット）.....	100
小さな文字や複雑なグラフィックを綺麗にカットする（タンジェンシャル）.....	101
円弧等の曲線をなめらかにカットする（スムージング）.....	102
カットのずれを防ぐ/直す.....	103
シートのずれ防止とカットの精度を安定させる.....	103
シートの厚みを考慮してカッティング時の距離補正をする.....	104
シート送りを設定して位置ずれを防ぐ.....	106
効率よく作業する.....	108
カス取りをやりやすくする.....	109
シートを無駄なく使う.....	111
未使用で残ったところにカットする.....	111
カッティング範囲を拡張する.....	112
同じものをたくさん作る.....	113
カッティング条件を再利用する.....	114
本体でカッティング条件を保存し、再利用する.....	114
プリンタードライバーでカッティング条件を保存し、再利用する.....	115
出力時間を短縮する.....	118
カッティング中の空送り速度を設定する.....	118
空送り速度の加速レベルを設定する.....	119
AAS センサーのクロープマーク検出速度を設定する.....	120
カットしたい線のみを出力する.....	121
もう一回カットする.....	123
印刷をし終えてから、まとめてカットする.....	124
メンテナンス.....	125
清掃と消耗部品の交換.....	126
機体の清掃.....	127
シート接触部の清掃.....	127
カッターホルダーキャップの清掃.....	129
消耗部品の交換.....	130
カッターの交換.....	131
カッタープロテクションの交換.....	133
AAS オフセットテスト.....	135
AAS オフセットテストをする.....	136
AAS オフセットを調整する.....	138
こんなときは.....	140
機体のトラブル.....	141

機体が動作しない.....	142
ケーブルは接続されていますか？.....	142
電源がオフになっていませんか？.....	142
パワー LED ランプが点灯していますか？.....	142
通信設定は正しいですか？.....	142
オンラインモードになっていますか？.....	142
アプリケーションソフトウェアの設定が間違っていないですか？.....	142
操作アプリからカットデータを送信できない.....	143
通信エラーが発生していませんか？.....	143
カット出力のトラブル.....	144
クロップマークを検出できない.....	145
シートを正しく取り付けましたか？.....	145
白色以外、または光沢の強いシートを使っていませんか？.....	145
透明なシートを使っていませんか？.....	145
シートに折り目やしわがついていませんか？.....	145
クロップマークがかすれているか、黒以外の色ではありませんか？.....	145
クロップマークは正しい位置に配置されていますか？.....	145
直射日光や室内照明の強い光が当たっていませんか？.....	146
シートはまっすぐきちんとセットしてありますか？印刷結果が斜めになっていませんか？.....	146
クロップマークの大きさや形は正しいですか？.....	146
拡大／縮小印刷をしていませんか？.....	146
クロップマークの線幅は適切ですか？.....	146
シート送りがなめらかでない.....	147
シートが厚すぎませんか？.....	147
グリットローラーが汚れていませんか？.....	147
シートはまっすぐきちんとセットしてありますか？.....	147
カッティング中、ピンチローラーからシートが外れる.....	148
シートがルーラーの目盛りと平行に取り付けられていますか？.....	148
カッティング中にシートが障害物に当たっていませんか？.....	148
シート送りを確認せずにカッティングを実行しませんでしたか？（ロールシートの場合）.....	148
ピンチローラーでシートの両端を固定していますか？.....	148
カッティング中にシートが浮き上がり、カッターでシートを傷つけてしまう.....	149
幅の広いシートを使用していませんか？.....	149
カッティングキャリッジの水平移動の速度が速すぎませんか？.....	149
カット品質のトラブル.....	150
プリントとカットがずれる.....	151
厚手のシートを使用していませんか？.....	151
センサーの読み取りにずれがありませんか？.....	151
カッティング前にシートが引き出されるように設定していますか？.....	151
カットデータを回転していませんか？.....	151
切り残しがある/カットした線がきれいでない.....	152
カッター、カッターホルダーはしっかりと取り付けられていますか？.....	152
カッターの刃先が欠けていませんか？.....	152
刃先にほこりやシートの糊がついていませんか？.....	152
カッターホルダーの内部にシートやほこりが入り込んでいませんか？.....	152
厚手のシートを使用していませんか？.....	152
カット圧、カッティング速度は適切ですか？.....	152
刃先補正量は適切ですか？.....	153
スムージングが[ムコウ]になっていませんか？.....	153
カッタープロテクションが傷ついたり、変形したりしていませんか？.....	153
台紙をカットしてしまう.....	154
カットするシートに対して、カッターの刃先調整、カッター圧は適切ですか？.....	154
二度切りされてしまう.....	155
線が重なっていませんか？.....	155
CutStudio の「重ね切り回数」は「0」になっていますか？.....	155
プリンタードライバーの[Back to Home]がオンになっていませんか？.....	155
カットの始終点が合わない.....	156

シート送りを設定しましたか？	156
操作パネルのメッセージ	157
メッセージ	158
[File Too Large Press OFFLINE]	158
[Buffer Empty Press OFFLINE]	158
[Reboot Please]	158
[File size exceed 16M Please adjust]	158
[Please Stop Transmit File: Press OFFLINE]	158
[AAS Detect Fail]	158
[AAS ADC Value Error]	158
エラーメッセージ	159
[Error; Rollers Are /Up Sensor]	159
[Error; Check Media Or Drum Or X Motor]	159
[Error; Check Media Or Y Motor]	159
[Error; Check Carriag Sensor Or VC Motor]	159
[Out Of Space; # of Copies finished]	159
[HPGL/2 Cmd. Error]	159
[Communication Error Setup Press MISC]	159
[AAS File Command Error]	160
[ERROR: AAS CMDs was Wrapped]	160
付録	161
移送するときの作業	162
シートとカッターホルダーを取り外す	163
カッティングキャリッジとピンチローラーを固定具で固定する	164
USB ケーブルバンドを取り外す	165
クロップマークについて	166
クロップマークの種類	167
余白とクロップマーク間の距離設定	168
CutStudio / VersaWorks の作業領域と必要な余白	168
AAS プラグイン の作業領域と必要な余白	169
AAS プラグインでの位置合わせについて	170
4点方式	170
セグメント方式	171
複数方式	172
Memo	173

基本的な扱い方

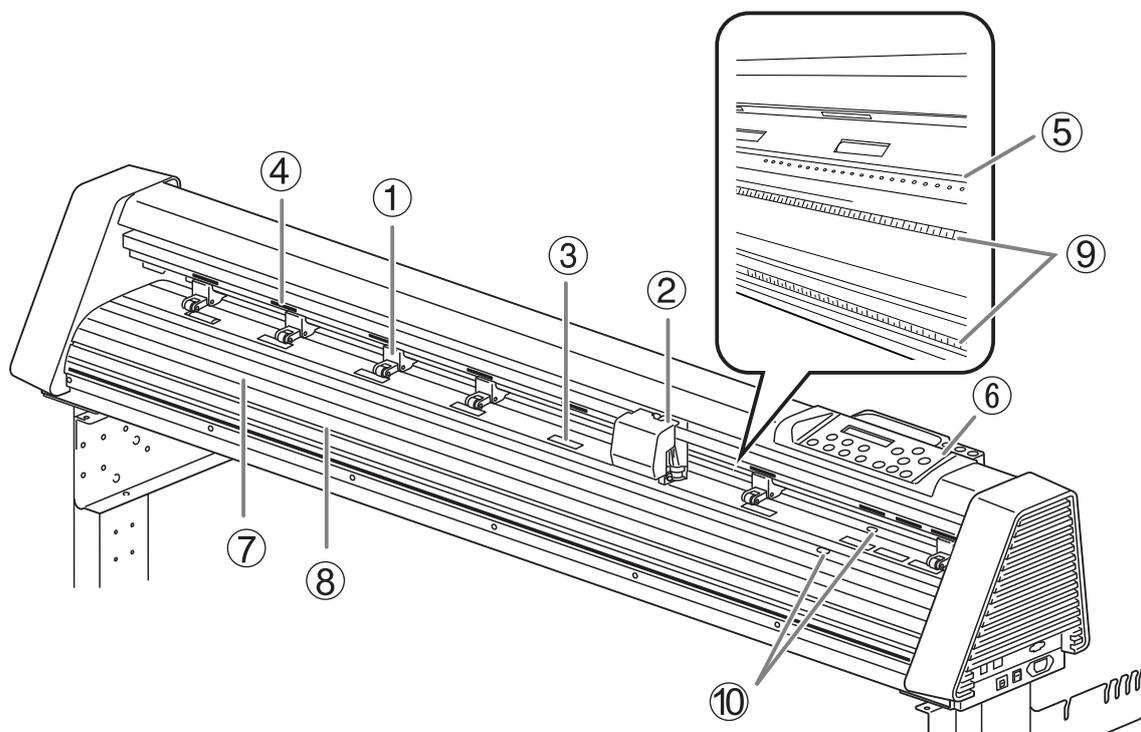
基本情報

各部の名称と機能.....	7
カッティングマシン本体.....	7
操作パネル.....	9
使用するシートとカットできる範囲.....	10
シートの種類について.....	10
使用可能なシートの条件.....	10
カッティング領域.....	11
メニュー表.....	12
オフラインモードメニュー.....	12
オンラインモードメニュー.....	14

各部の名称と機能

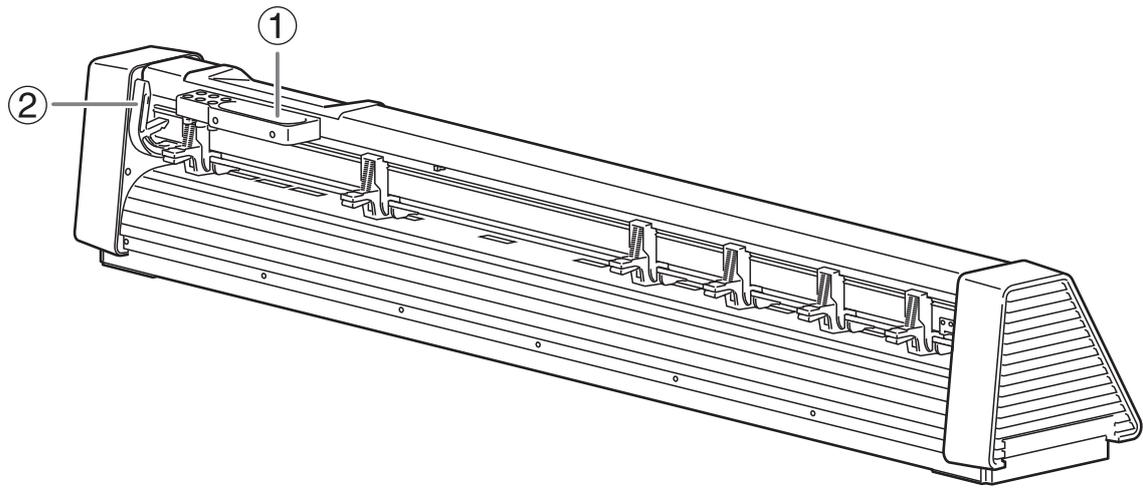
カッティングマシン本体

前面



番号	名称	機能概要
①	ピンチローラー	レバーを下げると、シートを挟み込みます。レバーを上げるとシートの固定を解除します
②	カッティングキャリッジ	カッターホルダーを取り付けます。左右に動いてシートをカットします
③	グリットローラー	シートを前後に送るローラーです
④	グリットマーク	グリットローラーの位置を示します。シートを取り付けるとき、ピンチローラーは必ずこのマークの範囲内に配置してください
⑤	カッタープロテクション	カッティングのときのカッターの通り道です。カッターの刃先を保護します
⑥	操作パネル	本機を操作するボタンが配置されたパネルです
⑦	プラテン	シートの通り道です
⑧	切断溝	溝に沿ってセイフブレードをスライドして、シートを切り離します
⑨	ルーラー	前後のルーラーを目安にシートをセットします
⑩	ペーパーセンサー	シートの有無を検知します

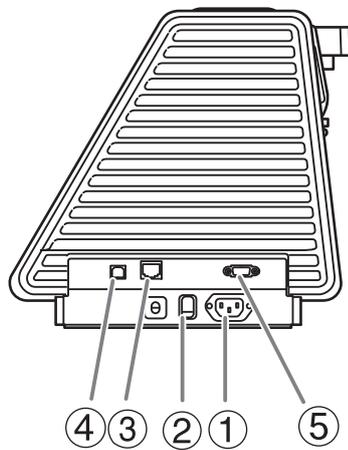
背面



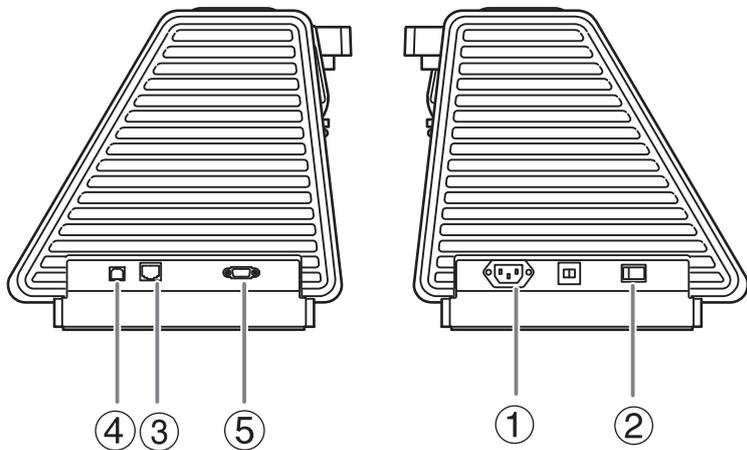
番号	名称	機能概要
①	小物置き場	クリップやカッターなどの小物を置くスペースです
②	レバー	ピンチローラーを上げたり、下げたりします。ピンチローラーの移動やシートをセットするときに操作します

側面

GR2-640

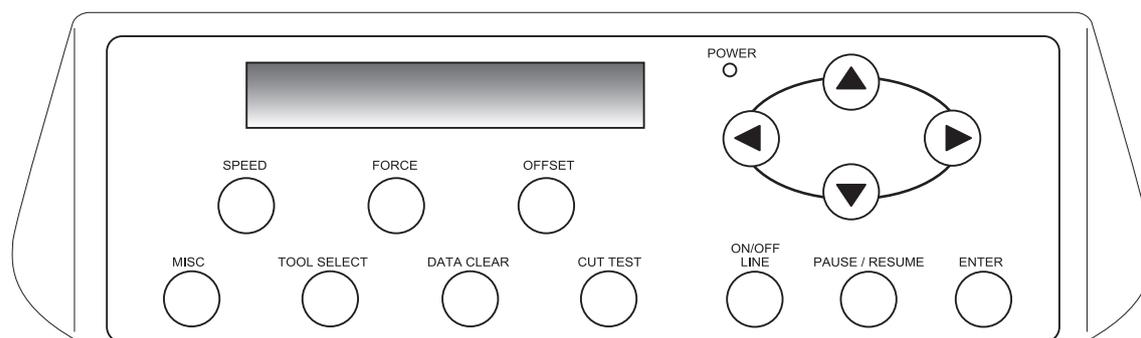


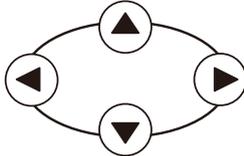
GR2-540



番号	名称	機能概要
①	電源コネクタ	電源コードを接続します
②	電源スイッチ	電源をオンオフします
③	イーサネットコネクタ	イーサネットケーブルを接続します
④	USB コネクタ	USB ケーブルを接続します
⑤	シリアルコネクタ (RS-232C)	RS-232C ケーブルを接続します。USB ケーブル接続時は無効になります

操作パネル



部位	名称	詳細	本書内での表記
	表示画面	各種の設定メニューなどを表示します	
POWER ○	パワー LED ランプ	電源をオンにすると点灯します	[POWER]
	カーソルキー	各種メニューの設定、シートやカuttingキャリッジの移動などに使います	[◀] [▼] [▲] [▶]
ENTER ○	エンターキー	設定値の決定などに使います	[ENTER]
PAUSE / RESUME ○	ポーズ/レジュームキー	出力を一時停止します。もう一度押すと再開します	[PAUSE/RESUME]
ON/OFF LINE ○	オン/オフ ラインキー	シートがセットアップされているとき、モードを切り替えます	[ON/OFF LINE]
SPEED ○	スピードキー	カuttingの速度と品質の値を設定します	[SPEED]
FORCE ○	フォースキー	カッターの圧力を設定します	[FORCE]
OFFSET ○	オフセットキー	カッターの刃先補正量を設定します	[OFFSET]
MISC ○	MISC キー	基本的な操作を設定したり、システム情報を確認します	[MISC]
TOOL SELECT ○	ツールセレクトキー	カッター制御を設定したり、初期設定に戻したいときに使います	[TOOL SELECT]
DATA CLEAR ○	データクリアキー	キャッシュを削除します	[DATA CLEAR]
CUT TEST ○	カットテストキー	カットテストやカットテストの条件を設定します	[CUT TEST]

使用するシートとカットできる範囲

シートの種類について

本機で使用するシートは大きく分けて次の2種類があります。

- ロールシート
紙管などに巻かれているもの
- 平型シート
定型サイズのシートなど、紙管などに巻かれていないもの

用途に合わせて、さまざまな種類のシートを選択できます。各シートの詳細については、シートの購入先にお問合せください。

メモ

本書ではロールシート、平型シートを総称して、「メディア」と表記することがあります。

使用可能なシートの条件

本機にセットできるシートの条件は以下のとおりです。

		GR2-640 (64 インチ)	GR2-540 (54 インチ)
サイズ	幅	50 ~ 1,782 mm	50 ~ 1,594 mm
	長さ*1	120 mm 以上 (平型シート)	
	カッティング可能なシートの厚み*2	0.8 mm 以下 (シートの材質による)	
	ロールシートの最大外径	160 mm*3 (ロールホルダーフランジを使用しない場合は 210 mm)	
	ロールシートの紙管内径*3	76.2 mm (3 インチ)	
重量	ロールシートの最大重量	24 kg	20 kg

*1 ロールシートについては、制限がありません

*2 台紙 (剥離紙) を含む厚みです

*3 ロールホルダーフランジ使用時

その他の条件

次のようなシートは使用できません。

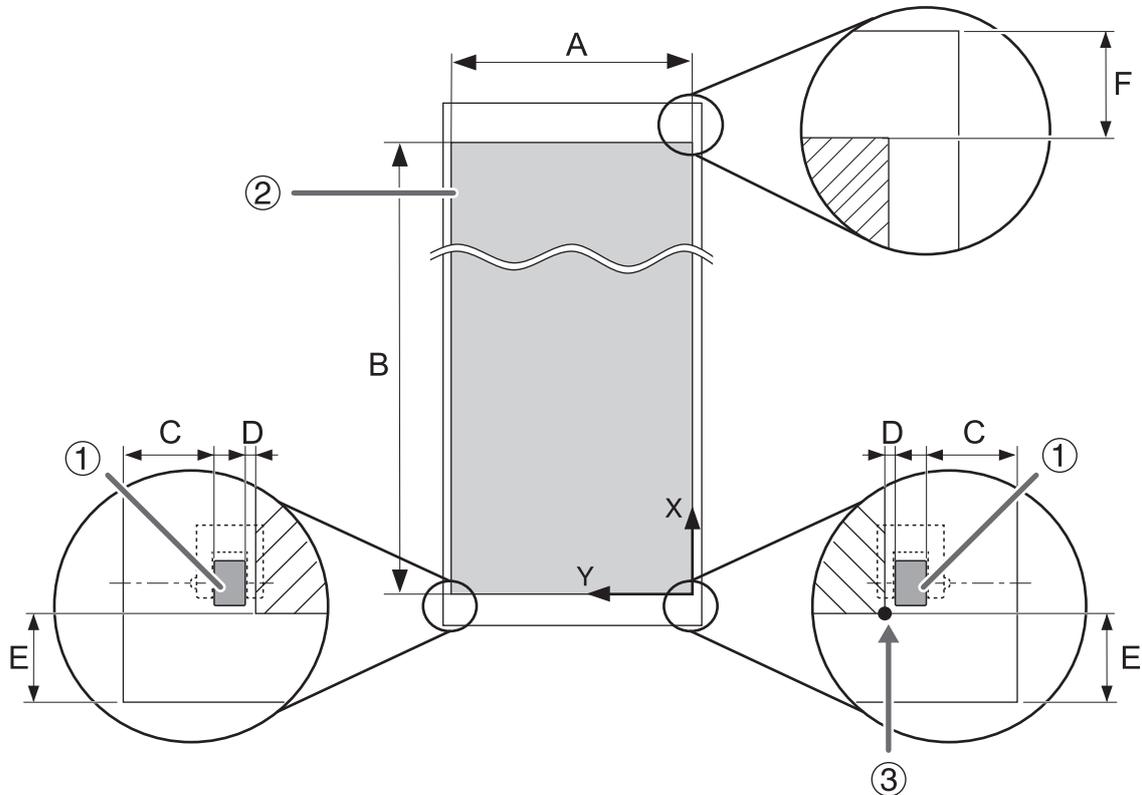
- シートが強く反っていたり、折れ曲がっている
- シートの左右端が平行ではない
- 透明シート
- 色付きのシート (プリント&カットをする場合)

メモ

プリント&カットでは、レーザープリンターやインクジェットプリンターで印刷することができる、台紙のついた白地のシートを使用してください。

カッティング領域

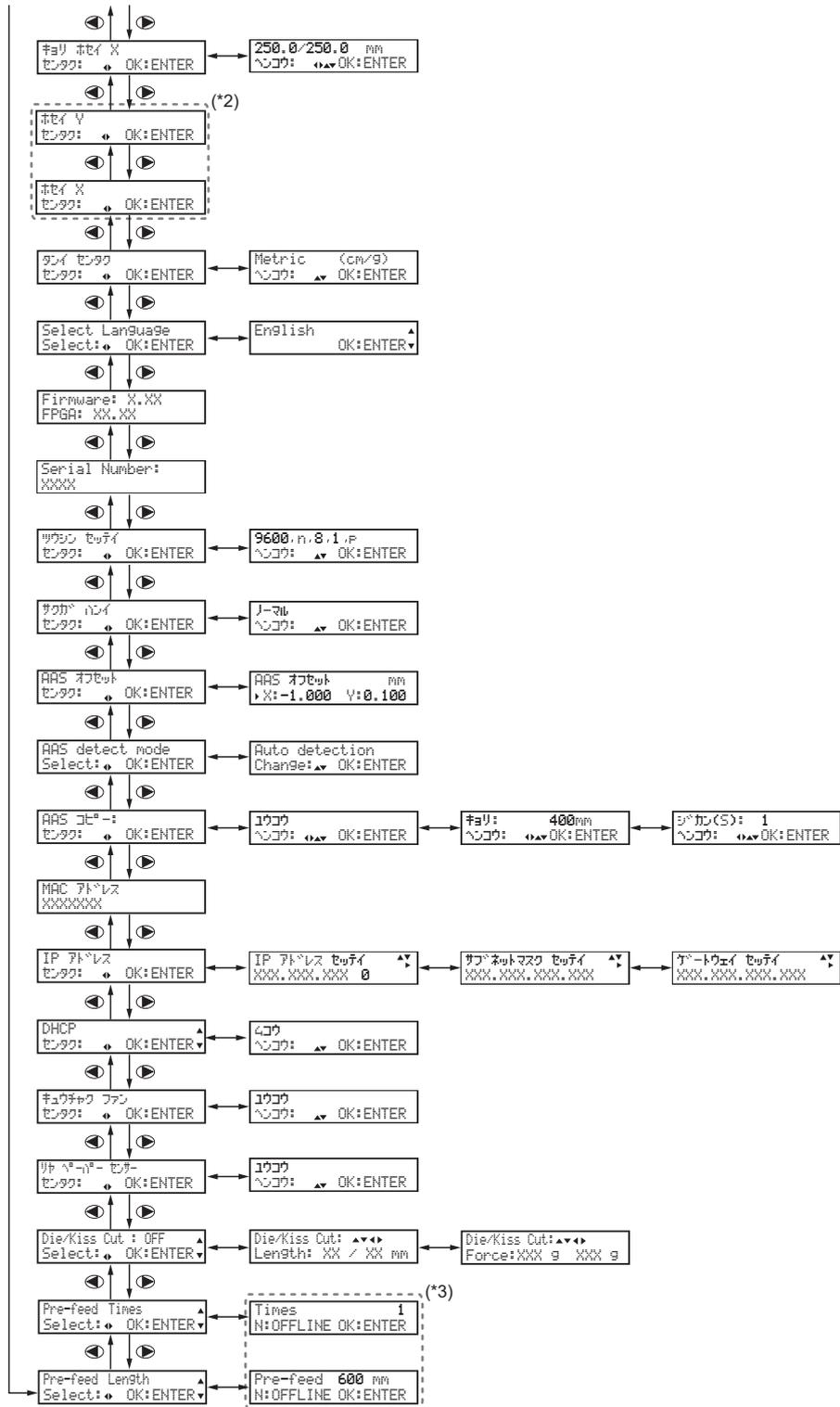
シートの横方向（カッティングキャリッジの移動方向）のカッティング領域は、シートの両端にセットされるピンチローラーの位置で決まります。クロップマークを使用するプリント&カットでは、設定するクロップマークのサイズとマージン分だけ縦横の最大領域が小さくなります。



①	ピンチローラー
②	カッティング領域
③	カッティング座標原点
A	64 インチモデル：最大 1,627 mm、54 インチモデル：最大 1,372 mm
B	最大 50,000 mm*1
C	シート長さ (B) が 4,000 mm 以下の場合：0.5 ~ 25 mm シート長さ (B) が 4,000 mm を超える場合：25 mm ~
D	約 1 mm
E	最小 25 mm
F	最小 85 mm / 35 mm*2

*1 精度保証範囲については、セットアップガイドの「仕様」を参照してください。

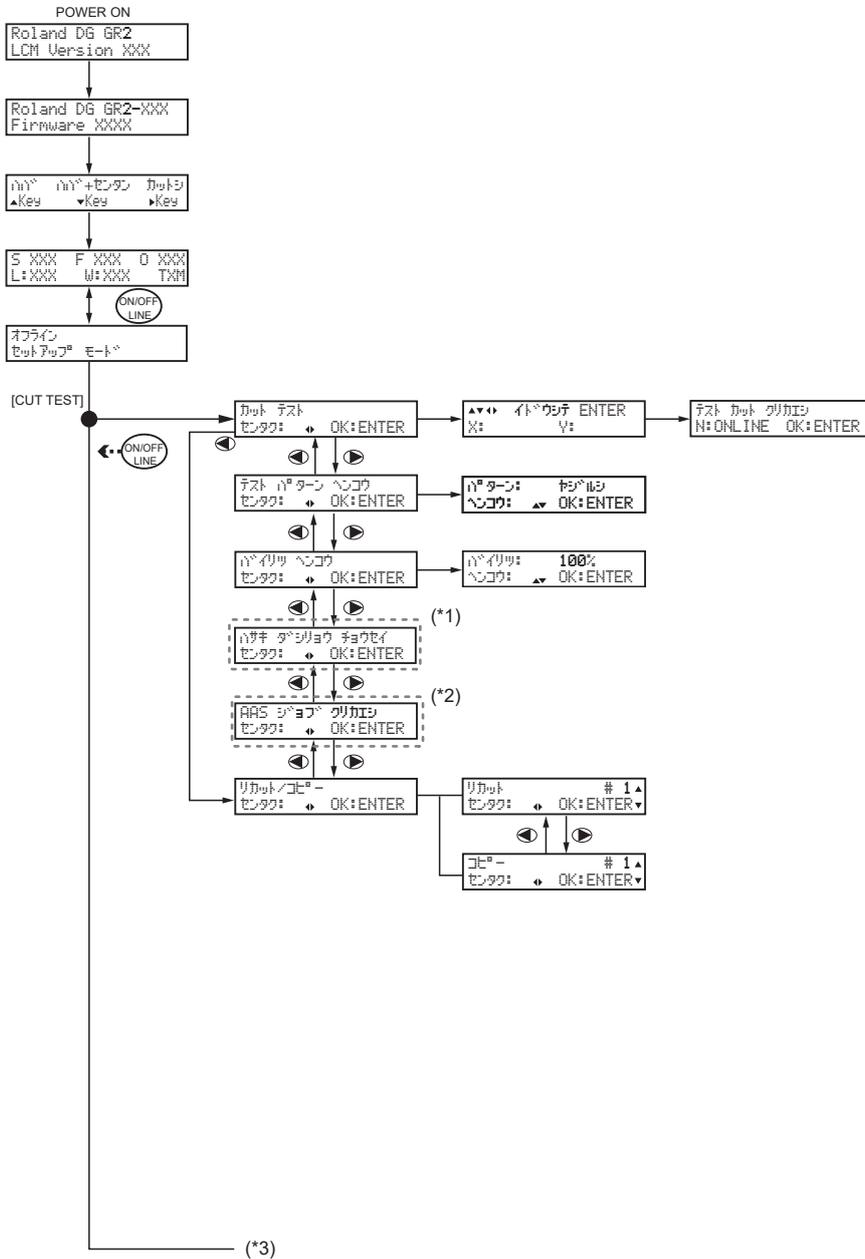
*2 送り方向（長さ）拡張時



- (*1) [ユウコウ] にすると、[Pre-feed Length] メニューに移動します。
- (*2) 通常は使用しません。
- (*3) [ジドウ メディア フィード] メニューが [ユウコウ] のときに設定できます。

オンラインモードメニュー

オンラインモードとは、本機にシートがセットされると表示されるカッティング開始モードです。カット出力するときはオンラインモードにしてコンピューターから送信されるカットジョブを受信します。[ON/OFF LINE] を押して、オンラインモードとオフラインモードに切り替えることができます。



(*1) 本機では使用しません。

(*2) AAS プラグインを使用してクロップマーク付きのカットデータを出力した後に表示されます。このメニューが表示されるときは、[リカット/コピー] メニューが表示されません。(最後に出力したデータによって、どちらか一方のメニューが表示されます)

(*3) [ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードのメニューを設定できます。

基本の設定と操作

使用環境の設定と確認.....	16
表示言語と単位を設定する	16
システム情報を確認する	17
本機のカッティング設定を優先させる	18
プリンタードライバー（または CutStudio/VersaWorks）のカッティング設定を優先させる	19
すべての設定を初期設定に戻す	20
リヤペーパーセンサーの検知をオフにする	21
シートをセットアップする.....	22
セットアップのご注意	22
ロールシートをセットする	25
平型シートをセットする	32
シートのサイズを測定する	35
シートを取り外す	36
出力の一時停止と中止.....	37
出力の一時停止と再開	37
出力の中止	37

使用環境の設定と確認

表示言語と単位を設定する

操作パネルの表示画面に表示される言語と単位を設定します。

手順

1. [MISC] を押す。
シートがセットされている場合は、[ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替えてください。
2. 表示言語を設定する。
 - (1) [▶] を何回か押して、以下の画面を表示する。
The image shows a monochrome LCD screen with the text "Select Language" on the top line and "Select: ◀ OK:ENTER" on the bottom line. A small diamond-shaped cursor is positioned to the left of the text "Select:".
 - (2) [ENTER] を押す。
 - (3) [▲] [▼] を押して、表示言語を選択する。
 - (4) [ENTER] を押して決定する。
3. 長さの単位を選択する。
 - (1) 以下の画面で [ENTER] を押す。
選択した言語で画面に表示されます。
The image shows a monochrome LCD screen with two lines of text: "センチ メートル" on the top line and "メートル: ◀ OK:ENTER" on the bottom line. A small diamond-shaped cursor is positioned to the left of the text "メートル:".
 - (2) [▲] [▼] を押して、長さの単位を選択する。
 - (3) [ENTER] を押して決定する。
4. [ON/OFF LINE] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

出荷時設定：

- 表示言語：[English]
- 単位：[Metric]

システム情報を確認する

ファームウェアのバージョン、IP アドレス、MAC アドレスなどのシステム情報を確認します。

手順

1. [MISC] を押す。
シートがセットされている場合は、[ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替えてください。
2. [▶] を何回か押して、以下の画面を表示する。

表示画面	確認内容
	ネットワーク上の DHCP サーバーから割り当てられた IP アドレス
	カッティングマシンの固定 IP アドレスを手動で設定
	機器の MAC アドレス
	RS-232C ケーブルの通信速度を設定
	ファームウェアのバージョン
	機器のシリアル番号

メモ

ネットワークの設定方法については「インストールガイド」をご覧ください。

3. [ON/OFF LINE] を押して、もとの画面に戻る。

本機のカッティング設定を優先させる

プリンタードライバーの設定よりも、操作パネルのカッティング設定を優先するよう設定します。カッティング設定（カット圧・スピード・品質・オフセット）は、通常はプリンタードライバー（または CutStudio/VersaWorks）の設定を優先します。

手順

1. [TOOL SELECT] を押す。
シートがセットされている場合は [ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替えてください。

2. [▶] を何回か押して、以下の画面を表示する。

パネル ユーザー
設定: ◀ OK:ENTER

3. [ENTER] を押す。

4. [▲] [▼] を押して、[パネル ユーセン] を選択する。

プリンタードライバーの設定よりも、操作パネルで設定したカッティング条件を優先します。[コマンド ユーセン] に設定していると、プリンタードライバー（または CutStudio/VersaWorks）の設定を優先します。

パネル ユーセン
設定: ▲ OK:ENTER

5. [ENTER] を押して決定する。

6. [ON/OFF LINE] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

出荷時設定：[コマンド ユーセン]

プリンタードライバー（または CutStudio/VersaWorks）のカッティング設定を優先させる

操作パネルのカッティング設定よりも、プリンタードライバー（または CutStudio/VersaWorks）の設定を優先するように設定します。

手順

1. [TOOL SELECT] を押す。
シートがセットされている場合は [ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替えてください。

2. [▶] を何回か押して、以下の画面を表示する。



```
プリンタードライバー
エンター: ▶ OK:ENTER
```

3. [ENTER] を押す。

4. [▲] [▼] を押して、[コマンド ユウセン] を選択する。

操作パネルの設定よりも、プリンタードライバー（または CutStudio/VersaWorks）で設定したカッティング条件を優先します。



```
コマンド ユウセン
エンター: ▼ OK:ENTER
```

5. [ENTER] を押して決定する。

6. [ON/OFF LINE] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

出荷時設定：[コマンド ユウセン]

すべての設定を初期設定に戻す

変更したすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

メモ

この操作をすると、全ての設定が初期設定値に戻るため、それまでの各種設定が消去されます。カッティング条件など必要な情報を記録しておいてください。

手順

1. [TOOL SELECT] を押す。
シートがセットされている場合は [ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替えてください。

2. [▶] を押して、以下の画面を表示する。

```

モッテイ ショキカ
モッタク: ◀ OK:ENTER
    
```

3. [ENTER] を押す。

以下の画面が表示されます。初期設定に戻さない場合は、この画面のまま手順5に進んでください。

```

Cancel Restore
モッタク: ▲ OK:ENTER
    
```

4. [▼] を押して、以下の画面を表示する。

```

Sure to Restore
モッタク: ▲ OK:ENTER
    
```

5. [ENTER] を押す。

[Cancel Restore] 画面で [ENTER] を押した場合は、元の画面に戻ります。

6. 以下の画面が表示されたら、電源をオフにする。

```

テンゲン スイッチ オフ
    
```

リヤペーパーセンサーの検知をオフにする

カッティングマシン後方にあるペーパーセンサーの検知をオフにします。本機にシートが確実にセットされていることを通知するため、通常は〔ユウコウ〕にしておくことをおすすめします。シートサイズをロールモード、またはエッジモードで測定するときに有効です。

手順

1. [MISC] を押す。
シートがセットされている場合は、[ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替えてください。
2. [▶] を何回か押して、以下の画面を表示する。

3. [ENTER] を押す。
現在の設定が表示されます。
4. [▲] [▼] を押して、〔ムコウ〕にする。
5. [ON/OFF LINE] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

出荷時設定：〔ユウコウ〕

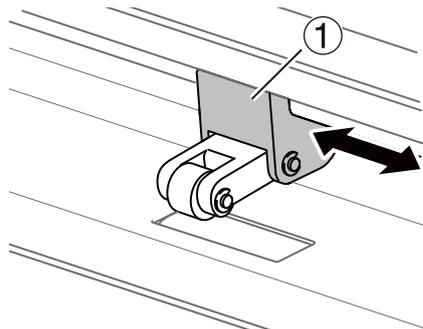
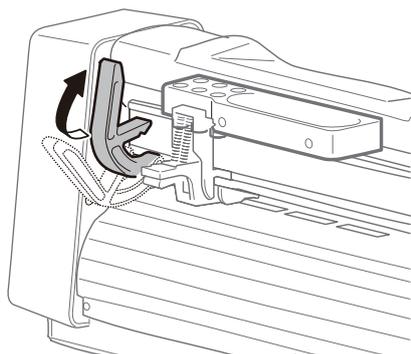
シートをセットアップする

セットアップのご注意

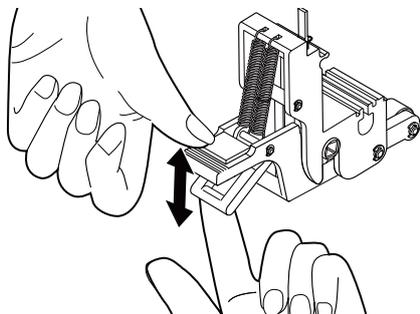
1. ピンチローラーについて

ピンチローラーの場所を移動する場合は、次のことをご守りください。

- ピンチローラーは、降りたまま移動しないこと。レバーを上げてピンチローラーを上げてから移動してください。
- ピンチローラーを移動するときは、ピンチローラーサポート (①) を持ってください。

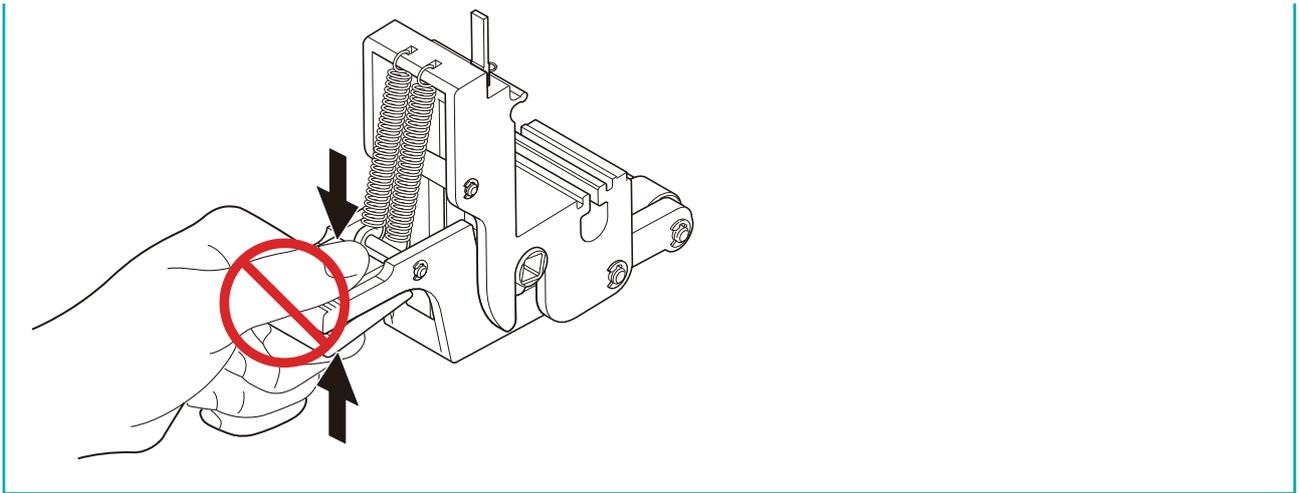


シートのセットアップに使わないピンチローラーは、ピンチローラー上部のグリップを押して上げておきます。元に戻すときは、上部グリップを支えながら下部のグリップを上押ししてください。



重要

ピンチローラーの上下のグリップを同時に握るとグリップが壊れる可能性があります。



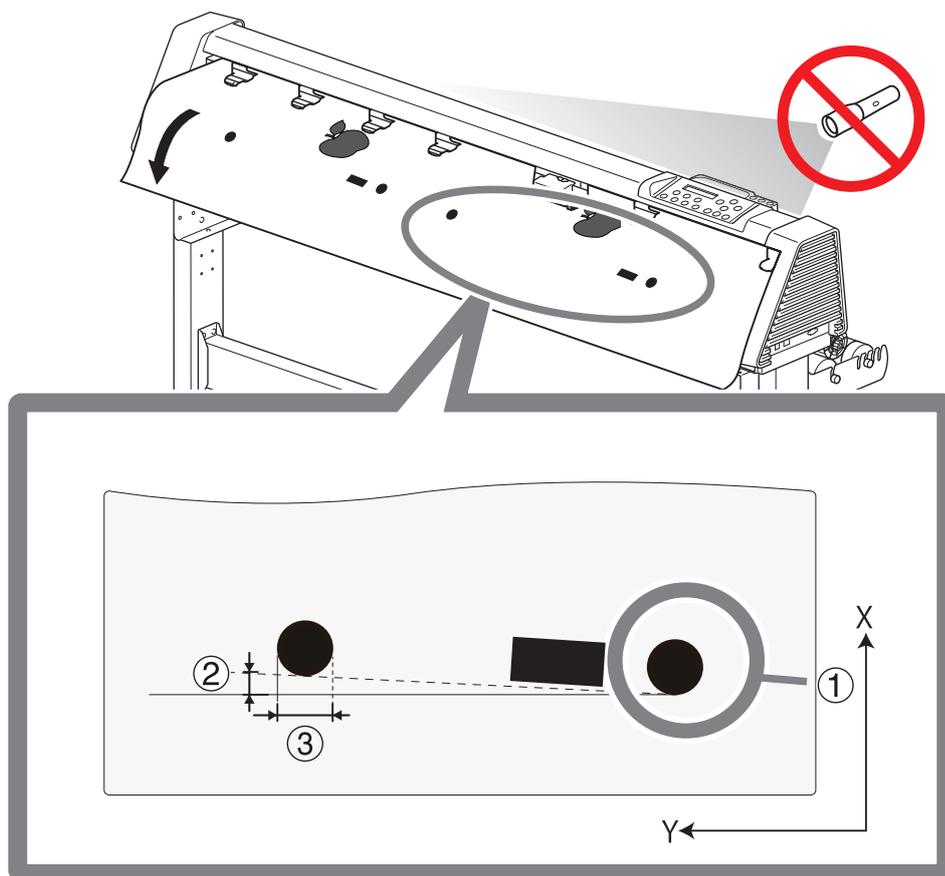
2. シートの取り付けについて

シートを本機に正しくセットしてください。

- シートの両端に必要なスペースを空けてピンチローラーを配置してください
- シートを固定する両端のピンチローラーは、グリットローラーの位置を示すグリットマーク内に配置してください。グリットマークから外れて配置されていると、シートがうまく送られません
- 両端のピンチローラーで固定してもシートが浮きあがるとき、大きなサイズのシートをセットするときは、シートの中にピンチローラーを配置してください。シートの中にピンチローラーを配置する場合は、シートにピンチローラーの跡が残ることがありますので、カットデータ上をなるべく避けてください
- シートはまっすぐセットしてください。曲がっているとシートをまっすぐ送ることができません

印刷してカットするときでは、クロップマークの読み取りのため次の点に注意してください。

- カuttingキャリッジ内の AAS センサーに水平に当たる照明は避けてください
- 本機に向かって右手前にクロップマークの原点 (①) を配置してください
P. 168 余白とクロップマーク間の距離設定
- クロップマークの原点 (①) と 2 番目のマークに傾きがないようシートをセットしてください
傾きの許容範囲 (②) : クロップマークの長さ (③) の半分以下
- Y 方向の最初のクロップマークはグリットローラー上を避け、Cuttingキャリッジの経路付近に配置してください



ロールシートをセットする

1. ロールシートをセットする

ロールシートをカッティングマシンに取り付けます。

⚠ 注意

ロールメディアは正しくセットする。
メディアが落下してけがをすることがあります。

⚠ 注意

ロールメディアは重さが 24 kg (54 インチモデルは 20 kg) 程度ある。
取り扱うときはけがに注意すること。

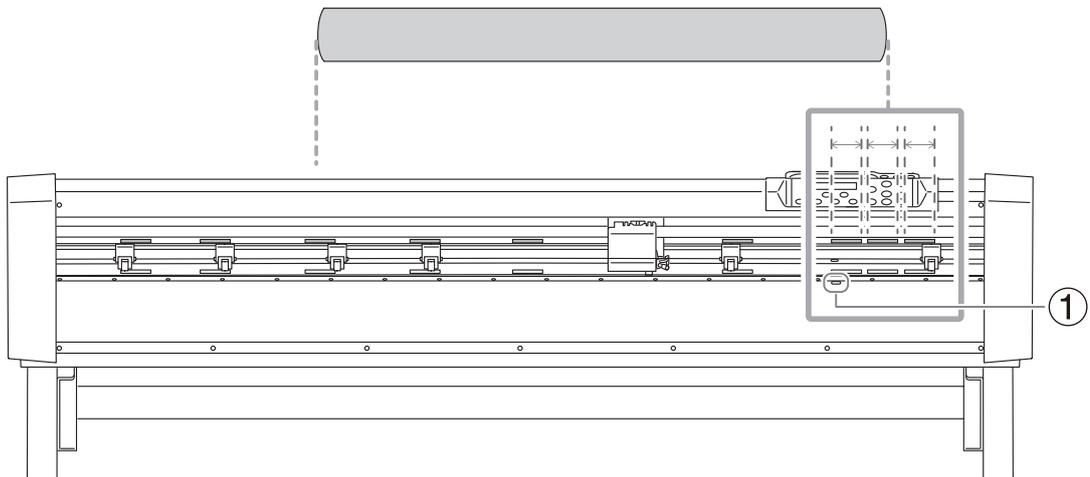
⚠ 注意

重さが 24 kg (54 インチモデルは 20 kg) を超えるメディアをセットしない。
本機が重さに耐えられず、転倒したり、メディアが落下する恐れがあります。

手順

1. グリットマークを基準に、ロールシートの両端位置を決める。

本体前面から見てシートの右端は、グリットマークの範囲内、かつペーパーセンサー (①) が覆われる位置にしてください。

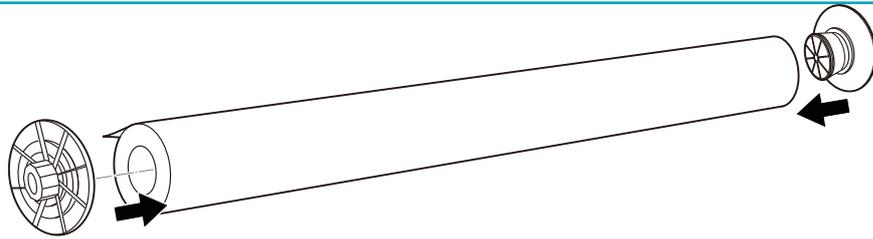


2. ロールホルダーフランジをロールシートの紙管に挿入する。

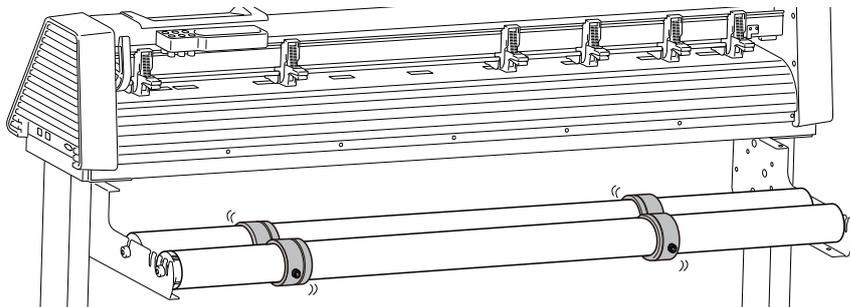
ロールホルダーフランジのツマミを回してロールシートにしっかり固定してください。

メモ

外径が 160 mm を超えるロールシート、または 2 インチ紙管のロールシートにはロールホルダーフランジを使用できません。



3. ロールシート両端の位置に合わせてロールホルダーガイドブッシュを配置する。
ロールホルダーガイドブッシュは樹脂ネジを緩めた状態で移動してください。

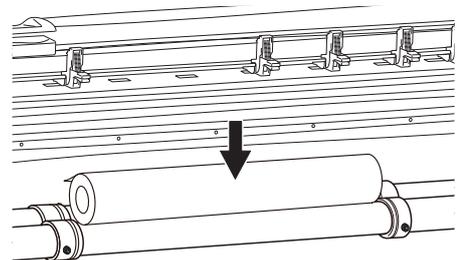
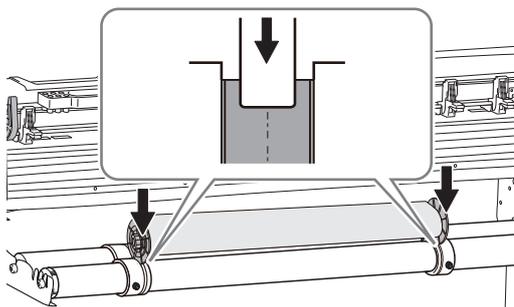


4. ロールホルダーにロールシートを置く。

- ロールホルダーフランジを使用する場合は、ロールホルダーガイドブッシュの溝の側面にロールホルダーフランジが干渉しないよう、ロールホルダーフランジを溝の中央に置いてください。干渉によってシート送りの不均衡が生じ、シートずれの原因になります。
- ロールホルダーフランジを使用しない場合は、2 本のロールホルダーと前後左右のロールホルダーガイドブッシュの間にロールシートを置いてください。ダンパー付きロールホルダーをロールホルダーサポートの本体側 2 つ目までの切り欠きに配置する場合、ダンパー付きロールホルダーからロールホルダーガイドブッシュを取り外してください。

ロールホルダーフランジを使用する場合

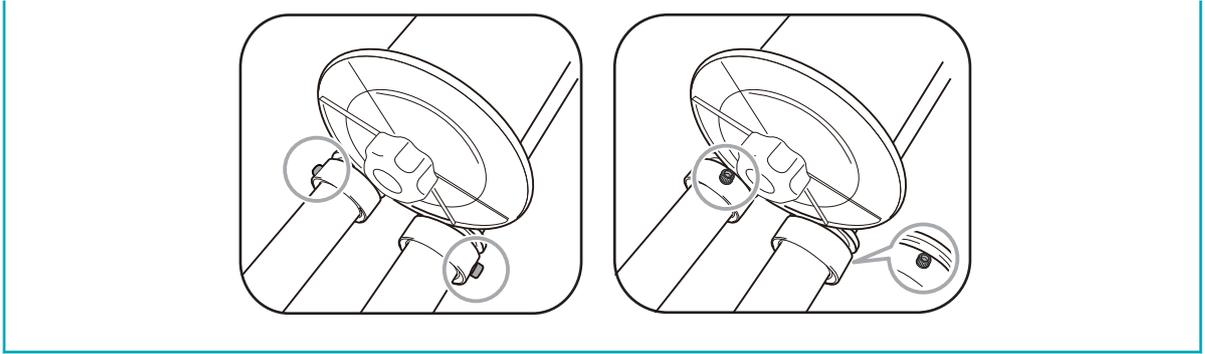
ロールホルダーフランジを使用しない場合



5. ロールホルダーガイドブッシュの樹脂ネジを締める。

重要

ロールシートを送るときにロールホルダーの回転軸の質量をバランスよく分布させるため、機体側と手前側のロールホルダーガイドブッシュの樹脂ねじは図のように 180 度反対方向に配置してください。

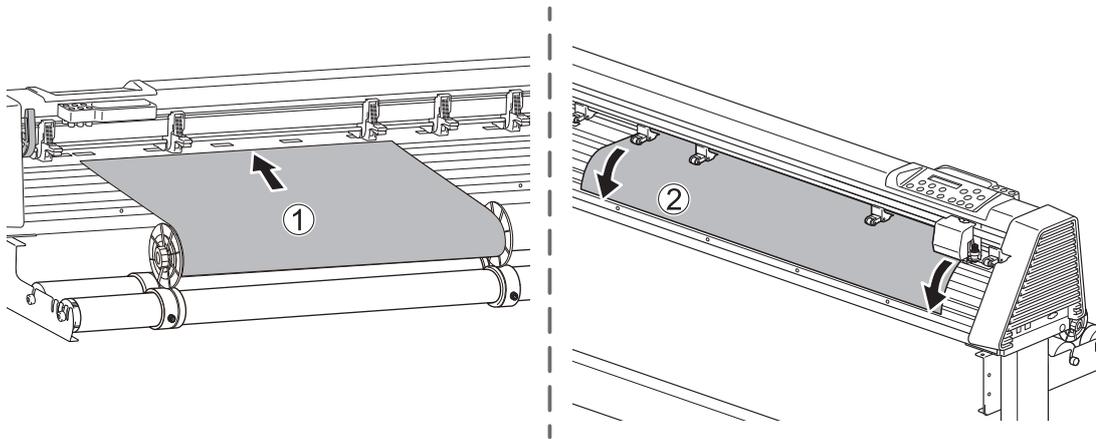


6. レバーが上がっていることを確認する。

レバーが下がっている場合は、レバーを上げてください。

7. 本体背面からロールシートの先端をピンチローラーとグリットローラーの間に通し (①)、ルーラーの目盛り (上下 2 箇所) を目安にプラテンの上までまっすぐ引き出す (②)。

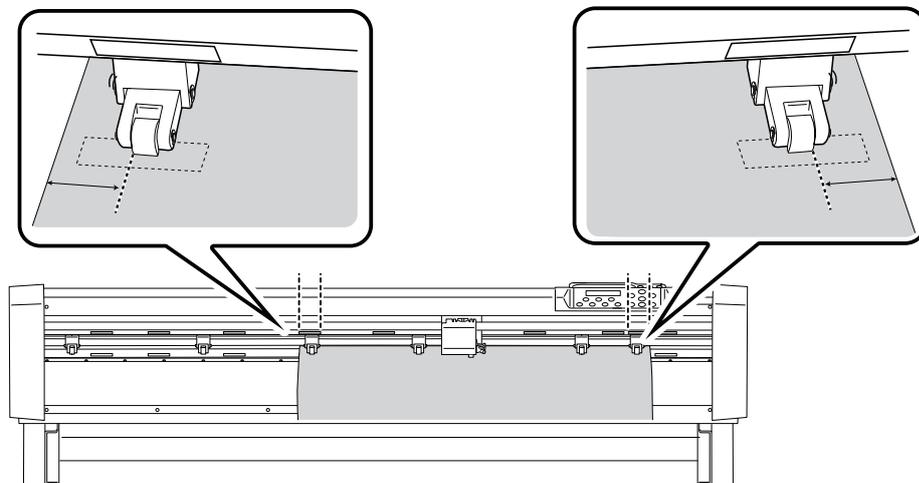
シートは少し長めに引き出して、たるませておきます。



8. ピンチローラーをロールシートの両端に配置する。

グリットマーク内にピンチローラーが配置されていることを確認してください。グリットマーク内から外れてピンチローラーが配置されていると、シートが正常に送られません。

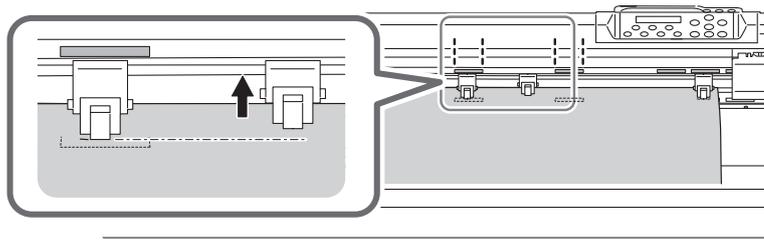
ピンチローラーは、シートの両端から 0.5~25 mm (セットするロールシートの長さが 4 m を超える場合は 25 mm 以上) 内側に配置してください。



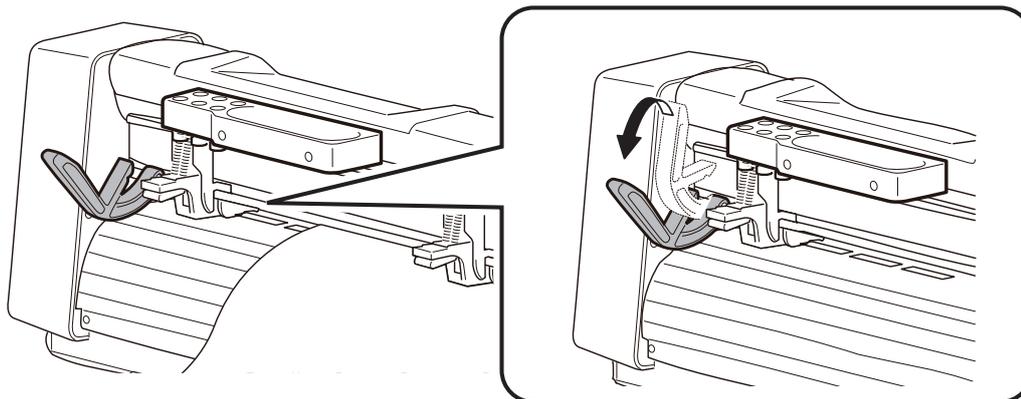
9. 浮きやすいシートをセットする場合は、シートの中にピンチローラーを配置する。

シートをセットアップする

使用しないピンチローラーは個々に上げておきます。

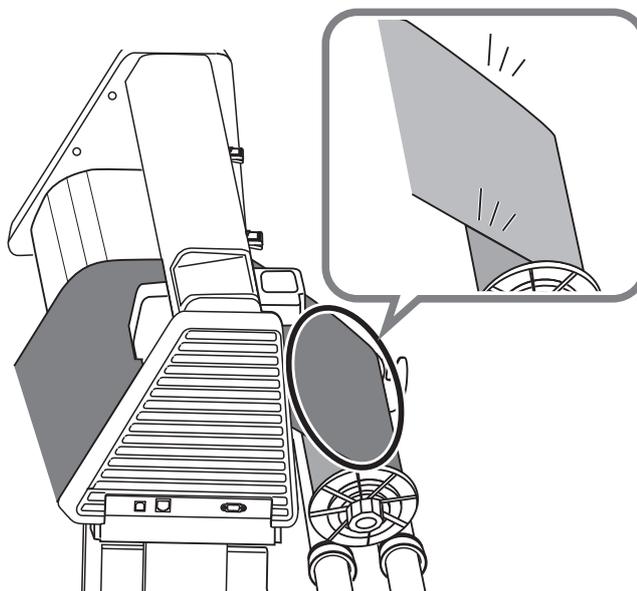


- 10.** レバーを下げる。
シートが固定されます。



- 11.** 左右均等にロールシートが張られていることを確認する。

シートにねじれがある場合は、シートがまっすぐ引き出されていない可能性があります。シートの位置を調整しセットしなおしてください。



- 12.** カutting前にはあらかじめカットデータに必要なシート長さが引き出されるよう、シート送りの設定をする。

P. 106 シート送りを設定して位置ずれを防ぐ

- 13.** 4 m 以上のロールシートの場合は、ロールシートを引き出し、セットされたシートにずれやねじれがないことを確認する。

(1) 電源をオンにする。

電源をオンにすると、シートサイズを測定する画面に切り替わります。

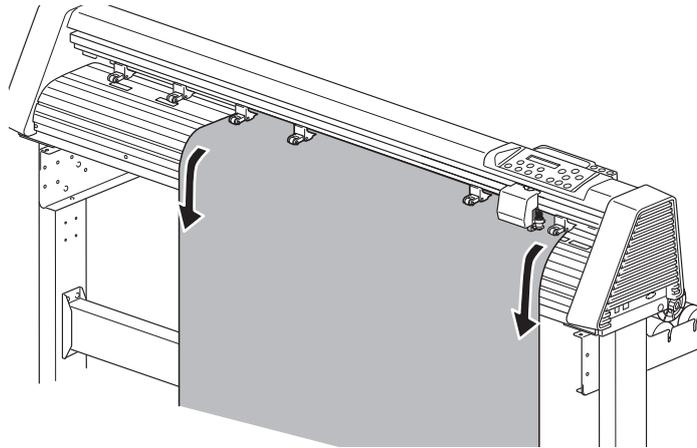


(2) [▲] または [▼] を押して、シートのサイズを測定する。

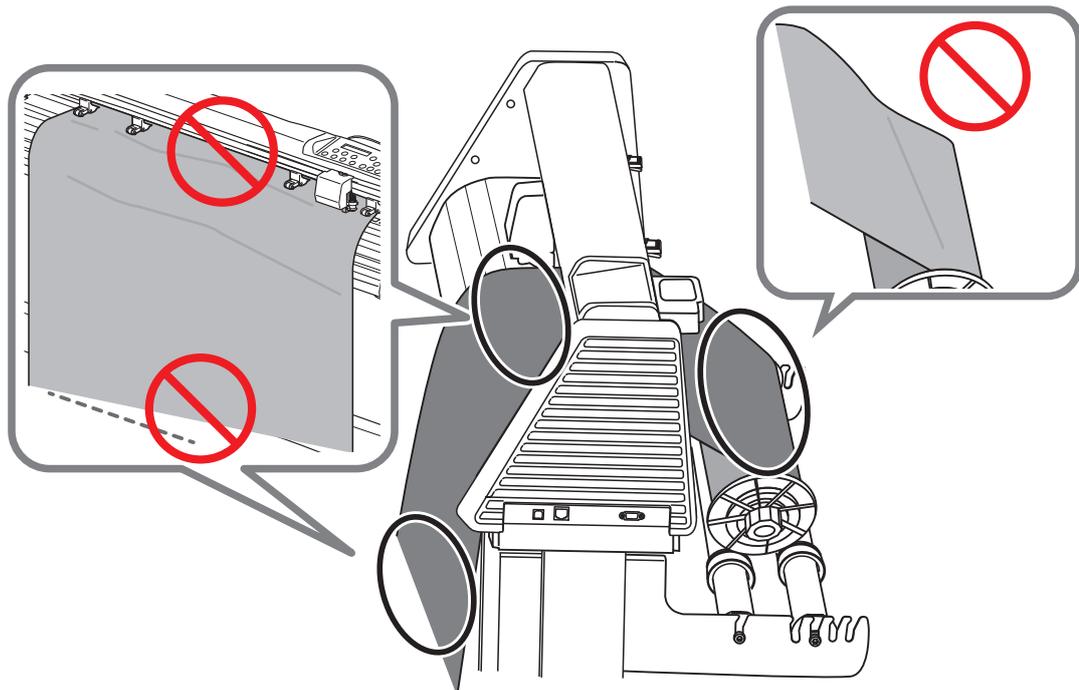
(3) [▼]を押して、1~2 m 程度シートを引き出す。

メモ

シートサイズを測定後にカーソルキーを押すと、出力開始位置の設定画面が表示されます。ここではシートを試し送りしてシートのセットアップを確認するため、[▼] 以外を押さないでください。

(4) カutting面 (カuttingキャリッジの経路付近)、シート端、本体背面のシートの状態を確認する。
シートが以下のいずれかの場合は、シートをセットしなおしてください。シートが正しくセットされていないと、位置ずれの原因になります。

- シートの表面が波形模様またはしわになっている
- ロールシートが斜行している
- 本体背面のシートがねじれている



(5) [ON/OFF LINE] を 2 回押して、シートを元の位置に戻す。

重要

ロールシートを使わないときは取り外してください。

ロールシートは、取り付けのまま長時間放置しないでください。使わないときは必ず取り外して保管してください。長時間放置すると、シート全体がたわんで出力品質の悪化に影響します。

関連情報

- P. 10 使用可能なシートの条件
- P. 11 カutting領域
- P. 24 シートの取り付けについて
- P. 35 シートのサイズを測定する

2. ロールシートの送り量を調整する

ロールシートが円滑に送り出されるために、ロールシートの回転にロールホルダーが追従するよう調整します。

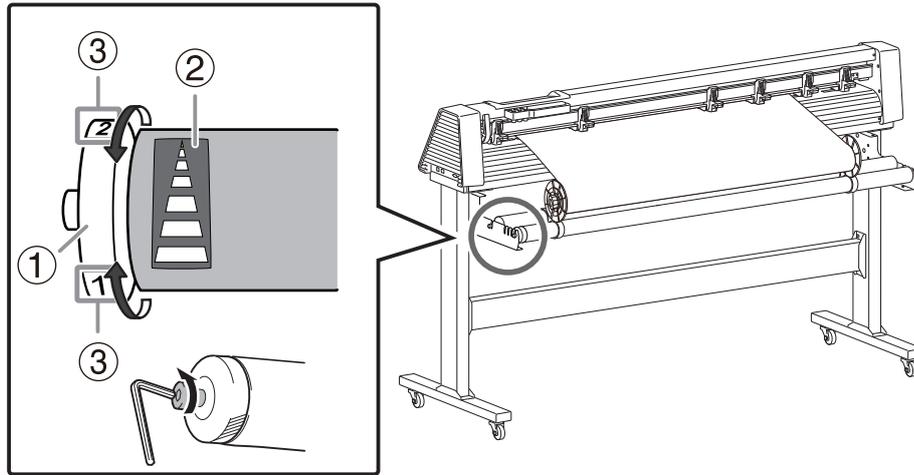
手順

1. ダンパー (①) を回して、ロールホルダーの回転量を調整する。

調整量を表すステッカー (②) とダンパーの番号 (③) を参考に調整してください。ダンパーの番号 (③) が大きいほどロールホルダーの回転が減衰します。

- ロールホルダーからロールシートが跳ね上がる場合は、ダンパーを本体側に回します。
- ロールシートの張りを調整しても、ロールシートがたわむ場合は、ダンパーを手前に回します。

ダンパーを回すときは、六角レンチで側面のネジを緩めてください。



平型シートをセットする

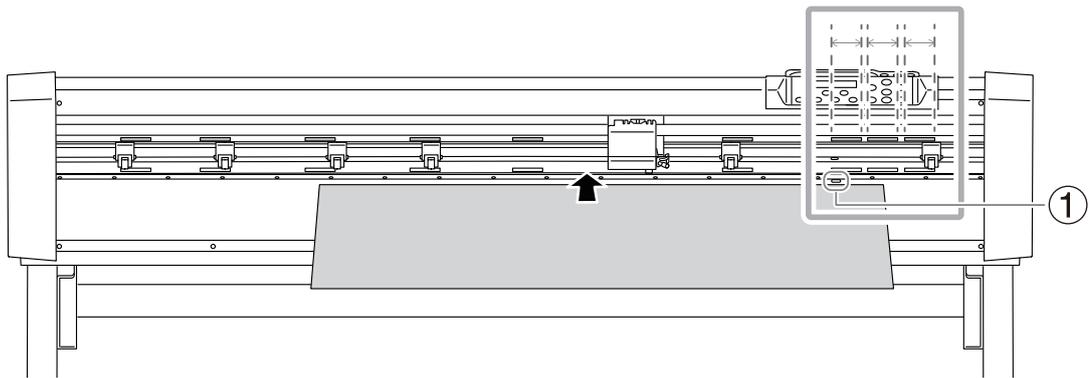
平型シートをカッティングマシンにセットします。平型シートをお使いのときは、カッティングデータの縦サイズに加え 100 mm 以上（長さ方向のカッティング領域を広げている場合は 70 mm 以上）長いシートが必要です。これは、ピンチローラーがシートを前後に送り出すのに必要な長さです。

⚠ 注意

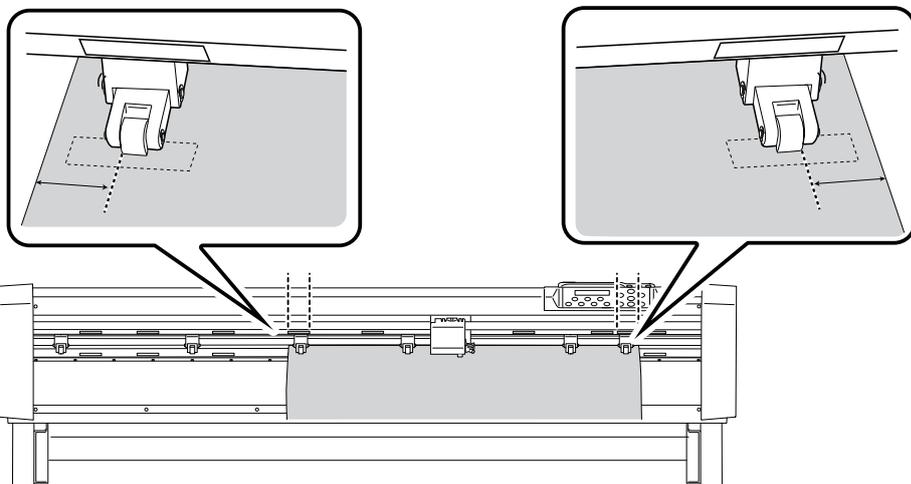
重さが 24 kg（54 インチモデルは 20 kg）を超えるメディアをセットしない。
本機が重さに耐えられず、転倒したり、メディアが落下する恐れがあります。

手順

1. レバーが上がっていることを確認する。
レバーが下がっている場合は、レバーを上げてください。
2. ルーラーの目盛り（上下 2 箇所）を目安にシートをピンチローラーとグリットローラーの間にもっすぐ通す。
本体前面から見てシートの右端は、グリットマークの範囲内、かつペーパーセンサー (①) が覆われる位置にしてください。

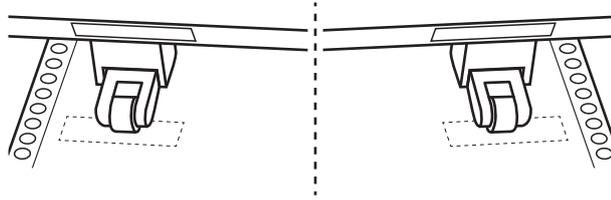


3. ピンチローラーを平型シートの両端に配置する。
グリットマーク内にピンチローラーが配置されていることを確認してください。グリットマーク内から外れてピンチローラーが配置されていると、シートが正常に送られません。
ピンチローラーは、シートの両端から 0.5~25 mm（セットするロールシートの長さが 4 m を超える場合は 25 mm 以上）内側に配置してください。

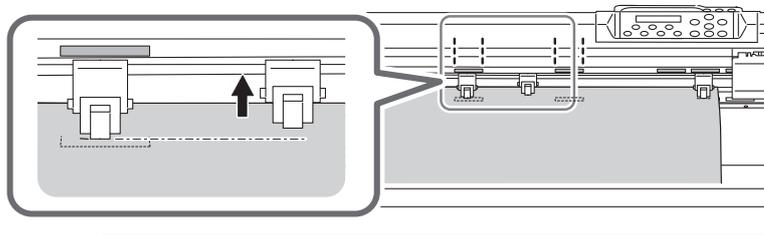


メモ

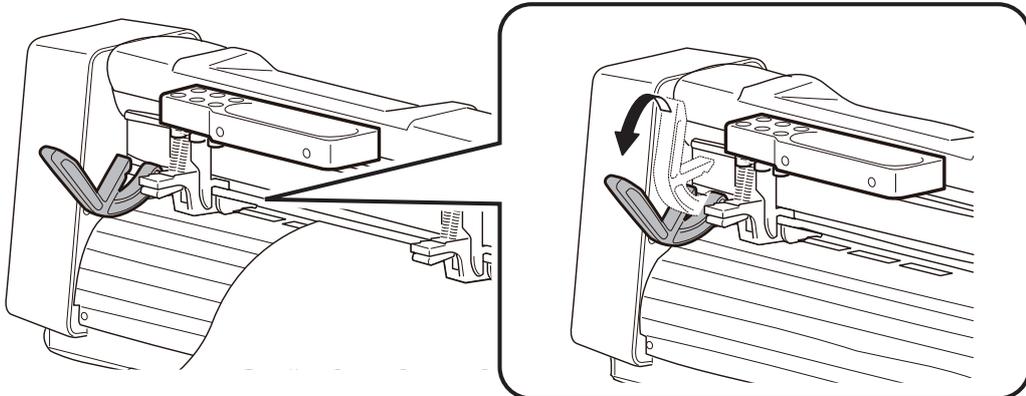
スプロケットフィード用穴あきシートは両端にシート送りの穴があります。この上にピンチローラーをセットすると正常にシート送りができません。本機で使用する場合は、シート送りの穴を避けてピンチローラーを配置してください。



4. 浮きやすいシートをセットする場合は、シートの中にピンチローラーを配置する。
使用しないピンチローラーは個々に上げておきます。

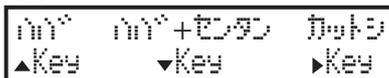


5. レバーを下げる。
シートが固定されます。



メモ

電源をオンにすると、シートサイズを測定する画面に切り替わります。



6. 1.6 m を超える長さのシートをセットする場合は、カッティング前にあらかじめカットデータに必要なシート長さが引き出されるよう、シート送りの設定をする。
P. 106 シート送りを設定して位置ずれを防ぐ

関連情報

- P. 10 使用可能なシートの条件

- P. 11 カutting領域
- P. 24 シートの取り付けについて
- P. 22 ピンチローラーについて
- P. 35 シートのサイズを測定する

シートのサイズを測定する

本機にセットされたシートのサイズを測定し、カッティングマシンに記憶されます。レバーを上げるとシートサイズの記憶がリセットされるので、レバーの上げ下げのたびにシートのサイズを測定しなおす必要があります。

警告

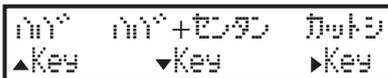
測定中はカッティングキャリッジにさわらない。

カッティングキャリッジは高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。

手順

1. 電源をオンにする。
シートをセットしていない場合は、本機にシートをセットしてください。
2. 以下の画面が表示されたら、[▲] [▼] [▶] のいずれかを押し、測定モードを選択する。

カッティングキャリッジが高速で動きだし測定を開始します。測定が完了すると、カッティングキャリッジが止まり画面に測定値が表示されます。



画面表示	Key	測定モード	測定箇所	備考
[ハバ]	[▲]	ロール	シートの幅	最大 150 m までのシート
[ハバ + センタン]	[▼]	エッジ	シートの先端、幅	最大 150 m までのシート
[カットシ]	[▶]	シングル	シート先端、幅、長さ	最大 10 m までのシート*1

*1 1.6 m 以上の平型シートおよびロールシートの測定にはこのモードを選択しないでください。

メモ

測定を中断する場合は、レバーを上げてください。

関連情報

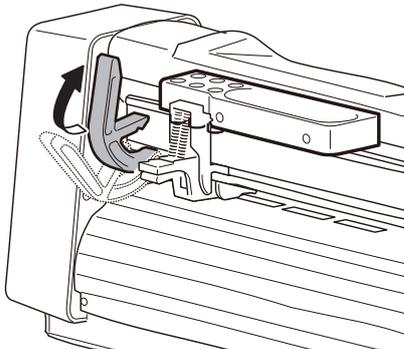
- P. 25 ロールシートをセットする
- P. 32 平型シートをセットする

シートを取り外す

カッティングマシンからシートを取り外します。

手順

1. レバーを上げる。
ピンチローラーが上がり、シートの固定が解除されます。

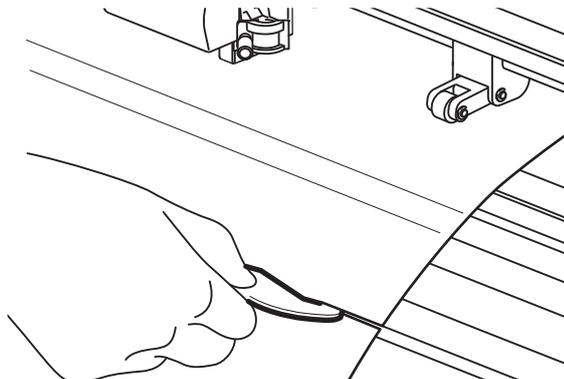


2. 本体前面または背面からシートを取り外す。

カットした部分だけを切り離す

手順

1. [▲] [▼] を押して、切り離したい位置までシートを送る。
2. カッティングマシン前面の切断溝にセイフブレードを沿わせて、シートを切り離す。



出力の一時停止と中止

出力の一時停止と再開

カッティングの途中で一時停止や一時停止したカット出力を再開します。

メモ

この操作をすると、カット品質が悪くなる場合があります。なるべく最後までカッティングを止めないでください。

手順

1. 出力中に [PAUSE/RESUME] を押す。
カット出力が一時停止します。
2. もう一度 [PAUSE/RESUME] を押す。
出力を再開します。

出力の中止

カッティングの途中でカット出力を中止する場合は、以下の操作をします。

メモ

この操作をすると、ジョブは終了され再開することができません。

手順

1. 出力中に [PAUSE/RESUME] を押す。
2. [DATA CLEAR] を押す。
以下の画面が表示されます。

3. [ENTER] を押す。
本機の電源をオフにしたあと、再起動してください。

出力方法

カットの方法

カット出力の準備.....	40
カッティング条件の目安.....	40
カットテストをする.....	41
カッティング条件を調整する.....	43
カットデータを作り、出力する.....	46
CutStudio を使ってカットする.....	46
Adobe Illustrator を使ってカットする.....	49
CorelDRAW を使ってカットする.....	53

カット出力の準備

カッティング条件の目安

シートとカッターの組み合わせによる、カッティング条件のおおよその目安は以下のとおりです。カッティングの前に、シート材料に適した刃物を使用してカットテストをおこなってください。

重要

刃物にはシート材料との適性があり、適性指定されていないシートをカットすると刃物が破損する恐れがあります。

刃物	材料	カット圧 (gf)	カット速度 (cm/sec) *1	刃先補正量 (mm)
ZEC-U5032	サインシート一般	30 ~ 100	30 以下	0.25
	インクジェットシート一般	50 ~ 100		
	アイロンプリントシート	50 ~ 100		
ZEC-U5025	サインシート一般	40 ~ 100	30 以下	0.25
	蛍光シート	120 ~ 200	10 以下	
ZEC-U5010	窓用 (カー) フィルム	80 ~ 120	30 以下	0.50
ZEC-U1715	サンドブラスト	100 ~ 150	5 以下	0.25
ZEC-U3050	コートボール (薄)	200 ~ 350	5 以下	0.50
	反射シート	350 ~ 450		
ZEC-U3075	コートボール (厚)	250 ~ 400	5 以下	0.75
	反射シート	350 ~ 450		

*1 カット速度が速いほど、画質が悪化しますので、必要な画質に合わせて調整する必要があります。

メモ

表に示したカット圧より 50 ~ 60 gf 以上高くしても切り残しができる場合は、カッターを交換してください。

関連情報

- [P. 41 カットテストをする](#)
- [P. 43 カッティング条件を調整する](#)
- [P. 131 カッターの交換](#)

カットテストをする

高品質なカット結果を得るために、カッティングの前にカットテストを行ってシートの切れ具合を確認します。結果を確認しながら最適な設定値を探してください。

手順

1. シートをセットし、シートのサイズを測定する。

P. 22 シートをセットアップする

2. [ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替える。

3. [CUT TEST] を押す。

4. カットテストのパターンを選択する。

通常は〔ヤジリシ〕に設定しますが、厚いシートをカッティングするときには、〔クロスマーク〕を選択してください。

- (1) [◀] [▶] を押して、以下の画面を表示する。

```

テスト パターン へんごう
          ◀ OK:ENTER
  
```

- (2) [ENTER] を押す。

現在設定されているパターンが表示されます。

```

パターン: ヤジリシ
          ▲ OK:ENTER
  
```

- (3) [▲] [▼] を押して、カットテストのパターンを選択する。

- (4) [ENTER] を押す。

5. パターンサイズの倍率を変更する。

初期設定では 100% に設定されています。パターンサイズを大きくすると、カットテストの結果を確認しやすくなります。

- (1) [◀] [▶] を押して、以下の画面を表示する。

```

パターン へんごう
          ◀ OK:ENTER
  
```

- (2) [ENTER] を押す。

現在設定されている、パターンサイズの倍率が表示されます。

```

パターン: 100%
          ▲ OK:ENTER
  
```

- (3) [▲] [▼] を押して、パターンサイズの倍率を選択する。

サイズの倍率は等倍～4倍まで変更できます。

- (4) [ENTER] を押す。

6. [◀] [▶] を押して、以下の画面を表示する。

```

カット テスト
          ◀ OK:ENTER
  
```

7. [ENTER] を押す。

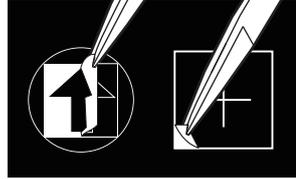
8. [◀] [▶] [▲] [▼] を押してカッティングキャリッジを適切な位置（カットテスト開始位置）に移動する。

9. [ENTER] を押す。

テストパターンがカットされます。カットテストが終了すると、以下の画面が表示されます。

```

テスト カット クリカエシ
N:ONLINE OK:ENTER
    
```



確認項目	結果		設定項目	調整	
パターンをはがす	2つの図形が別々にはがれる/クロスのカット線がカットされている			適切	
	2つの図形が一緒にはがれる/クロスのカット線がカットされていない		カット圧	大きくする	
	部分的な切り残しがある		カットスピード	小さくする	
	台紙までカットされる		カット圧	小さくする	
パターンの形状			角に丸みやツノがない		適切
			パターンの角が取れて丸くなっている	刃先補正量 (オフセット)	大きくする
			パターンの角にツノができています	刃先補正量 (オフセット)	小さくする
			形がゆがんでいる	カットスピード	小さくする

10. 適切な結果が得られなかった場合、再設定が必要な項目を調整する。

[P. 43 カutting条件を調整する](#)

11. 設定項目の調整が完了したら、[ENTER] を押す。

再度テストパターンがカットされます。適切なカット結果が得られるまで、手順 9~11 を繰り返してください。

12. [ON/OFF LINE] を 2 回押して、オンラインモードに切り替える。

関連情報

- [P. 40 Cutting条件の目安](#)
- [P. 99 切り込み量を調整する](#)

カッティング条件を調整する

カットテストの結果を確認しながら操作パネルでカッティング条件を調整します。カットテスト実施後はプリンタードライバーの[印刷設定]ウィンドウ（または CutStudio/VersaWorks)からもカッティング条件を変更することができます。

カット圧を設定する

図形が一緒にはがれたり、台紙も一緒にカットされたりするなどうまく切れなかったときは、カット圧を変更します。

手順

1. [FORCE] を押す。
シートがセットされている場合は、[ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替えてください。

現在設定されているカット圧が表示されます。

```
カット 77: 80 gf ▲  
OK:ENTER ▼
```

2. [▲] [▼] を押してカット圧を変更する。
3. [ENTER] を押して決定する。

メモ

- 出荷時設定：80 gf
- 設定範囲：5～600 gf（5 gf 単位で変更可）

関連情報

- P. 40 カッティング条件の目安

カット速度を設定する

図形が一緒にはがれたり、カットされた線が綺麗でなかったりするときは、カット速度を遅くします。カット速度が速いとシートに余分な負荷がかかり、カット中にシートが上下に舞うことがあります。このような時も速度を遅くしてください。カット速度とカット品質は相互に影響するので、品質を保つ範囲内でカット速度を設定し、速度にあった品質を選択してください。

手順

1. [SPEED] を押す。

シートがセットされている場合は、[ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替えてください。

現在設定されているカット速度が表示されます。

```

スピード: 72 cm/s ▲
セタウ: ◀ OK:ENTER▶
    
```

2. [▲] [▼] を押して、カット速度を変更する。

3. [ENTER] を押して決定する。

現在設定されているカット品質が表示されます。

```

カット ヒンツ: ヒョウジュン ▲
セタウ: ◀ OK:ENTER▶
    
```

4. [▲] [▼] を押して、品質を設定する。

〔ドラフト〕〔コウソク〕〔ヒョウジュン〕〔コウヒンシツ〕〔コモジ〕の順に品質が向上します。通常は〔ヒョウジュン〕に設定しますが、小さな文字や複雑なグラフィックを綺麗にカットするときは〔コモジ〕を選択してください。

5. [ENTER] を押して決定する。

6. [ON/OFF LINE] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

- [SPEED]
出荷時設定：72 cm/s
設定範囲：3～153 cm/s (3 cm/s 単位で変更可)
- 品質：〔ヒョウジュン〕

関連情報

- P. 40 カッティング条件の目安

刃先補正量を設定する

カッターの刃先補正量を設定します。カッターに記載のオフセット値を入力してください。付属のカッターを使用するときは、出荷時の設定でカットできます。

メモ

カットの始まりにずれがあったり、図形の角がしっかりでないときはオフセット値を調整してください。

手順

1. [OFFSET] を押す。
シートがセットされている場合は、[ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替えてください。
現在設定されているオフセット値が表示されます。
The image shows a small LCD screen with a monospaced font. The first line displays 'オフセット: 0.25 mm' followed by an upward-pointing triangle. The second line displays 'OK:ENTER' followed by a downward-pointing triangle.

```
オフセット: 0.25 mm ▲
              OK:ENTER ▼
```
2. [▲] [▼] を押して、オフセット値を変更する。
3. [ENTER] を押して決定する。

メモ

- 出荷時設定：0.250 mm
- 設定範囲：0.000 ~ 1.000 mm

関連情報

- P. 40 カutting条件の目安

カットデータを作り、出力する

CutStudio、Adobe Illustrator、CorelDRAW を使った、カットデータの出力方法をご紹介します。

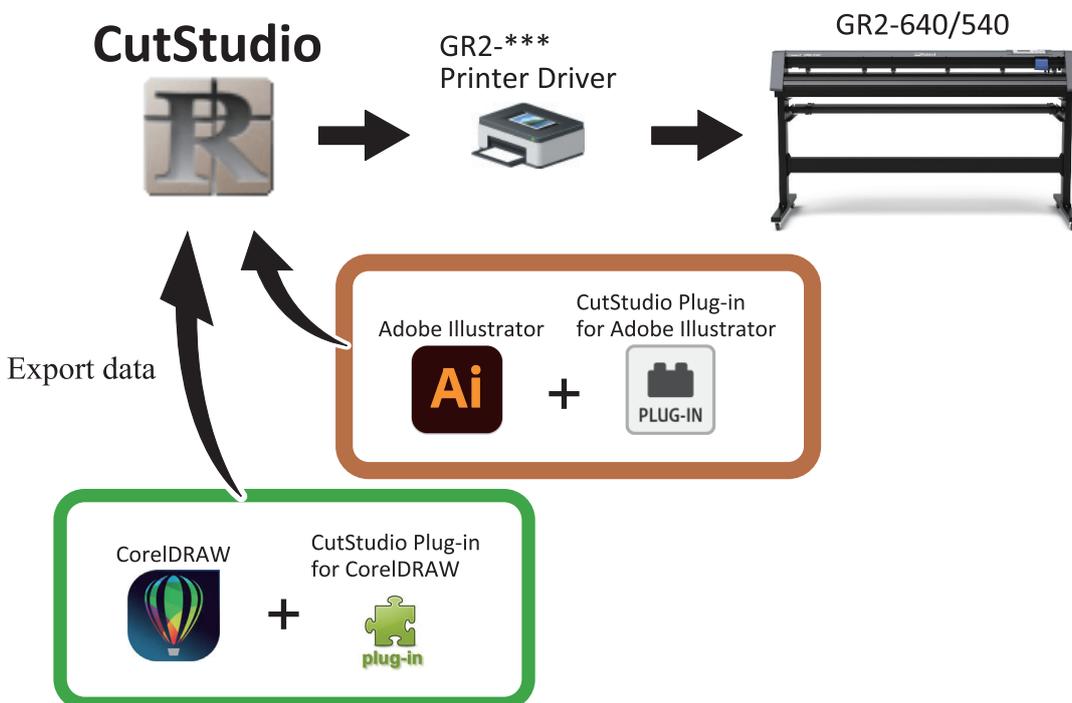
使い慣れた、あるいはやりやすい方法で出力しましょう。

ソフトウェアでの図形の作り方については、それぞれの解説書をごらんください。ここでは図形の作り方以外の、図形をカットデータにするための設定方法や、データの出力方法について記述します。

CutStudio を使ってカットする

平易な使い勝手で、あまり時間をかけずに使い方をマスターできるでしょう。

Adobe Illustrator や CorelDRAW などのライセンスをお持ちではなく、手軽にカットを始めたい方に向いています。文字切りなど、比較的簡単なカットデータを、時間をかけずにすばやく作ることができます。また、Adobe Illustrator や CorelDRAW のデータをすでにお持ちで、それらの素材をうまく組み合わせて 1 つのカットデータを作るときにも、活用できます。



1. カットデータを作る

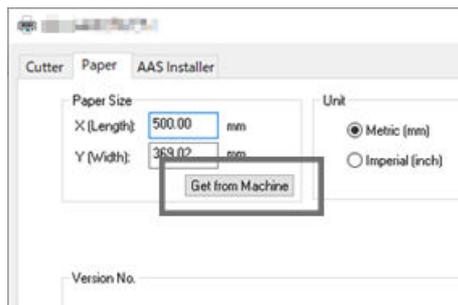
シートはすでにカッティングマシンにセットアップされているものとして、手順を記述します。

[P. 22 シートをセットアップする](#)

手順

1. CutStudio を起動する。
2. [ファイル]>[カット設定]をクリックする。
[カット設定]画面が開きます。
3. [変更]をクリックする。
プリンタードライバーのプロパティ画面が開きます。
4. [Paper]タブをクリックする。

5. [Get from Machine]をクリックする。



[Paper Size]に、カッティングマシンにセットアップしたシートのサイズ（カッティング範囲）がインポートされます。

6. プリンタードライバーのプロパティ画面で[OK]をクリックする。

7. [カット設定]画面で[OK]をクリックする。

CutStudio に、機体から取得したカッティング範囲（作業領域）が表示されます。

8. カッティング範囲内に収まるようにカットデータを作図する。

カッティング範囲外のデータはカットされません。

必要であれば、Adobe Illustrator や CorelDRAW のデータをインポートして活用します。

9.  をクリックする。

[名前を付けて保存]画面が開きます。

保存先のフォルダーを選び、名前を入力して、ファイルを保存してください。

2. カットする

メモ

シートが外れたときや、異常な動作をしたときは、[PAUSE/RESUME]を押して出力を中止してください。その後、シートのセットを初めからやり直してください。

手順

1. CutStudio が起動していないときは、起動する。

ファイルを開いていないときは、開いてください。

2.  をクリックする。

[カット]画面が開きます。

3. [変更]をクリックする。

[カット設定]画面が開きます。

4. [変更]をクリックする。

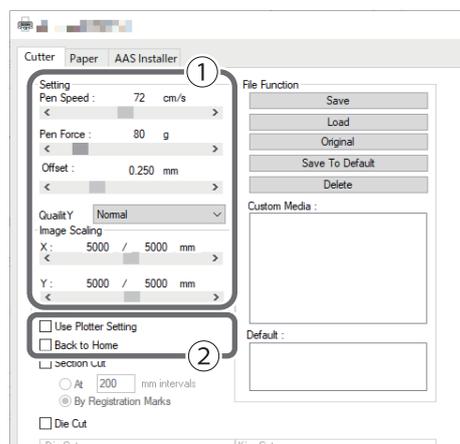
プリンタードライバーのプロパティ画面が開きます。

5. [Cutter]タブをクリックする。

6. カッティング条件 (①) を変更する。

必要に応じて、その他 (②) を設定してください。

カッティング条件のプリセットを呼び出す場合は、[Load]をクリックしてください。



7. プリンタードライバーのプロパティ画面で[OK]をクリックする。

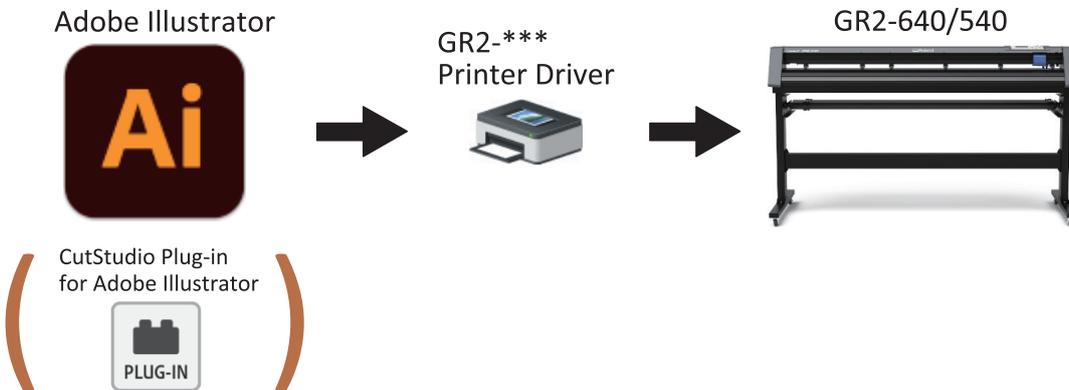
8. [カット設定]画面で[OK]をクリックする。

9. [カット]画面で[OK]をクリックする。

データが出力され、カットが始まります。

Adobe Illustrator を使ってカットする

うまく操作するには習熟を要しますが、慣れれば複雑な図形もつくることができます。
すでに Adobe Illustrator のライセンスをお持ちで、操作に習熟している方は利用すると良いでしょう。



1. カットデータを作る (Adobe Illustrator 2022)

シートはすでにカッティングマシンにセットアップされているものとして、手順を記述します。

[P. 22 シートをセットアップする](#)

手順

1. Adobe Illustrator を起動する。
2. 新規ファイルを作る。
3. カットデータを作図する。
 - パスをカット線に指定するには、線幅を 0.001 mm にしてください。
 - 線の太さや線端形状や角の形状をカットで表現したときは、パスをアウトライン化してください。
 - 文字をカットするには、アウトライン化してください。
 - 線の色は、緑 (R:0 G:255 B:0) 以外の色にしてください。緑は、ミシン目カットと認識されます。
 - 塗りは、指定しても無視されます。

メモ

- CutStudio Plug-in for Illustrator には、アウトライン化やオフセットの専用ボタンがあります。
- カットデータを作るとき、画面を開いておくとう便利です。
- CutStudio のプラグイン画面を開くには、[ウィンドウ]>[エクステンション]>[Roland CutStudio]をクリックします。
- CutStudio プラグインのヘルプを確認するには、CutStudio プラグイン画面の☰から[ヘルプ]をクリックします。

4. [ファイル]>[保存]をクリックする。
[別名で保存]画面が開きます。
保存先のフォルダーを選び、名前を入力して、ファイルを保存してください。

関連情報

- ・ P. 85 Adobe Illustrator でミシン目カットをする

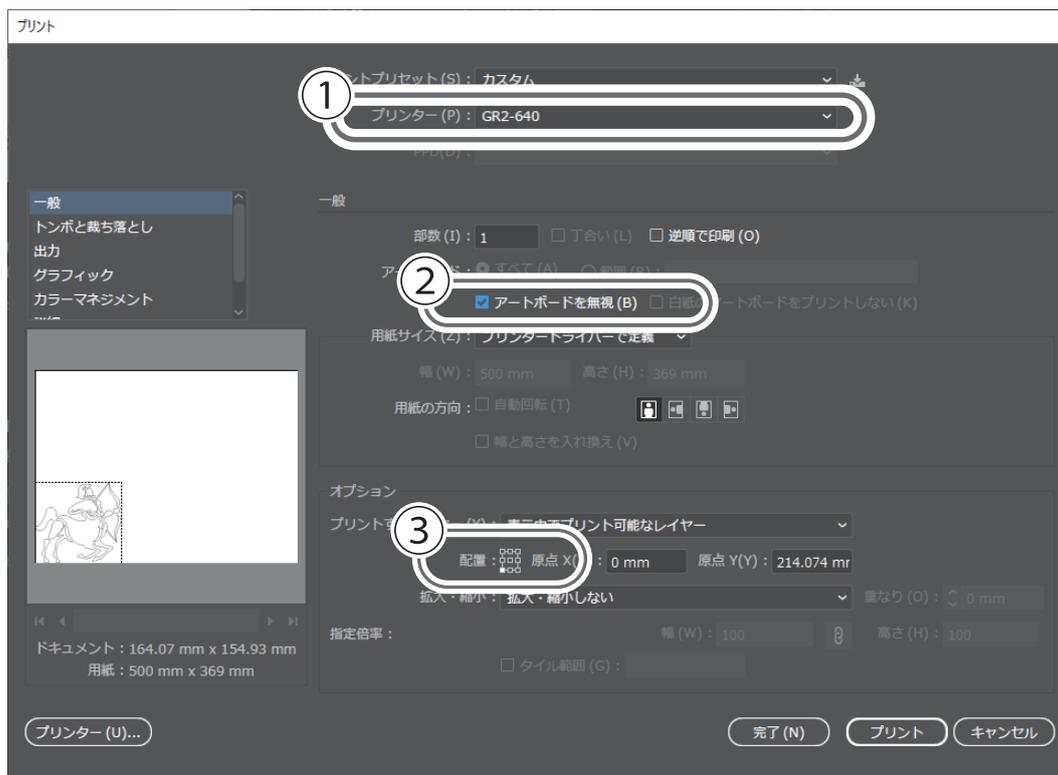
2. カットする

メモ

シートが外れたときや、異常な動作をしたときは、[PAUSE/RESUME]を押して出力を中止してください。その後、シートをセットを初めからやり直してください。

手順

1. Adobe Illustrator が起動していないときは、起動する。
ファイルを開いていないときは、対象のファイルを開いてください。
2. [ファイル]>[プリント]をクリックする。
[プリント]画面が開きます。
3. 次の設定をする。
 - (1) プリンターのプルダウン (①) をクリックし、[GR2-640]または[GR2-540]を出力先に選ぶ。
 - (2) [アートボードを無視] (②) をオンにする。
ただし、アートボードをオブジェクト全体に合わせている場合は、オフのままにしておきます。
 - (3) [配置] (③) の左下を選ぶ。



4. [プリンター]をクリックする。
メッセージが表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
[印刷]画面が開きます。
5. [詳細設定]をクリックする。

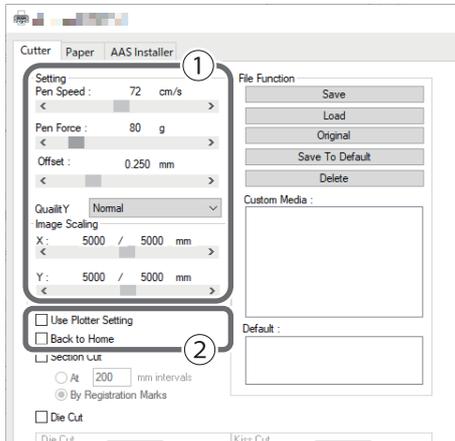
[印刷設定]画面が開きます。

6. [Cutter]タブをクリックする。

7. カutting条件 (①) を変更する。

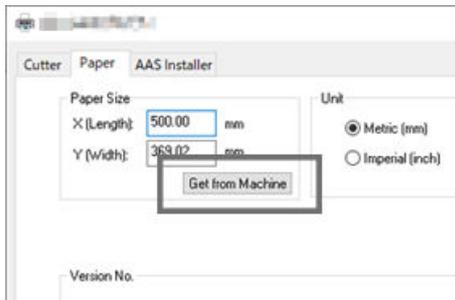
必要に応じて、その他 (②) を設定してください。

カutting条件のプリセットを呼び出す場合は、[Load]をクリックしてください。



8. [Paper]タブをクリックする。

9. [Get from Machine]をクリックする。



[Paper Size]に、カuttingマシンにセットアップしたシートのサイズ (カutting範囲) がインポートされます。

10. [OK]をクリックする。

[印刷設定]画面が閉じます。

11. [印刷]をクリックする。

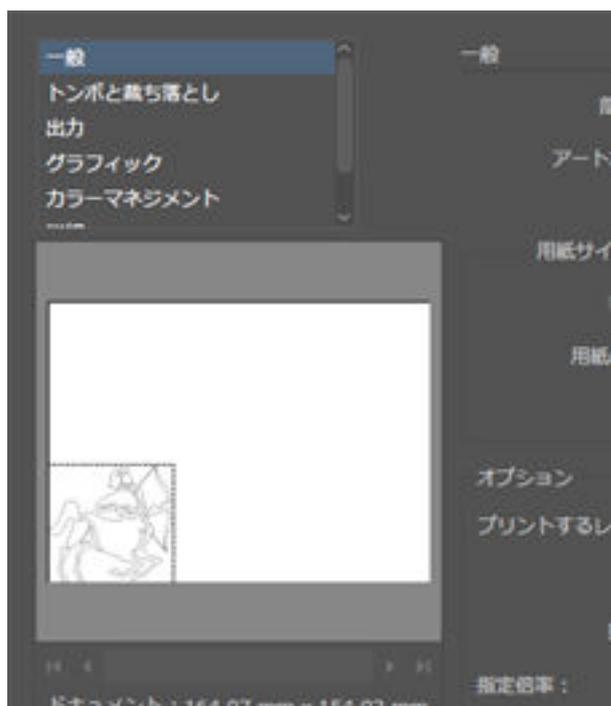
[印刷]画面が閉じます。

12. [完了]をクリックする。

13. [ファイル]>[プリント]をクリックする。

再度、[プリント]画面が開きます。

プレビューでカットデータが左下に表示されていることをご確認ください。



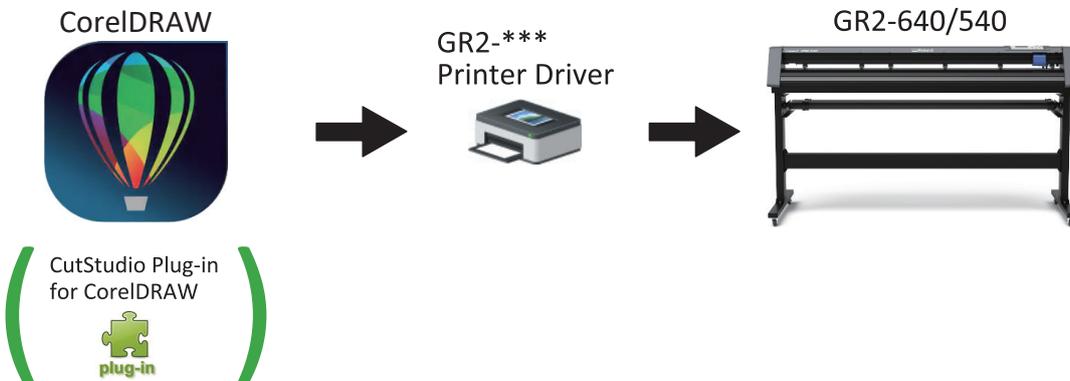
14. [プリント]をクリックする。
データが出力され、カットが始まります。

関連情報

- P. 85 Adobe Illustrator でマシン目カットをする
- P. 96 プリンタードライバーで重ね切りを設定する

CorelDRAW を使ってカットする

うまく操作するには習熟を要しますが、慣れれば複雑な図形もつくることができます。
すでに CorelDRAW のライセンスをお持ちで、操作に習熟している方は利用すると良いでしょう。



1. カットデータを作る (CorelDRAW 2022)

シートはすでにカッティングマシンにセットアップされているものとして、手順を記述します。

[P. 22 シートをセットアップする](#)

手順

1. CorelDRAW を起動する。
2. 新規ファイルを作る。
3. カットデータを作図する。
 - パスをカット線に指定するには、線幅を 0.001 mm にしてください。
 - 線の太さや線端形状や角の形状をカットで表現したときは、パスをアウトライン化してください。
 - 文字をカットするには、アウトライン化してください。
 - 線の色は、緑 (R:0 G:255 B:0) 以外の色にしてください。緑は、ミシン目カットと認識されます。
 - 塗りは、指定しても無視されます。

メモ

- CutStudio Plug-in for CorelDRAW には、アウトライン化やオフセットの専用ボタンがあります。
- カットデータを作るとき、画面を開いておくと便利です。
- CutStudio のプラグイン画面を開くには、をクリックします。
- CutStudio プラグインのヘルプを確認するには、CutStudio プラグイン画面の  から[ヘルプ]をクリックします。

4. [ファイル]>[保存]をクリックする。
ファイル保存の画面が開きます。
保存先のフォルダーを選び、名前を入力して、ファイルを保存してください。

関連情報

- [P. 89 CorelDRAW でミシン目カットをする](#)

2. カットする

メモ

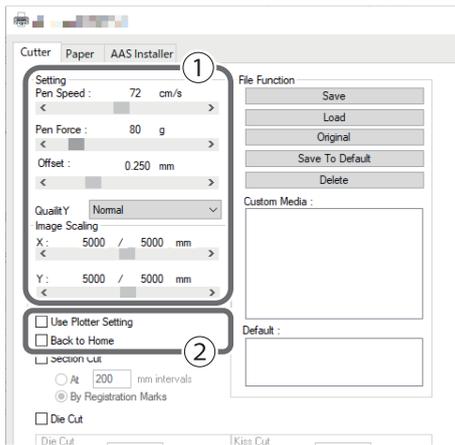
シートが外れたときや、異常な動作をしたときは、[PAUSE/RESUME] を押して出力を中止してください。その後、シートのセットを初めからやり直してください。

手順

1. CorelDRAW が起動していないときは、起動する。
ファイルを開いていないときは、対象のファイル開いてください。
2. [ファイル]>[印刷]をクリックする。
[印刷]画面が開きます。
3. [一般]タブをクリックする。
4. [プリンタ]のプルダウンをクリックし、[GR2-640]または[GR2-540]を出力先に選ぶ。

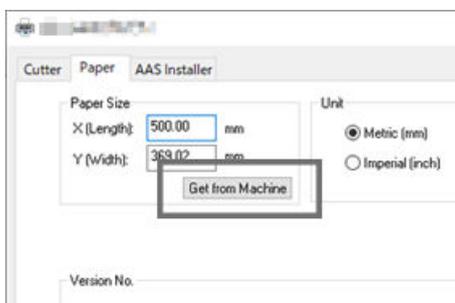


5.  をクリックする。
プリンタードライバのプロパティ画面が開きます。
6. [Cutter]タブをクリックする。
7. カット条件 (①) を変更する。
必要に応じて、その他 (②) を設定してください。
カット条件のプリセットを呼び出す場合は、[Load]をクリックしてください。



8. [Paper]タブをクリックする。

9. [Get from Machine]をクリックする。



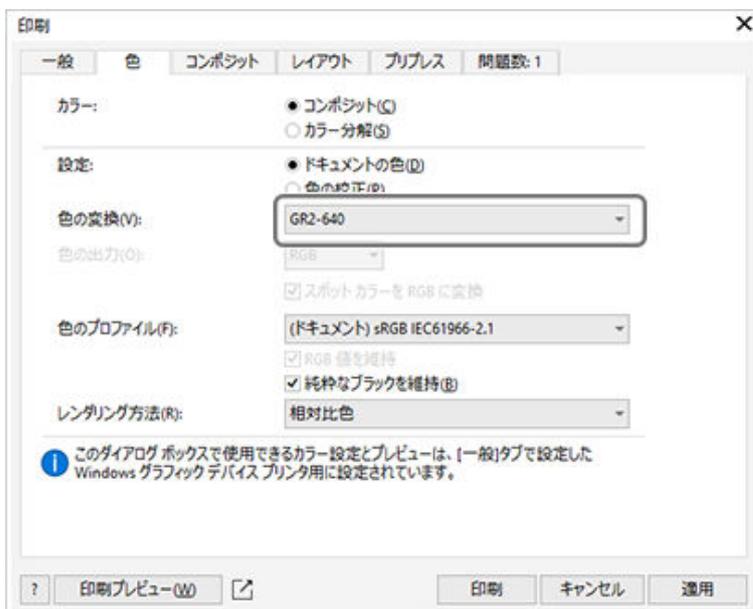
[Paper Size]に、カッティングマシンにセットアップしたシートのサイズ（カッティング範囲）がインポートされます。

10. [OK]をクリックする。

プリンタードライバーのプロパティ画面が閉じます。

11. [色]タブをクリックする。

12. [色の変換]のプルダウンをクリックし、[GR2-640]または[GR2-540]を選ぶ。



13. [レイアウト]タブをクリックする。

14. [アートワークの再配置先]のプルダウンをクリックし、[左下]を選ぶ。



15. [印刷]をクリックする。

データが出力され、カットが始まります。

関連情報

- P. 89 CorelDRAW でミシン目カットをする
- P. 96 プリンタードライバーで重ね切りを設定する

印刷のあとでカットする方法

カット出力の準備.....	58
カッティング条件の目安.....	58
カットテストをする.....	59
カッティング条件を調整する.....	61
データを作り、出力する.....	64
印刷のあとでカットするデータを作る.....	65
印刷してカットする (VersaWorks).....	66

カット出力の準備

カッティング条件の目安

シートとカッターの組み合わせによる、カッティング条件のおおよその目安は以下のとおりです。カッティングの前に、シート材料に適した刃物を使用してカットテストをおこなってください。

重要

刃物にはシート材料との適性があり、適性指定されていないシートをカットすると刃物が破損する恐れがあります。

刃物	材料	カット圧 (gf)	カット速度 (cm/sec) *1	刃先補正量 (mm)
ZEC-U5032	サインシート一般	30 ~ 100	30 以下	0.25
	インクジェットシート一般	50 ~ 100		
	アイロンプリントシート	50 ~ 100		
ZEC-U5025	サインシート一般	40 ~ 100	30 以下	0.25
	蛍光シート	120 ~ 200	10 以下	
ZEC-U5010	窓用 (カー) フィルム	80 ~ 120	30 以下	0.50
ZEC-U1715	サンドブラスト	100 ~ 150	5 以下	0.25
ZEC-U3050	コートボール (薄)	200 ~ 350	5 以下	0.50
	反射シート	350 ~ 450		
ZEC-U3075	コートボール (厚)	250 ~ 400	5 以下	0.75
	反射シート	350 ~ 450		

*1 カット速度が速いほど、画質が悪化しますので、必要な画質に合わせて調整する必要があります。

メモ

表に示したカット圧より 50 ~ 60 gf 以上高くしても切り残しができる場合は、カッターを交換してください。

関連情報

- [P. 41 カットテストをする](#)
- [P. 43 カッティング条件を調整する](#)
- [P. 131 カッターの交換](#)

カットテストをする

高品質なカット結果を得るために、カッティングの前にカットテストを行ってシートの切れ具合を確認します。結果を確認しながら最適な設定値を探してください。

手順

1. シートをセットし、シートのサイズを測定する。

P. 22 シートをセットアップする

2. [ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替える。

3. [CUT TEST] を押す。

4. カットテストのパターンを選択する。

通常は〔ヤジリシ〕に設定しますが、厚いシートをカッティングするときは、〔クロスマーク〕を選択してください。

- (1) [◀] [▶] を押して、以下の画面を表示する。

```

テスト パターン へんごう
          ◀ OK:ENTER
  
```

- (2) [ENTER] を押す。

現在設定されているパターンが表示されます。

```

パターン: ヤジリシ
          ▲ OK:ENTER
  
```

- (3) [▲] [▼] を押して、カットテストのパターンを選択する。

- (4) [ENTER] を押す。

5. パターンサイズの倍率を変更する。

初期設定では 100% に設定されています。パターンサイズを大きくすると、カットテストの結果を確認しやすくなります。

- (1) [◀] [▶] を押して、以下の画面を表示する。

```

パターン へんごう
          ◀ OK:ENTER
  
```

- (2) [ENTER] を押す。

現在設定されている、パターンサイズの倍率が表示されます。

```

パターン: 100%
          ▲ OK:ENTER
  
```

- (3) [▲] [▼] を押して、パターンサイズの倍率を選択する。

サイズの倍率は等倍～4倍まで変更できます。

- (4) [ENTER] を押す。

6. [◀] [▶] を押して、以下の画面を表示する。

```

カット テスト
          ◀ OK:ENTER
  
```

7. [ENTER] を押す。

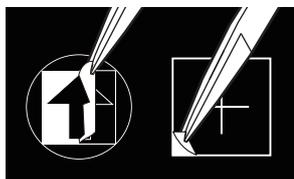
8. [◀] [▶] [▲] [▼] を押してカッティングキャリッジを適切な位置（カットテスト開始位置）に移動する。

9. [ENTER] を押す。

テストパターンがカットされます。カットテストが終了すると、以下の画面が表示されます。

```

テスト カット クリカエシ
N:ONLINE OK:ENTER
    
```



確認項目	結果		設定項目	調整	
パターンをはがす	2つの図形が別々にはがれる/クロスのカット線がカットされている			適切	
	2つの図形が一緒にはがれる/クロスのカット線がカットされていない		カット圧	大きくする	
	部分的な切り残しがある		カットスピード	小さくする	
	台紙までカットされる		カット圧	小さくする	
パターンの形状			角に丸みやツノがない		適切
			パターンの角が取れて丸くなっている	刃先補正量 (オフセット)	大きくする
			パターンの角にツノができています	刃先補正量 (オフセット)	小さくする
			形がゆがんでいる	カットスピード	小さくする

10. 適切な結果が得られなかった場合、再設定が必要な項目を調整する。

[P. 43 カutting条件を調整する](#)

11. 設定項目の調整が完了したら、[ENTER] を押す。

再度テストパターンがカットされます。適切なカット結果が得られるまで、手順 9~11 を繰り返してください。

12. [ON/OFF LINE] を 2 回押して、オンラインモードに切り替える。

関連情報

- [P. 40 Cutting条件の目安](#)
- [P. 99 切り込み量を調整する](#)

カッティング条件を調整する

カットテストの結果を確認しながら操作パネルでカッティング条件を調整します。カットテスト実施後はプリンタードライバーの[印刷設定]ウィンドウ（または CutStudio/VersaWorks)からもカッティング条件を変更することができます。

カット圧を設定する

図形が一緒にはがれたり、台紙も一緒にカットされたりするなどうまく切れなかったときは、カット圧を変更します。

手順

1. [FORCE] を押す。
シートがセットされている場合は、[ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替えてください。
現在設定されているカット圧が表示されます。

```

カッ プッ:  80 gf  ▲
                OK:ENTER▼
  
```

2. [▲] [▼] を押してカット圧を変更する。
3. [ENTER] を押して決定する。

メモ

- 出荷時設定：80 gf
- 設定範囲：5～600 gf (5 gf 単位で変更可)

関連情報

- P. 40 カッティング条件の目安

カット速度を設定する

図形が一緒にはがれたり、カットされた線が綺麗でなかったりするときは、カット速度を遅くします。カット速度が速いとシートに余分な負荷がかかり、カット中にシートが上下に舞うことがあります。このような時も速度を遅くしてください。カット速度とカット品質は相互に影響するので、品質を保つ範囲内でカット速度を設定し、速度にあった品質を選択してください。

手順

1. [SPEED] を押す。
シートがセットされている場合は、[ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替えてください。
現在設定されているカット速度が表示されます。

```

スピード:  72 cm/s ▲
センタ:  ◀ OK:ENTER▼
  
```

2. [▲] [▼] を押して、カット速度を変更する。
3. [ENTER] を押して決定する。
現在設定されているカット品質が表示されます。

カット ヒンシツ: ヒョウジュン ▲
 センタウ: ◀ OK:ENTER ▼

4. [▲] [▼] を押して、品質を設定する。
 [ドラフト] [コウソク] [ヒョウジュン] [コウヒンシツ] [コモジ] の順に品質が向上します。通常は [ヒョウジュン] に設定しますが、小さな文字や複雑なグラフィックを綺麗にカットするときは [コモジ] を選択してください。
5. [ENTER] を押して決定する。
6. [ON/OFF LINE] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

- [SPEED]
 出荷時設定：72 cm/s
 設定範囲：3～153 cm/s (3 cm/s 単位で変更可)
- 品質：[ヒョウジュン]

関連情報

- P. 40 カutting条件の目安

刃先補正量を設定する

カッターの刃先補正量を設定します。カッターに記載のオフセット値を入力してください。付属のカッターを使用するときは、出荷時の設定でカットできます。

メモ

カットの始まりにずれがあったり、図形の角がしっかりでないときはオフセット値を調整してください。

手順

1. [OFFSET] を押す。
 シートがセットされている場合は、[ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替えてください。
 現在設定されているオフセット値が表示されます。
- オフセット: 0.25 mm ▲
 OK:ENTER ▼
2. [▲] [▼] を押して、オフセット値を変更する。
 3. [ENTER] を押して決定する。

メモ

- 出荷時設定：0.250 mm
- 設定範囲：0.000 ～ 1.000 mm

関連情報

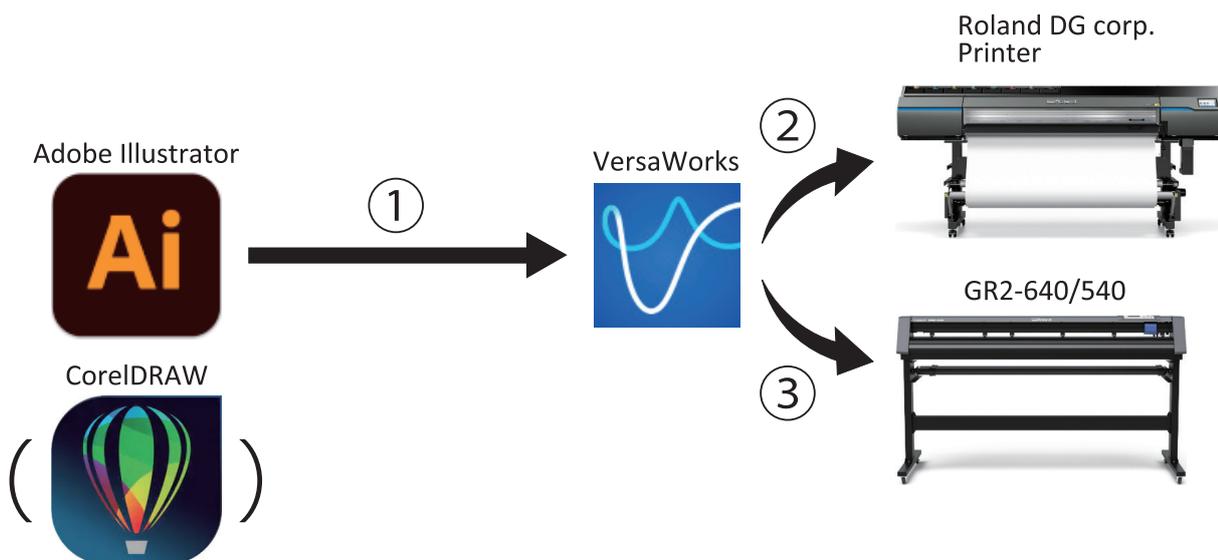
- [P. 40 カッティング条件の目安](#)

データを作り、出力する

Adobe Illustrator、CorelDRAW、VersaWorks を使った、「印刷してカット」の方法をご紹介します。
ソフトウェアでの図形の作り方については、それぞれの解説書をごらんください。ここでは図形の作り方以外の、図形をカットデータにするための設定方法や、印刷データおよびカットデータの出力方法について記述します。

メモ

VersaWorks は、本機をご購入いただいたお客様へライセンス付与されておりません。ここでご紹介するのは弊社のプリンターを使ったケースであり、VersaWorks はプリンターに付与されたライセンスをお使いください。



①	印刷とカットの混在したデータをジョブに追加
②	クロープマークを付加して、プリンターで印刷
③	クロープマーク読み込みの指示と、カットデータの出力

印刷のあとでカットするデータを作る

手順

1. Adobe Illustrator または CorelDRAW を起動する。
2. 新規ファイルを作る。
3. 印刷用のデータと、カット用のデータを作図する。
パスをカット線に指定するには、スポットカラーを登録したり、パスにスポットカラーを指定したりします。
詳しくは、次のリンク先を参照してください。

[VersaWorks をお使いの方へ](#)

メモ

- CutStudio のプラグインには、アウトライン化やオフセットの専用ボタンがあります。
- カットデータを作るとき、画面を開いておくと便利です。

4. [ファイル]>[保存]をクリックする。
ファイル保存の画面が開きます。
保存先のフォルダーを選んで名前を入力し、EPS または PDF のファイル形式でファイルを保存してください。

印刷してカットする (VersaWorks)

VersaWorks の出力先に GR2-640 または GR2-540 がすでに登録されているものとして、手順を記述します。

登録手順は次のリンク先を参照してください。 [VersaWorks をお使いの方へ GR2-640/540 へ出力するときのポイント](#)

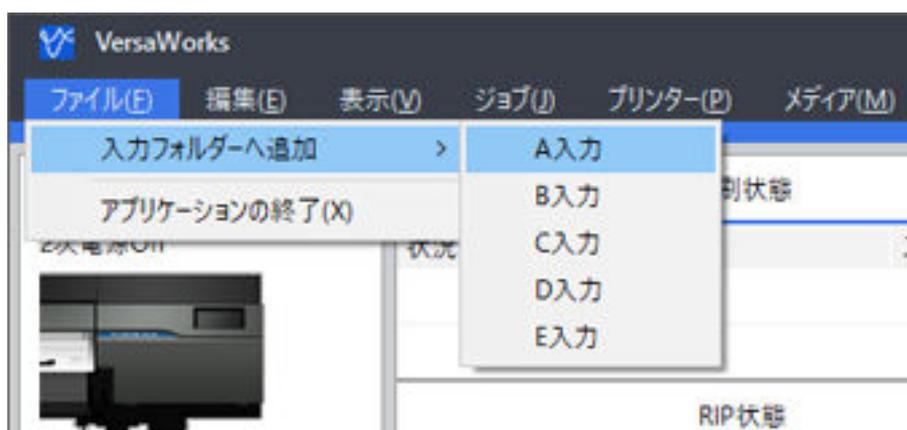
1. VersaWorks にデータを入力する

手順

1. VersaWorks を起動する。
2. 使用するプリンターをクリックする。



3. [ファイル]>[入力フォルダーへ追加]から、任意の入力フォルダーを選択する。
ファイルを開く画面が表示されます。



4. ジョブリストに追加する印刷データを選択し、開くをクリックする。
選択した印刷データがジョブリストに追加されます。
5. 入力したジョブを選択し、プレビュー画面の[文書情報]-[特殊項目]に **A** と表示されていることを確認する。
表示されていない場合は、データにカット線が含まれていません。データを確認してください。

2. 印刷してカットする

操作手順は、次のリンク先を参照してください。[VersaWorks をお使いの方へー GR2-640/540 へ出力するときのポイント](#)

いろんな「カット」と「印刷してカット」

長尺で「印刷してカット」をする.....	69
AAS（自動位置合わせ機能）とは.....	69
Adobe Illustrator でセクションカットをする.....	71
CorelDRAW でセクションカットをする.....	76
マシン目カットをする.....	81
CutStudio でマシン目カットをする.....	81
Adobe Illustrator でマシン目カットをする.....	85
CorelDRAW でマシン目カットをする.....	89
すべてのカット線をマシン目でカットする.....	93

長尺で「印刷してカット」をする

「印刷してカット」の印刷とカットの位置は、長尺になるほどズレやすくなります。その場合は、AASのセクションカット機能を使うとズレを少なくできることがあります。ここでは、セクションカットの方法をご紹介します。

AAS（自動位置合わせ機能）とは

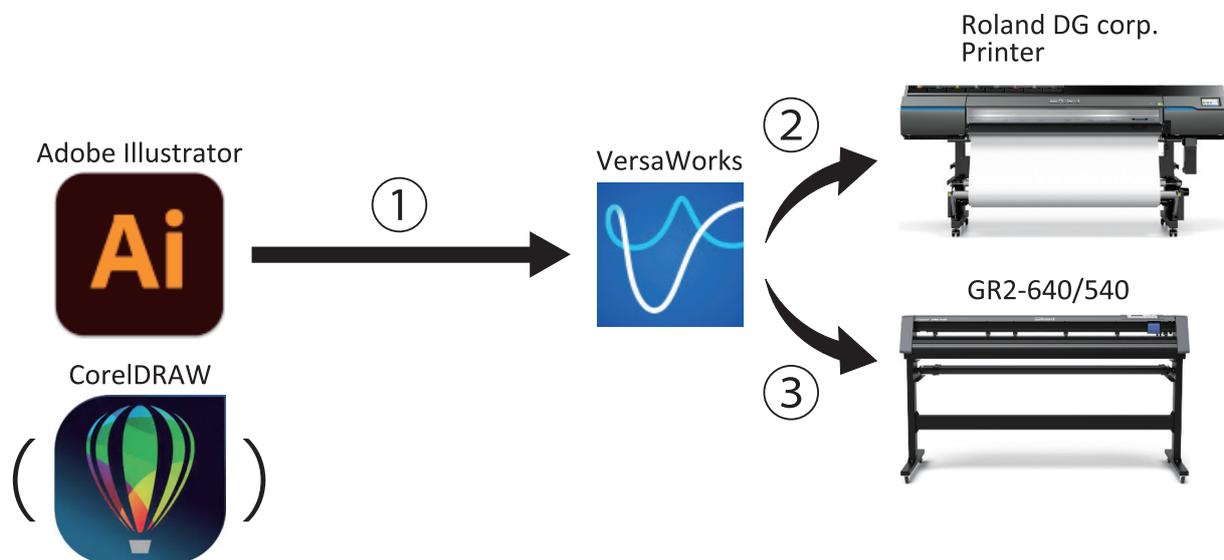
「印刷してカット」では、プリンターで印刷したシートをカッティングマシンに取り付けてカットします。そのとき、印刷位置とカット位置をぴったり合わせる必要があります。

これを実現するため、グラフィックの周りにクロップマークと呼ばれる画像を付けて印刷し、カッティングマシンでクロップマークをスキャンして位置合わせをしてからカットをします。この位置合わせ機能を、本書では「自動位置合わせ機能（AAS）」と呼びます。

自動位置合わせにはいくつか方法があります。

代表的な方法は、次の2つです。

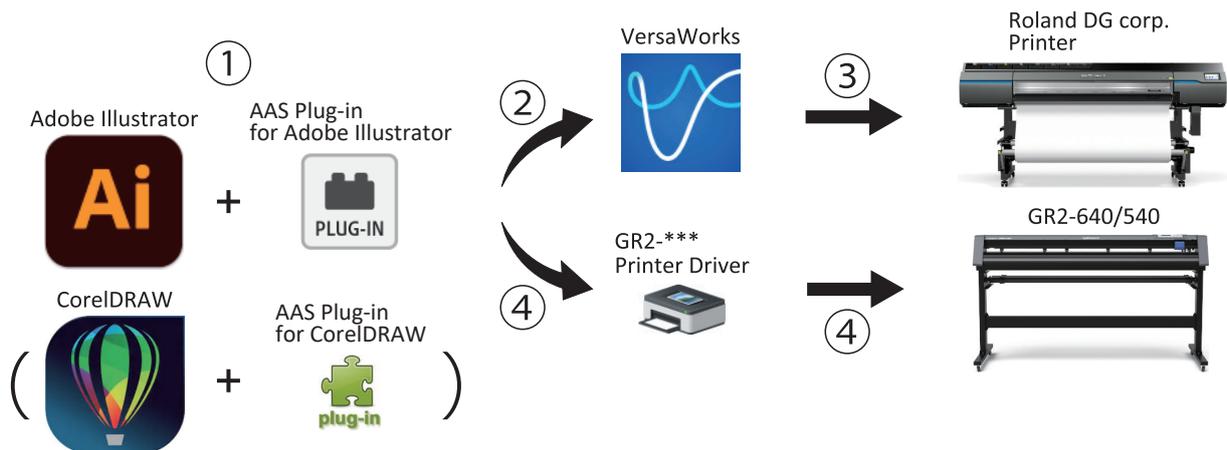
- VersaWorks でクロップマークを付け、印刷とカットをする方法



①	印刷とカットの混在したデータをジョブに追加
②	クロップマークを付加して、プリンターで印刷
③	クロップマーク読み込みの指示と、カットデータの出力

- AAS プラグイン(Adobe Illustrator 用/CorelDRAW 用)でクロップマークを付け、VersaWorks 経由で印刷し、プリンタードライバー経由でカットをする方法

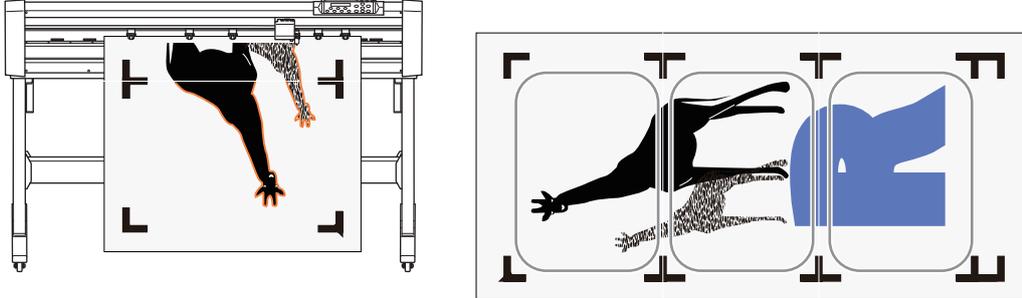
長尺で「印刷してカット」をする



①	データを作り、AAS プラグインを使ってクロープマークを追加
②	クロープマーク付きのデータをジョブに追加
③	プリンターで印刷だけをする
④	プリンタードライバー経由でカットデータを出力

Adobe Illustrator でセクションカットをする

セクションカットは、AAS プラグインでクロープマークを追加し「印刷してカット」をする方法の 1 つです。指定した距離、もしくはクロープマークで分けられたセクションごとにカットデータをスキャンしてカットするため、長尺物のカット品質がより安定します。



1. セクションカットのデータを作る (Adobe Illustrator 2022)

手順

1. Adobe Illustrator を起動する。
2. 新規ファイルを作る。
3. 印刷用のデータと、カット用のデータを作図する。
パスをカット線に指定するには、スポットカラーを登録したり、パスにスポットカラーを指定したりします。
詳しくは、次のリンク先を参照してください。
[VersaWorks をお使いの方へ](#)
4. [ファイル]>[スクリプト]>[RolandDG_AASII_Mark]をクリックする。
5. [Segmental Positioning]をオンにする。
6. クロープマークを挿入する間隔を入力する。
7. [Apply]をクリックする。
データに、一定間隔でクロープマークが追加されます。
8. [ファイル]>[保存]をクリックする。
[別名で保存]画面が開きます。
保存先のフォルダーを選んで名前を入力し、EPS または PDF のファイル形式でファイルを保存してください。

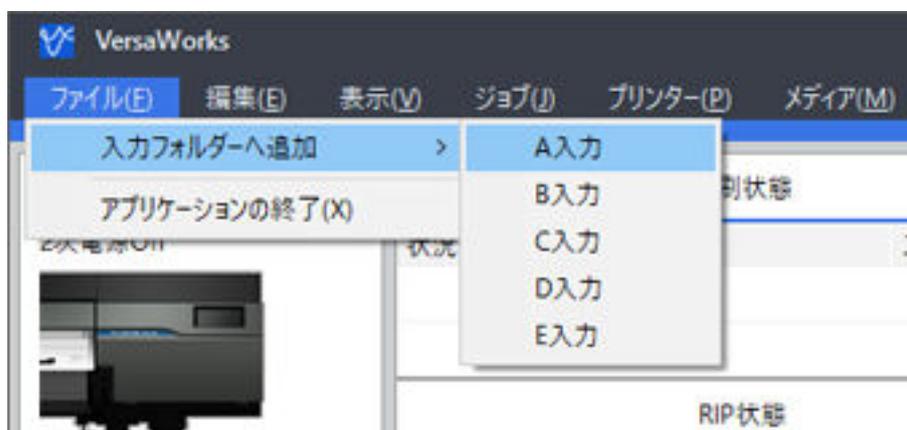
2. VersaWorks にデータを入力し、印刷する

手順

1. VersaWorks を起動する。
2. 使用するプリンターをクリックする。



3. [ファイル]>[入力フォルダーへ追加]から、任意の入力フォルダーを選択する。
ファイルを開く画面が表示されます。



4. ジョブリストに追加する印刷データを選択し、開くをクリックする。
選択した印刷データがジョブリストに追加されます。

5. VersaWorks で印刷する
操作手順は、VersaWorks のヘルプを参照してください。

[P. 66 印刷してカットする \(VersaWorks\)](#)

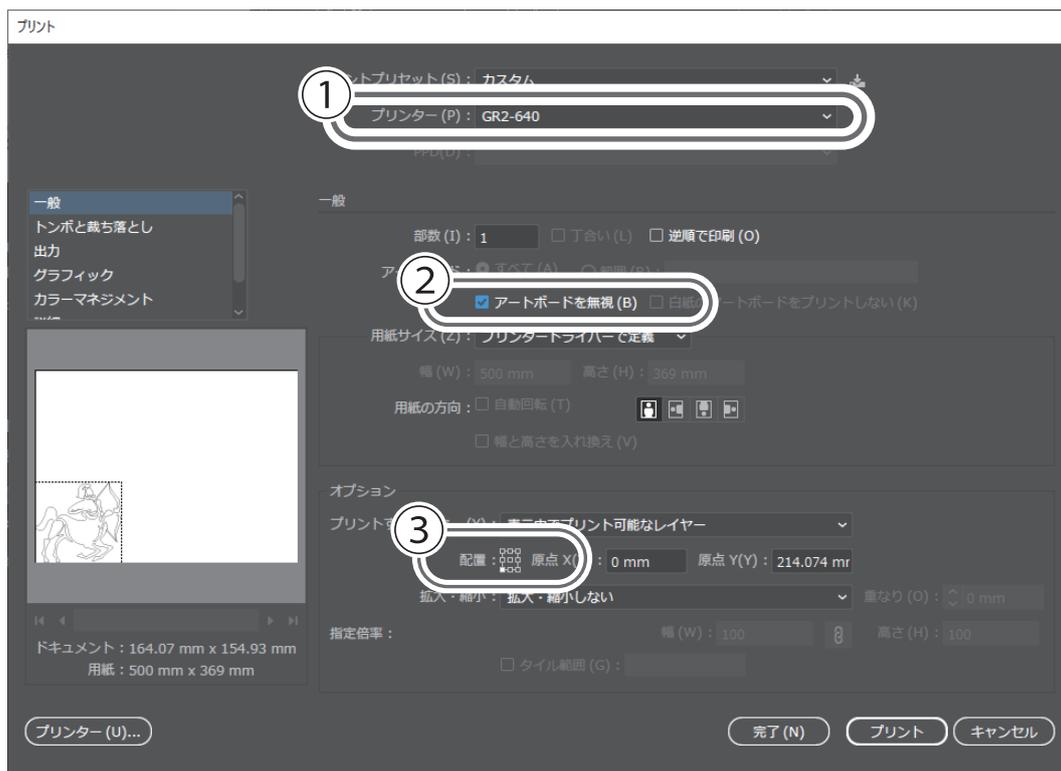
関連情報

- [VersaWorks ヘルプ](#)

3. カットする

手順

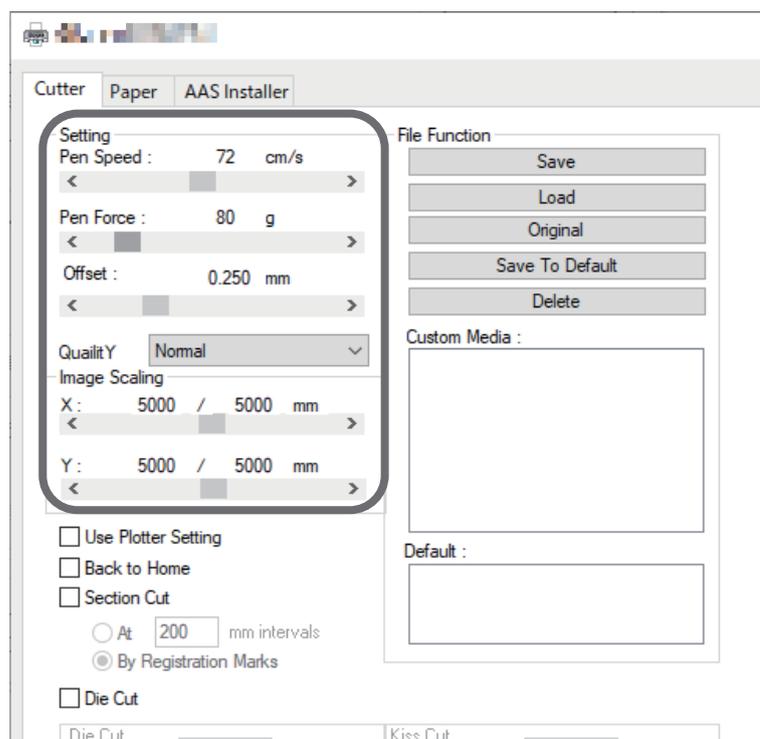
1. シートをセットアップする。
P. 22 シートをセットアップする
2. Adobe Illustrator が起動していないときは、起動する。
ファイルを開いていないときは、対象のファイル開いてください。
3. [ファイル]>[プリント]をクリックする。
[プリント]画面が開きます。
4. 次の設定をする。
 - (1) プリンターのプルダウン (①) をクリックし、[GR2-640]または[GR2-540]を出力先に選ぶ。
 - (2) [アートボードを無視] (②) をオンにする。
ただし、アートボードをオブジェクト全体に合わせている場合は、オフのままにしておきます。
 - (3) [配置] (③) の左下を選ぶ。



5. [プリンター]をクリックする。
メッセージが表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
[印刷]画面が開きます。
6. [詳細設定]をクリックする。
[印刷設定]画面が開きます。
7. [Cutter]タブをクリックする。

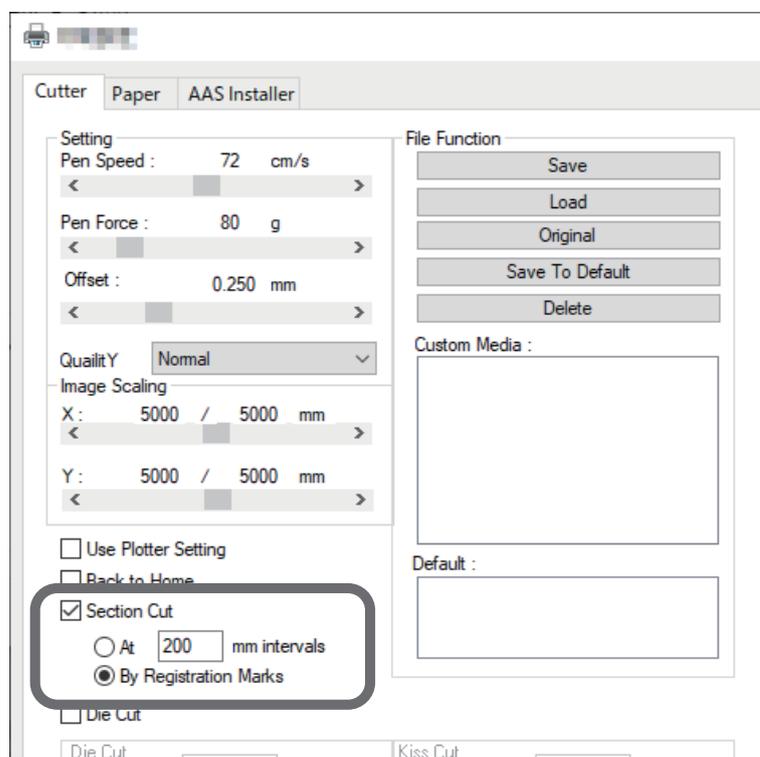
8. カッティング条件を変更する。

カッティング条件のプリセットを呼び出す場合は、[Load]をクリックしてください。



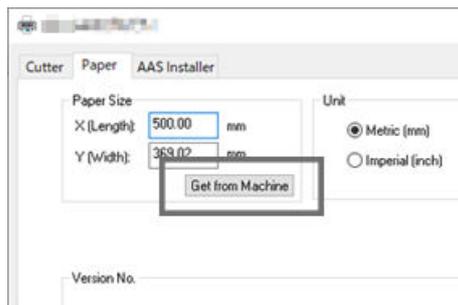
9. [Section Cut]をオンにする。

10. [By Registration Marks]をオンにする。



11. [Paper]タブをクリックする。

12. [Get from Machine]をクリックする。



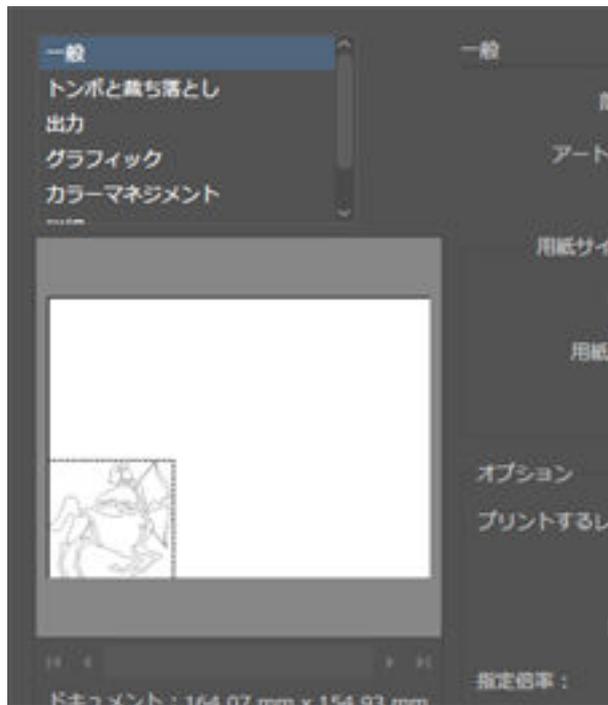
[Paper]に、カッティングマシンにセットアップしたシートのサイズ（カッティング範囲）がインポートされます。

13. [OK]をクリックする。
[印刷設定]画面が閉じます。

14. [印刷]をクリックする。
[印刷]画面が閉じます。

15. [完了]をクリックする。

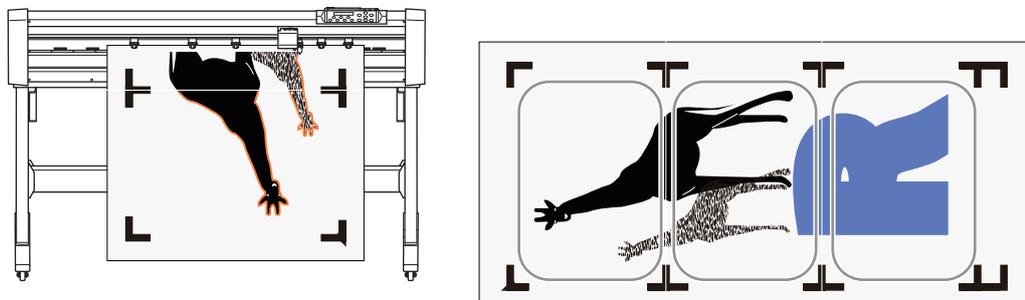
16. [ファイル]>[プリント]をクリックする。
再度、[プリント]画面が開きます。
プレビューでカットデータが左下に表示されていることをご確認ください。



17. [プリント]をクリックする。
データが出力され、カットが始まります。

CoreDRAW でセクションカットをする

セクションカットは、AAS プラグインでクロープマークを追加し「印刷してカット」をする方法の 1 つです。指定した距離、もしくはクロープマークで分けられたセクションごとにカットデータをスキャンしてカットするため、長尺物のカット品質がより安定します。



1. セクションカットのデータを作る (CoreDRAW 2022)

手順

1. CoreDRAW を起動する。
2. 新規ファイルを作る。
3. 印刷用のデータと、カット用のデータを作図する。
パスをカット線に指定するには、スポットカラーを登録したり、パスにスポットカラーを指定したりします。
詳しくは、次のリンク先を参照してください。
[VersaWorks をお使いの方へ](#)
4. [ツール]>[スクリプト]>[スクリプトの実行]をクリックする。
[マクロの実行]画面が開きます。
5. [マクロの場所]のプルダウンをクリックし、[GlobalMacros (RolandDG_AASII_Mark.gms)]をクリックする。
6. [実行]をクリックする。
[RolandDG_AASII_Mark Setting]画面が開きます。
7. クロープマークを挿入する間隔を入力する。
8. [Apply]をクリックする。
データに、一定間隔でクロープマークが追加されます。
9. [ファイル]>[保存]をクリックする。
ファイル保存の画面が開きます。
保存先のフォルダーを選んで名前を入力し、EPS または PDF のファイル形式でファイルを保存してください。

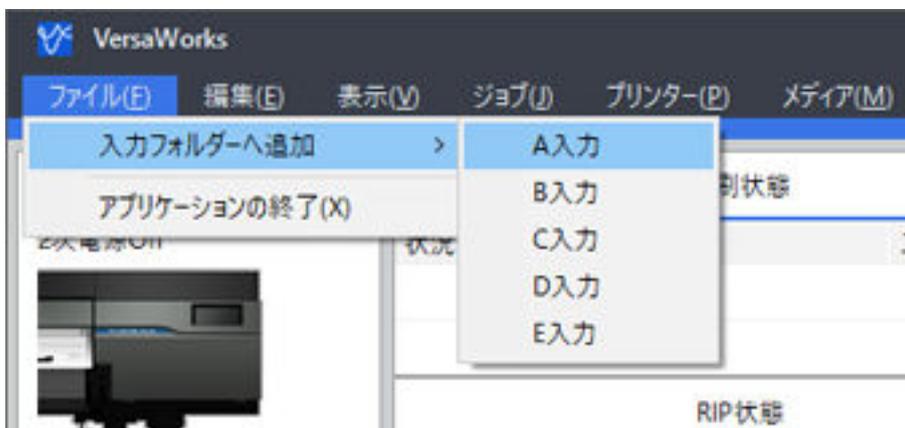
2. VersaWorks にデータを入力し、印刷する

手順

1. VersaWorks を起動する。
2. 使用するプリンターをクリックする。



3. [ファイル]>[入力フォルダーへ追加]から、任意の入力フォルダーを選択する。
ファイルを開く画面が表示されます。



4. ジョブリストに追加する印刷データを選択し、開くをクリックする。
選択した印刷データがジョブリストに追加されます。

5. VersaWorks で印刷する
操作手順は、VersaWorks のヘルプを参照してください。

[P. 66 印刷してカットする \(VersaWorks\)](#)

関連情報

- [VersaWorks ヘルプ](#)

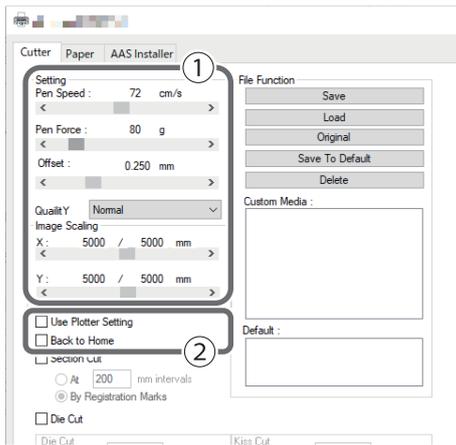
3. カットする

手順

1. CorelDRAW が起動していないときは、起動する。
ファイルを開いていないときは、対象のファイル開いてください。
2. [ファイル]>[印刷]をクリックする。
[印刷設定]画面が開きます。
3. [一般]タブをクリックする。
4. [プリンタ]のプルダウンをクリックし、[GR2-640]または[GR2-540]を出力先に選ぶ。

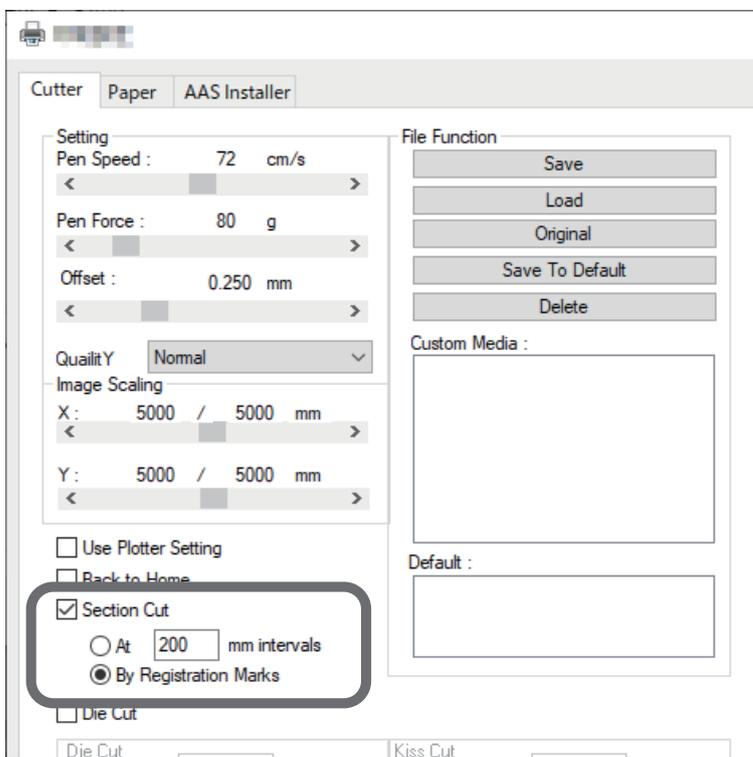


5.  をクリックする。
プリンタードライバーのプロパティ画面が開きます。
6. [Cutter]タブをクリックする。
7. カット条件を変更する。
カット条件のプリセットを呼び出す場合は、[Load]をクリックしてください。



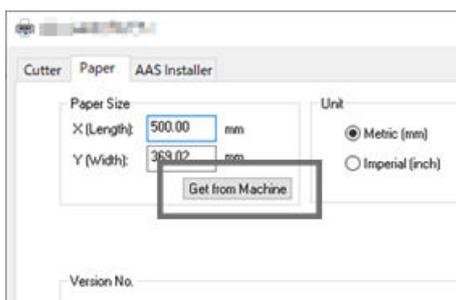
8. [Section Cut]をオンにする。

9. [By Registration Marks]をオンにする。



10. [Paper]タブをクリックする。

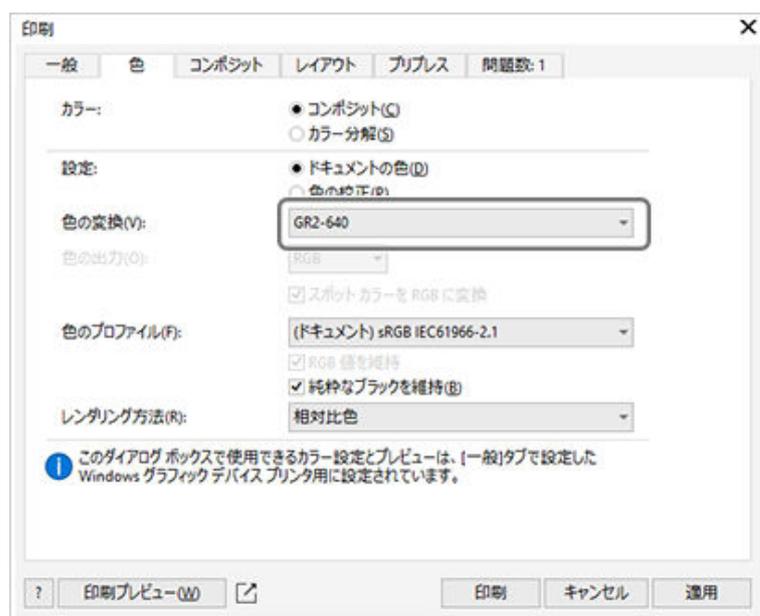
11. [Get from Machine]をクリックする。



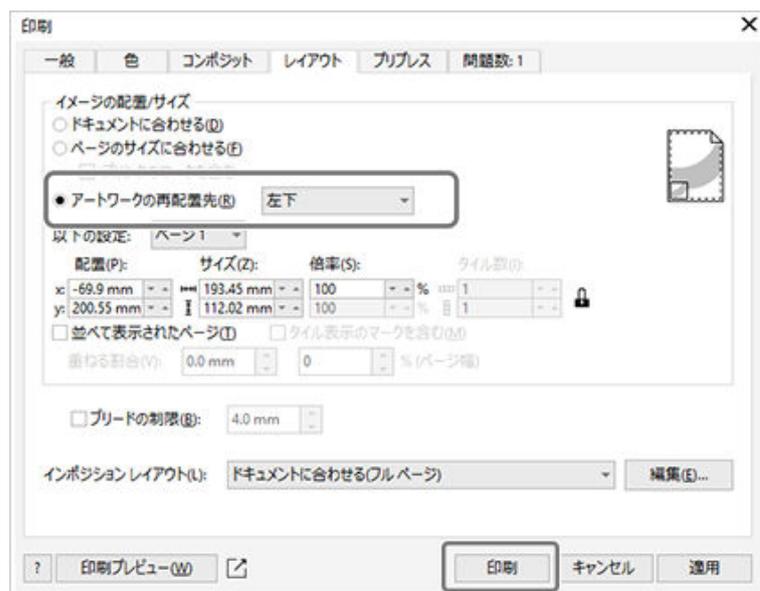
長尺で「印刷してカット」をする

[Paper Size]に、カッティングマシンにセットアップしたシートのサイズ（カッティング範囲）がインポートされます。

12. [OK]をクリックする。
プリンタードライバーのプロパティ画面が閉じます。
13. [色]タブをクリックする。
14. [色の交換]のプルダウンをクリックし、[GR2-640]または[GR2-540]を選ぶ。



15. [レイアウト]タブをクリックする。
16. [アートワークの再配置先]のプルダウンをクリックし、[左下]を選ぶ。



17. [印刷]をクリックする。
データが出力され、カットが始まります。

ミシン目カットをする

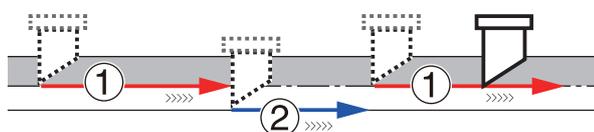
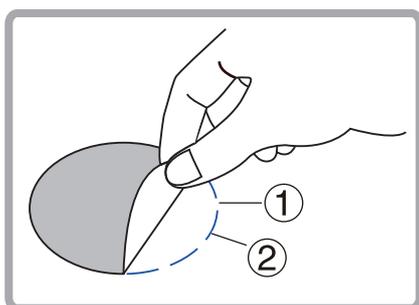
ミシン目カットでは、台紙まで切り抜く「ダイカット」(②)と、台紙を残してシート部までをカットする「ーフカット (または Kiss Cut)」(①)が組み合わされます。コート紙など台紙のないシートも、ミシン目カットを設定できます。

カット圧は、使用するシートや紙の材質によって異なります。カッテストをしてシートの切れ具合を確認し、「ダイカット」と「ーフカット (または Kiss Cut)」のどちらも適切なカット圧に調整してください。

重要

切り抜きカットをしたい場合も部分的に台紙を残してカットしてください。

台紙まで切り抜いてしまうと、切り抜かれた部分がカットの途中でシートから外れてしまい、シート送りができなくなったり、紙詰まりの原因になります。



CutStudio でミシン目カットをする

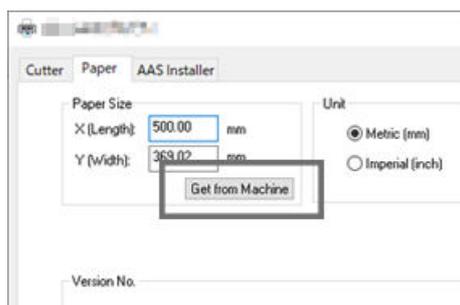
シートはすでにカッティングマシンにセットアップされているものとして、手順を記述します。

[P. 22 シートをセットアップする](#)

1. カットデータを作り、ミシン目カットを設定する (CutStudio)

手順

1. CutStudio を起動する。
2. [ファイル]>[カット設定]をクリックする。
[カット設定]画面が開きます。
3. [変更]をクリックする。
プリンタードライバーのプロパティ画面が開きます。
4. [Paper]タブをクリックする。
5. [Get from Machine]をクリックする。



[Paper Size]に、カッティングマシンにセットアップしたシートのサイズ（カッティング範囲）がインポートされます。

6. プリンタードライバーのプロパティ画面で[OK]をクリックする。
7. [カット設定]画面で[OK]をクリックする。
CutStudio に、機体から取得したカッティング範囲（作業領域）が表示されます。
8. カッティング範囲内に収まるようにカットデータを作図する。
カッティング範囲外のデータはカットされません。
必要であれば、Adobe Illustrator や CorelDRAW のデータをインポートして活用します。
9. ミシン目カットにしたいオブジェクトを選択する。
10.  をクリックする。
11.  をクリックする。
[名前を付けて保存]画面が開きます。
保存先のフォルダーを選び、名前を入力して、ファイルを保存してください。

2. カットする

重要

カットをする前に、機体の設定を [コマンド ユウセン] にしてください。

P. 19 プリンタードライバー（または CutStudio/VersaWorks）のカッティング設定を優先させる

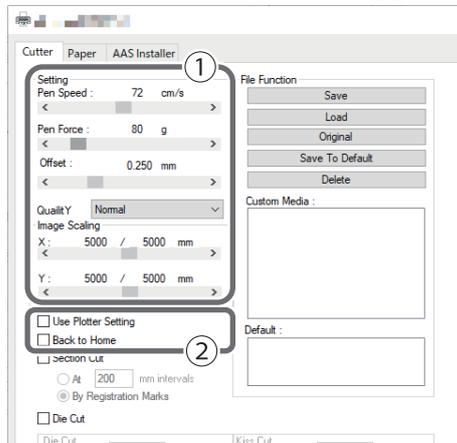
手順

1.  をクリックする。
[カット]画面が開きます。
2. [変更]をクリックする。
[カット設定]画面が開きます。
3. [変更]をクリックする。
プリンタードライバーのプロパティ画面が開きます。
4. [Cutter]タブをクリックする。

5. カッティング条件 (①) を変更する。

必要に応じて、その他 (②) を設定してください。

カッティング条件のプリセットを呼び出す場合は、[Load]をクリックしてください。



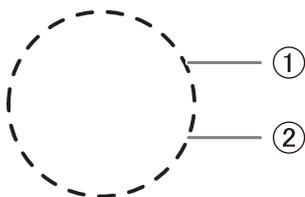
6. [OK]をクリックする。

プリンタードライバーのプロパティ画面が閉じます。

7. [カット設定]画面で、[機器のミシン目カッティング条件を使用する]のチェックを外す。

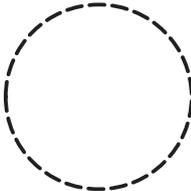
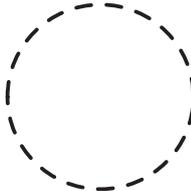
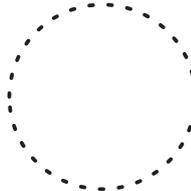
[ミシン目カッティング条件]が入力できるようになります。

8. [ミシン目カッティング条件]の[ダイカット長]、[ダイカット圧]、[ハーフカット長]、[ハーフカット圧]を設定する。



- ①：ダイカット長
台紙まで切り抜く部分の長さ
- ②：ハーフカット長
台紙を残してシート部までをカットする部分の長さ

ダイカット圧、ハーフカット圧は使用するシートの材質によって調整してください。

[ダイカット長] > [ハーフカット長]	[ダイカット長] = [ハーフカット長]	[ダイカット長] < [ハーフカット長]
		
ダイカット長：20 mm ハーフカット長：1 mm	ダイカット長：20 mm ハーフカット長：20 mm	ダイカット長：1 mm ハーフカット長：20 mm

9. [カット設定]画面で[OK]をクリックする。

10. [カット]画面で[OK]をクリックする。
データが出力され、カットが始まります。

Adobe Illustrator でミシン目カットをする

シートはすでにカッティングマシンにセットアップされているものとして、手順を記述します。

[P. 22 シートをセットアップする](#)

1. カットデータを作り、ミシン目カットを設定する (Adobe Illustrator 2022)

カットデータのカット線をミシン目のカット線として保存し、プリンタードライバーでミシン目カットを設定します。

手順

1. Adobe Illustrator を起動する。
2. 新規ファイルを作る。
3. カットデータを作図する。
 - パスをカット線に指定するには、線幅を 0.001 mm にしてください。
 - 線の太さや線端形状や角の形状をカットで表現したときは、パスをアウトライン化してください。
 - 文字をカットするには、アウトライン化してください。
 - 塗りは、指定しても無視されます。
4. ミシン目カットにしたいパスを選択し、線の色を緑 (R:0 G:255 B:0) に設定する。
5. [ファイル]>[保存]をクリックする。
[別名で保存]画面が開きます。
保存先のフォルダーを選び、名前を入力して、ファイルを保存してください。

2. カットする

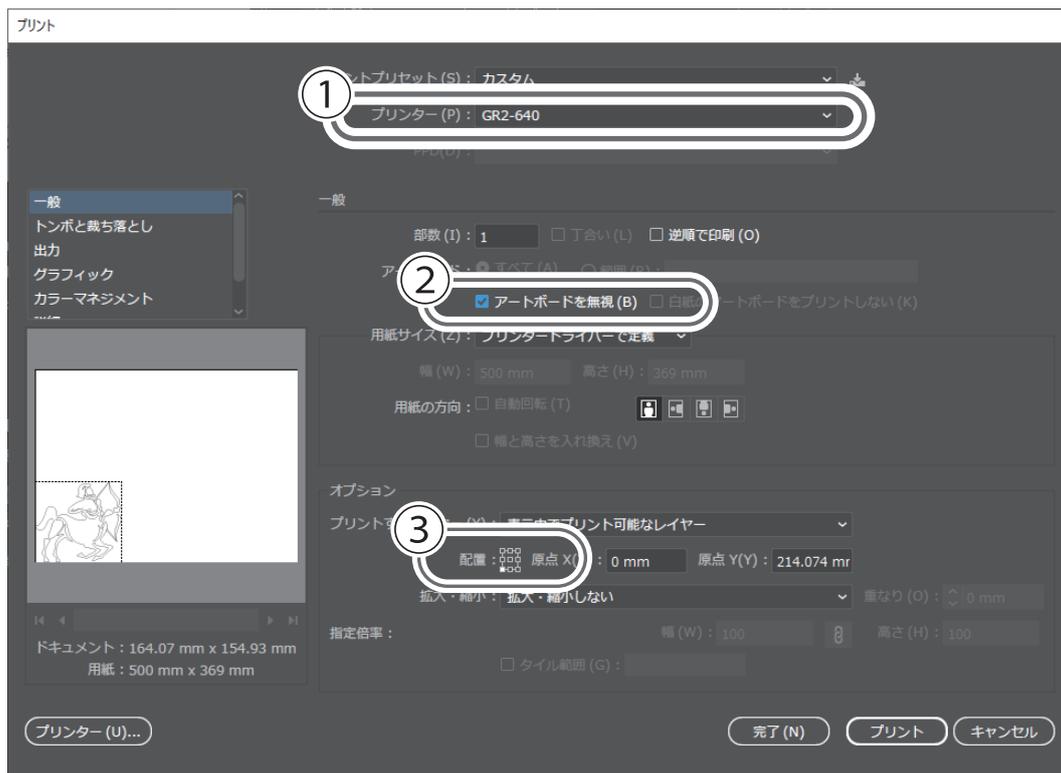
重要

カットをする前に、機体の設定を [コマンド ユウセン] にしてください。

[P. 19 プリンタードライバー \(または CutStudio/VersaWorks\) のカッティング設定を優先させる](#)

手順

1. [ファイル]>[プリント]をクリックする。
[プリント]画面が開きます。
2. 次の設定をする。
 - (1) プリンターのプルダウン (①) をクリックし、[GR2-640]または[GR2-540]を出力先を選ぶ。
 - (2) [アートボードを無視] (②) をオンにする。
ただし、アートボードをオブジェクト全体に合わせている場合は、オフのままにしておきます。
 - (3) [配置] (③) の左下を選ぶ。

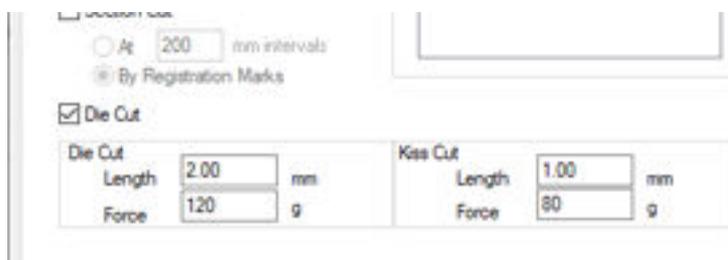


3. [プリンター]をクリックする。
メッセージが表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
[印刷]画面が開きます。
4. [詳細設定]をクリックする。
[印刷設定]画面が開きます。
5. [Cutter]タブをクリックする。
6. カッティング条件を変更する。
カッティング条件のプリセットを呼び出す場合は、[Load]をクリックしてください。



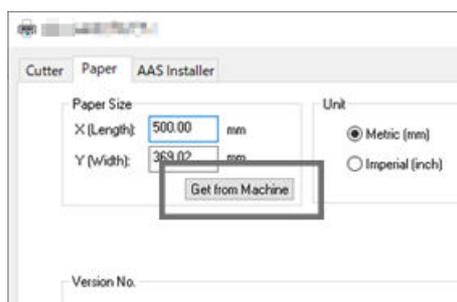
7. [Die Cut]をオンにする。

8. [Die Cut]と[Kiss Cut]の長さとかット圧を入力する。



9. [Paper]タブをクリックする。

10. [Get from Machine]をクリックする。

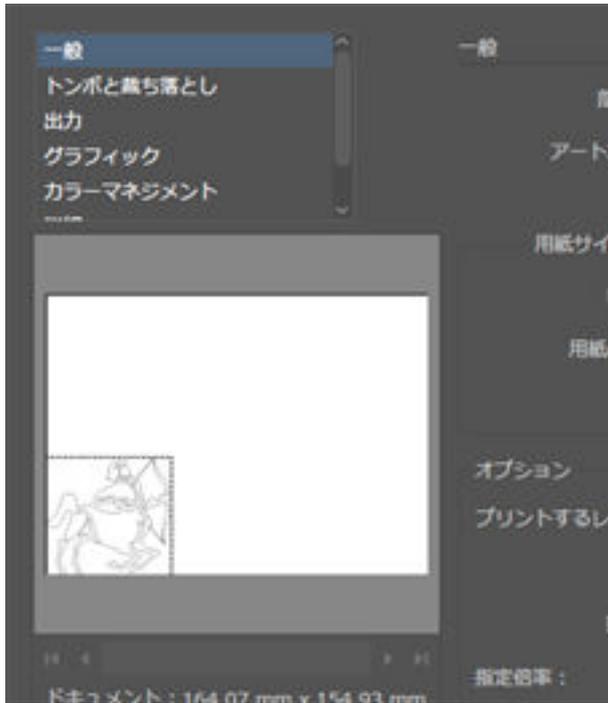


[Paper Size]に、カッティングマシンにセットアップしたシートのサイズ（カッティング範囲）がインポートされます。

11. [OK]をクリックする。

[印刷設定]画面が閉じます。

12. [印刷]をクリックする。
[印刷]画面が閉じます。
13. [完了]をクリックする。
14. [ファイル]>[プリント]をクリックする。
再度、[プリント]画面が開きます。
プレビューでカットデータが左下に表示されていることをご確認ください。



15. [プリント]をクリックする。
データが出力され、カットが始まります。

CorelDRAW でミシン目カットをする

シートはすでにカッティングマシンにセットアップされているものとして、手順を記述します。

[P. 22 シートをセットアップする](#)

1. カットデータを作り、ミシン目カットを設定する (CorelDRAW 2022)

手順

1. CorelDRAW を起動する。
2. 新規ファイルを作る。
3. カットデータを作図する。
 - パスをカット線に指定するには、線幅を 0.001 mm にしてください。
 - 線の太さや線端形状や角の形状をカットで表現したときは、パスをアウトライン化してください。
 - 文字をカットするには、アウトライン化してください。
 - 塗りは、指定しても無視されます。
4. ミシン目カットにしたいパスを選択し、線の色を緑 (R:0 G:255 B:0) に設定する。
5. [ファイル]>[保存]をクリックする。
ファイル保存の画面が開きます。
保存先のフォルダーを選び、名前を入力して、ファイルを保存してください。

2. カットする

重要

カットをする前に、機体の設定を [コマンド ユウセン] にしてください。

[P. 19 プリンタードライバー \(または CutStudio/VersaWorks\) のカッティング設定を優先させる](#)

手順

1. [ファイル]>[印刷]をクリックする。
[印刷]画面が開きます。
2. [一般]タブをクリックする。
3. [プリンタ]のプルダウンをクリックし、[GR2-640]または[GR2-540]を出力先に選ぶ。

ミシン目カットをする



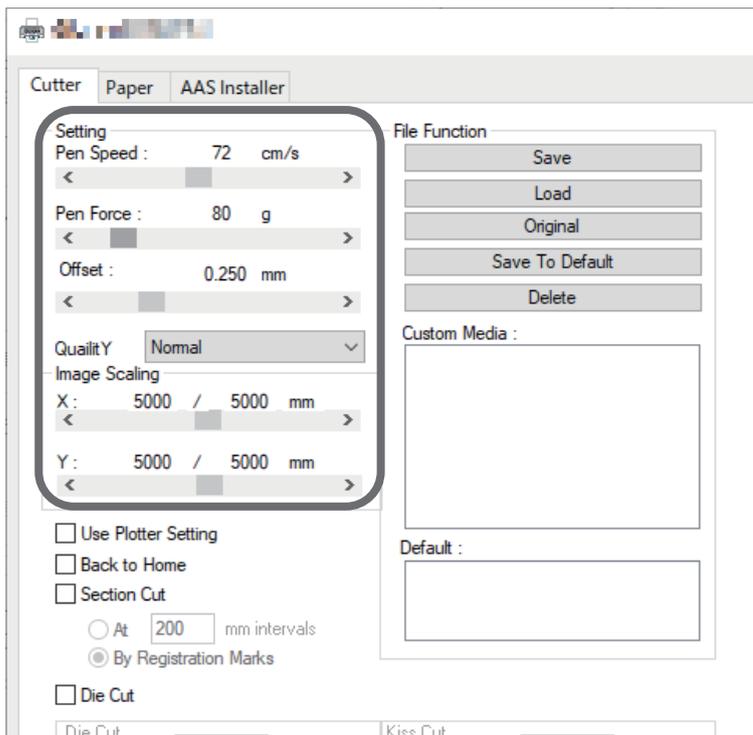
4.  をクリックする。

プリンタードライバーのプロパティ画面が開きます。

5. [Cutter]タブをクリックする。

6. カutting条件を変更する。

カutting条件のプリセットを呼び出す場合は、[Load]をクリックしてください。



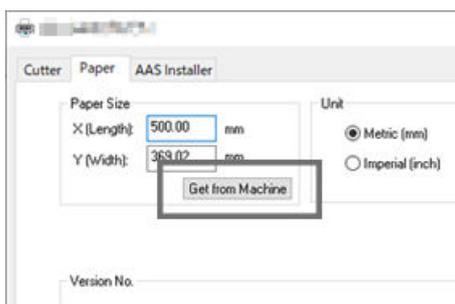
7. [Die Cut]をオンにする。

8. [Die Cut]と[Kiss Cut]の長さのカット圧を入力する。



9. [Paper]タブをクリックする。

10. [Get from Machine]をクリックする。



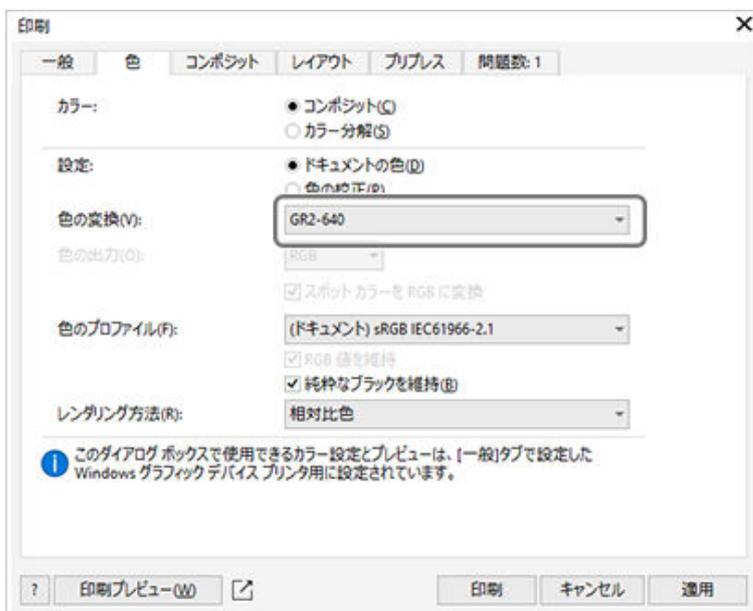
[Paper Size]に、カッティングマシンにセットアップしたシートのサイズ（カッティング範囲）がインポートされます。

11. [OK]をクリックする。

プリンタードライバーのプロパティ画面が閉じます。

12. [色]タブをクリックする。

13. [色の変換]のプルダウンをクリックし、[GR2-640]または[GR2-540]を選ぶ。



14. [レイアウト]タブをクリックする。

15. [アートの再配置先]のプルダウンをクリックし、[左下]を選ぶ。



16. [印刷]をクリックする。
データが出力され、カットが始まります。

すべてのカット線をミシン目でカットする

カッティングマシンに送られてきたすべてのカット線をミシン目カットします。カットデータの一部をミシン目にするのではなく、すべてミシン目カットする場合は、この方法を選ぶと良いでしょう。

手順

1. [MISC] を押す。
シートがセットされている場合は、[ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替えてください。

2. [▶] を何回か押して、以下の画面を表示する。
現在の設定が表示されます。

```
Die/Kiss Cut : OFF ▲
Select: ◀ OK:ENTER ▼
```

3. [Die/Kiss Cut] が [OFF] の場合は、[▲] [▼] を押して、[Die/Kiss Cut] を [ON] に切り替える。

4. [ENTER] を押す。

5. [Die Cut] と [Kiss Cut] のカット長さを設定する。

```
Die/Kiss Cut: ▲▼◀▶
Length: XX / XX mm
```

- (1) [Die Cut] を選択する場合は [◀]、[Kiss Cut] を選択する場合は [▶] を押す。
- (2) [▲] [▼] を押して、数値を変更する。

6. [ENTER] を押す。

7. 以下の画面で [Die Cut] と [Kiss Cut] のカット圧を設定する。

```
Die/Kiss Cut: ▲▼◀▶
Force: XXX g XXX g
```

- (1) [Die Cut] を選択する場合は [◀]、[Kiss Cut] を選択する場合は [▶] を押す。
- (2) [▲] [▼] を押して、数値を変更する。

8. [ENTER] を押す。

9. [ON/OFF LINE] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

出荷時設定 : [OFF]

カット長さ設定範囲 (Die Cut/Kiss Cut) : 0.1 ~ 100 mm / 0.1 ~ 100 mm (0.1 mm 単位で変更可)

カット圧設定範囲 (Die Cut/Kiss Cut) : 5 ~ 600 gf / 5 ~ 600 gf (5 gf 単位で変更可)

品質と効率を最適化する

カット品質を最適化する

シートの厚み/硬さ（柔らかさ）に対応する.....	96
重ね切りをする.....	96
切り込み量を調整する.....	99
角を長めにカットしてカットデータを剥がしやすくする（オーバーカット）.....	100
小さな文字や複雑なグラフィックを綺麗にカットする（タンジェンシャル）.....	101
円弧等の曲線をなめらかにカットする（スムージング）.....	102
カットのずれを防ぐ/直す.....	103
シートのずれ防止とカットの精度を安定させる.....	103
シートの厚みを考慮してカッティング時の距離補正をする.....	104
シート送りを設定して位置ずれを防ぐ.....	106

シートの厚み/硬さ（柔らかさ）に対応する

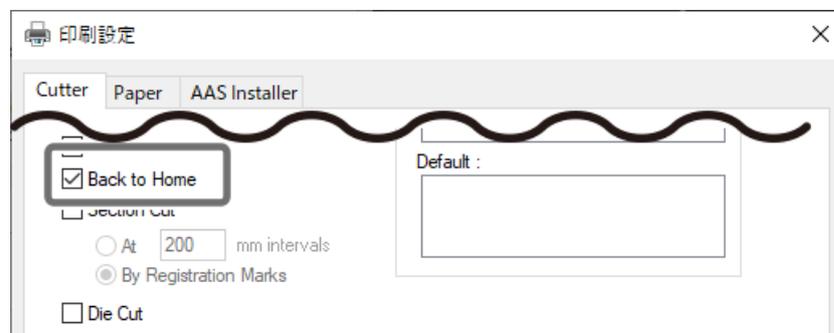
重ね切りをする

一度にカットできない厚いシートなどをカット終了後に原点位置に戻って繰り返しカットできるように設定します。

プリンタードライバーで重ね切りを設定する

手順

1. Adobe Illustrator または CorelDRAW を起動する。
2. [印刷設定]ウィンドウを開く。
3. [Cutter]タブを選択して、[Back to Home]をオンにする。



メモ

設定が完了したら、プリンタードライバーから重ね切りする回数分カットジョブを送信してください。

関連情報

- ・ P. 49 Adobe Illustrator を使ってカットする
- ・ P. 53 CorelDRAW を使ってカットする

CutStudio で重ね切りを設定する

手順

1. CutStudio を起動し、カットデータを作る。
2.  をクリックする。
[カット]画面が開きます。
3. [重ね切り回数]をクリックし、回数を選ぶ。
最初のカットは回数に含まれていません。追加のカット回数を指定してください。
4. [変更]をクリックする。

[**カット設定**]画面が開きます。

5. [**変更**]をクリックする。
プリンタードライバーのプロパティ画面が開きます。

6. [**カット設定**]画面で[**OK**]をクリックする。

7. [**カット**]画面で[**OK**]をクリックする。
カットデータが出力されます。

操作パネルで重ね切りを設定する（カットのみ）

カッティングマシンに送信された1つ前のカットジョブを操作パネル上で繰り返しカットします。

メモ

プリンタードライバーからジョブを送信する場合は、[印刷設定]ウィンドウを開き、[Back to Home]をオンにします。

手順

1. シートをセットし、シートのサイズを測定する。
P. 22 シートをセットアップする
2. [ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替える。
3. [CUT TEST] を押す。
4. [▶] を何回か押して、以下の画面を表示する。

リカット/コピー
セクタ: ◀ OK:ENTER

5. [ENTER] を押す。
現在設定されている値が画面に表示されます。

リカット # 1▲
セクタ: ◀ OK:ENTER▼

6. [▶] を押して、[リカット]を選択する。
7. [▲] [▼] を押して、繰り返す回数を選択する。
8. [ENTER] を押す。
カットが開始されます。指定回数を「2」以上に設定している場合は、ジョブが終了すると次のジョブを実行する確認のメッセージが表示されます。[PAUSE/RESUME] を押して次のジョブを実行してください。
9. カットが終了したら、[ON/OFF LINE] を押して、もとの画面に戻る。

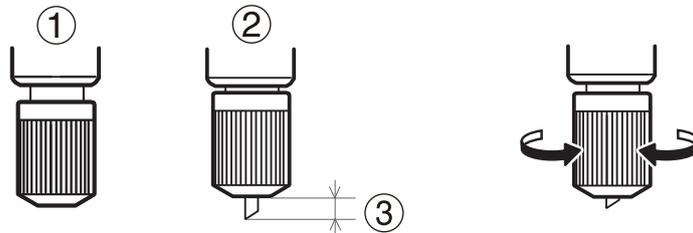
関連情報

- ・ P. 96 プリンタードライバーで重ね切りを設定する

切り込み量を調整する

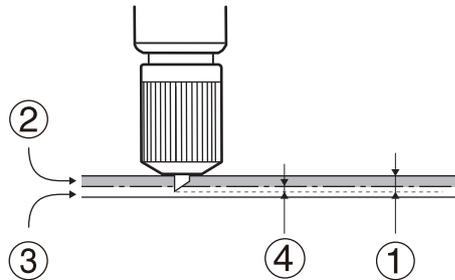
台紙が薄いシートをカットするなど、切り込み量を細かく調整したいときは、カッターの刃先突出量を調整すると良い結果が得られます。刃先突出量はカッターホルダーのキャップ部分を回して調整します。

刃先突出量 (③) は、最小で 0 mm (①)、最大で 2.5 mm (②) です。一回転で 0.5 mm の調整ができます。



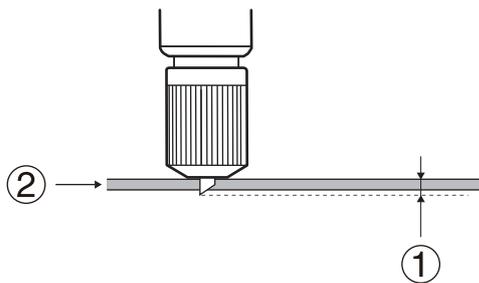
刃先突出量の目安：

刃先突出量 (①) はシート部の厚み (②) と台紙の厚み (③) の半分 (④) を足した量にしてください。



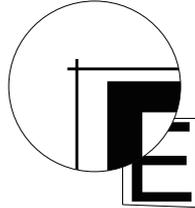
メモ

台紙のないシートをミシン目カットする場合、刃先突出量 (①) はカッターがシート (②) を貫通して刃先がわずかに出る量にしてください。刃先を多く出しすぎると、カッターとカッタープロテクションの摩耗が激しくなり、劣化を早めますので注意してください。



角を長めにカットしてカットデータを剥がしやすくする（オーバーカット）

カット線の左上の角部分を少し長めにカットして、ステッカーを剥がしやすくします。小さな文字や入り組んだ図形をカットしている場合には、使用するシート部を切り込むこともあるため通常は設定しないでおきます。



手順

1. [TOOL SELECT] を押す。
シートがセットされている場合は [ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替えてください。
2. [▶] を押して、以下の画面を表示する。
現在設定されている値が画面に表示されます。

オーバーカット	0.00 mm	▲
メニュー:	◀	OK:ENTER▼
3. [▲] [▼] を押して、オーバーカット長さを入力する。
4. [ENTER] を押して決定する。
5. [ON/OFF LINE] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

- 出荷時設定：0.00 mm
- 設定範囲；0.00～3.00 mm（0.05 mm 単位で変更可）

小さな文字や複雑なグラフィックを綺麗にカットする (タンジェンシャル)

進行方向にカッターの刃先を向けてカットするため、滑らかな角と切り口でカットされます。入り組んだ図形や小さな文字、厚いシートをカットする場合に効果的です。通常は〔ユウコウ〕にしておくことをおすすめします。

手順

1. [TOOL SELECT] を押す。
シートがセットされている場合は [ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替えてください。
2. [▶] を何回か押して、以下の画面を表示する。

3. [ENTER] を押す。
現在設定されている値が画面に表示されます。
4. [▲] [▼] を押して、〔ユウコウ〕にする。
5. [ENTER] を押して決定する。
6. [ON/OFF LINE] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

出荷時設定：〔ムコウ〕

円弧等の曲線をなめらかにカットする（スムージング）

本機に送られるカットデータの曲線をなめらかに設定します。通常〔ユウコウ〕に設定しますが、小さな文字や入り組んだ図形をきカットするときは角が丸くカッティングされる場合があるため〔ムコウ〕にしてください。また、品質を問わず生産性を上げたいときも〔ムコウ〕にしておくことをおすすめします。

手順

1. [TOOL SELECT] を押す。
シートがセットされている場合は [ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替えてください。
2. [▶] を何回か押して、以下の画面を表示する。

3. [ENTER] を押す。
現在設定されている値が画面に表示されます。
4. [▲] [▼] を押して、〔ユウコウ〕にする。
5. [ENTER] を押して決定する。
6. [ON/OFF LINE] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

出荷時設定：〔ユウコウ〕

カットのずれを防ぐ/直す

シートのずれ防止とカットの精度を安定させる

吸着ファンをオンにしてカッティング中のシートを吸着し、シートのずれと浮き上がりを防ぎます。通常は吸着ファンを「オン」にして使用することをおすすめしますが、薄くてコシのないシートを使用する場合は吸着ファンを「オフ」にしてください。吸着の強弱は設定できません。

手順

1. [MISC] を押す。
シートがセットされている場合は、[ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替えてください。
2. [▶] を何回か押して、以下の画面を表示する。

3. [ENTER] を押す。
現在設定されている値が画面に表示されます。
4. [▲] [▼] を押して、[ユウコウ] / [ムコウ] を切り替える。
5. [ENTER] を押して決定する。
6. [ON/OFF LINE] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

出荷時設定：[ユウコウ]

シートの厚みを考慮してカッティング時の距離補正をする

カッティング時、X、Y方向のカットの長さを正確に合わせたいときに補正をします。カッティングのみ、またはプリント&カットでも適用されます。

シートの厚みによって、シートの移動距離が微妙に変化します。そのため、カッティングしたときの線の長さがカットデータで設定された長さとはずれることがあります。

メモ

送り方向（X方向）または幅（Y方向）のみを補正することも可能です。

手順

1. 送り方向（X方向）と幅（Y方向）を規定の長さに設定した図形にカット線を作成する。

四角形など簡単な図形を作成してください。

[P. 46 カットデータを作り、出力する](#)

送り方向（X方向）長さ	幅（Y方向）長さ
250 ~ 2000 mm（250 mm 単位で作成してください）	250 mm / 500 mm

2. 使用するシートを本機にセットする。

[P. 22 シートをセットアップする](#)

3. カット出力する。

[P. 39 カットの方法](#)

4. カットされた長さ（送り方向および幅）を計測する。

5. [MISC] を押す。

シートがセットされている場合は、[ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替えてください。

6. シート送り方向のカット長さを補正する。

- (1) [▶] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
キヨリ 補正 X
センチ: ◀ OK:ENTER
```

- (2) [ENTER] を押す。

- (3) [◀] を押して左側の数字を選択し、[▲] [▼] を押して、手順1で作成した送り方向の長さに変更します。

- (4) [▶] を押して右側の数字を選択し、[▲] [▼] を押して実際にカットされた送り方向の長さに変更する。

- (5) [ENTER] を押す。

7. 幅のカット長さを補正する。

- (1) [▶] を押して、以下の画面を表示する。

```
キヨリ 補正 Y
センチ: ◀ OK:ENTER
```

- (2) [ENTER] を押す。

- (3) [◀] を押して左側の数字を選択し、[▲] [▼] を押して、250 mm または 500 mm（手順1で作成した幅の長さ）に変更します。

- (4) [▶] を押して右側の数字を選択し、[▲] [▼] を押して実際にカットされた幅の長さに変更する。

(5) [ENTER] を押す。

8. [ON/OFF LINE] を押して、もとの画面に戻る。

シート送りを設定して位置ずれを防ぐ

カッティング開始前にあらかじめ自動的にカットデータに必要なシート長さを引き出すよう設定します。シート送りが安定し位置ずれを防止します。また、シートがカットする速度で引き出されることによるモーターの負荷が軽減されます。シート送りが必要なシートには必ず設定してください。

重要

シートサイズの測定で[カットシ]モードを選択した場合、この機能は無効になります。

メモ

シート送りが必要なシート

- ロールシート
- 1.6 m を超える長い平型シート

手順

1. [MISC] を押す。

シートがセットされている場合は、[ON/OFF LINE]を押して、オフラインモードに切り替えてください。

以下の画面が表示されます。

```
シート送りモード  
メニュー: ◀ OK:ENTER
```

2. [ENTER] を押す。

現在の設定が表示されます。

```
400  
メニュー: ▶ OK:ENTER
```

3. [▲] [▼] を押して、[ユウコウ] に切り替える。

4. [ENTER] を押す。

以下の画面が表示されます。

```
Pre-feed Length ▲  
Select: ◀ OK:ENTER ▼
```

5. [ENTER] を押す。

現在の設定が表示されます。

```
Pre-feed 600 mm  
N:OFFLINE OK:ENTER
```

6. [▲] [▼] を押して、カットデータに必要なシートの長さ値を設定します。

設定する値は必要なシートの長さよりも 500 mm 程度長めにするとういでしょう。

7. [ENTER] を押す。

以下の画面が表示されます。

```
Pre-feed Times ▲  
Select: ◀ OK:ENTER ▼
```

8. [ENTER] を押す。

現在の設定が表示されます。

```
Times          1
N:OFFLINE OK:ENTER
```

9. [▲] [▼] を押して、試し送りの回数を設定する。

シートの試し送りの回数が多いほど位置ずれを防止します。

10. [ENTER] を押す。**11.** [ON/OFF LINE] を押して、もとの画面に戻る。**メモ**

出荷時設定：

- [ジドウ メディア フィード]：[ユウコウ]
- [Pre-feed Length]：500 mm
- [Pre-feed Times]：1

設定範囲：

- [Pre-feed Length]：500～15000 mm（100 mm 単位で変更可）
- [Pre-feed Times]：1～5

関連情報

- [P. 35 シートのサイズを測定する](#)

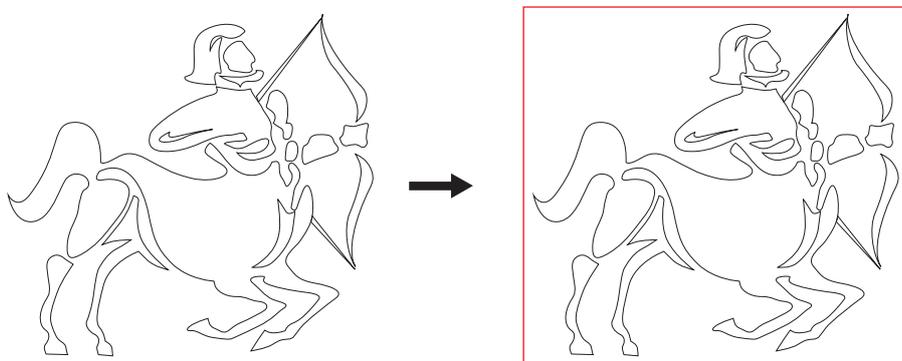
効率よく作業する

カス取りをやりやすくする.....	109
シートを無駄なく使う.....	111
未使用で残ったところにカットする.....	111
カッティング範囲を拡張する.....	112
同じものをたくさん作る.....	113
カッティング条件を再利用する.....	114
本体でカッティング条件を保存し、再利用する.....	114
プリンタードライバーでカッティング条件を保存し、再利用する.....	115
出力時間を短縮する.....	118
カッティング中の空送り速度を設定する.....	118
空送り速度の加速レベルを設定する.....	119
AAS センサーのクロップマーク検出速度を設定する.....	120
カットしたい線のみを出力する.....	121
もう一回カットする.....	123
印刷をし終えてから、まとめてカットする.....	124

カス取りをやりやすくする

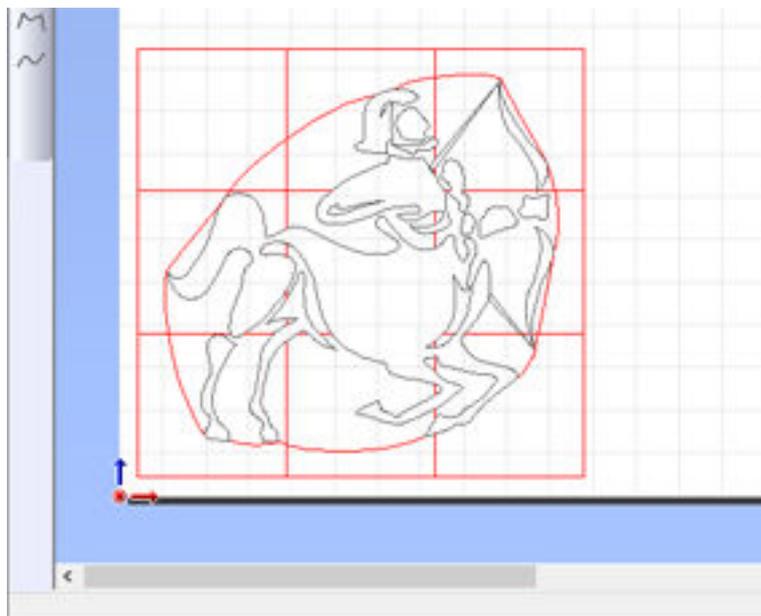
取り除く部分のシートをこま切れにすると、カス取りがやりやすくなります。

カットデータの周りを矩形や円で囲むと、はがすシートの面積を少なくできます。これは、どのソフトウェアでカットデータを作る場合であっても、有効な方法です。



CutStudio には、カス取り線を追加する機能があります。

オブジェクトが他のオブジェクトに内包する場合など、残すシートとはがすシートとを判別して、カス取り線を入れるべき場所を自動で判別します。機能の詳細は、CutStudio のヘルプを参照してください。

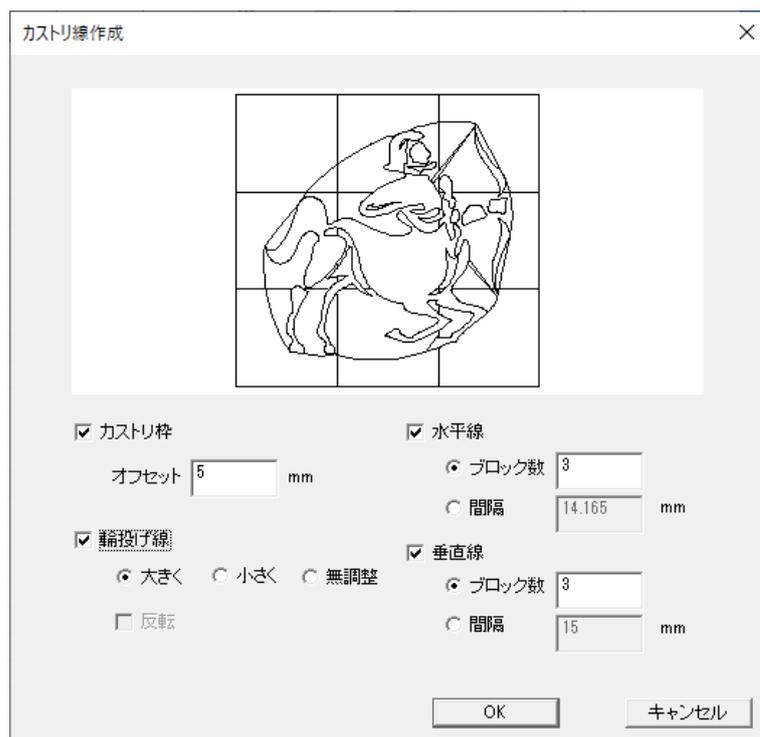


メモ

赤い線が追加したカス取り線です。識別しやすいように色を付けていますが、CutStudio のカス取り線に着色はされません。

手順

1. カス取り線を付けたいオブジェクトを選択する。
2. [図形]>[カストリ線作成]をクリックする。
[カストリ線作成]画面が開きます。
3. 付けたいカストリ線の種類をオンにし、必要な設定をする。



4. [OK]をクリックする。

シートを無駄なく使う

未使用で残ったところにカットする

カットの開始位置となる原点を出力エリアの任意の場所に設定します。原点を設定しなくてもカット出力はできますが、出力エリアを定めることでシートを無駄なく使ったり、狙った場所でカットしたりできます。

手順

1. シートのセットアップが完了されていることを確認する。
2. [◀] [▶] [▲] [▼] を押して、原点にセットする位置までカッティングキャリッジを移動する。

メモ

原点位置のセットは、オンラインモードおよびオフラインモードのどちらでも設定できます。

3. [ENTER] を押す。
原点位置（カットの開始位置）が設定されます。

関連情報

- ・ P. 22 シートをセットアップする

カッティング範囲を拡張する

カッティング領域を広げることで、シートを最大限に使用することができます。

手順

1. [MISC] を押す。
シートがセットされている場合は、[ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替えてください。

2. [▶] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```

カクカ° ンイ
セツク°   ◀ OK:ENTER
    
```

3. [ENTER] を押す。
現在の設定が表示されます。

4. [▲] [▼] を押して、拡張方法を選択する。

ノーマル	<pre>ノーマル セツク° ▲▼ OK:ENTER</pre>	長さ (X方向)、幅 (Y方向) ともに拡張しない
X-カクチョウ	<pre>X-カクチョウ セツク° ▲▼ OK:ENTER</pre>	長さ (X方向) を拡張
Y-カクチョウ	<pre>Y-カクチョウ セツク° ▲▼ OK:ENTER</pre>	幅 (Y方向) を拡張
X/Y カクチョウ	<pre>X/Yカクチョウ セツク° ▲▼ OK:ENTER</pre>	長さ (X方向)、幅 (Y方向) ともに拡張する

5. [ENTER] を押して決定する。
以下の画面が表示されます。シートをセットしている場合は再度シートサイズを測定する必要があります。レバーを上げてシートを測定してください。

```

レバ°ー ラ アケ°テ メテ°イ ラ
サイセツ シテ クタ°サイ
    
```

メモ

- 出荷時設定：〔ノーマル〕
- 拡張範囲：
 - 幅：20 mm
 - 長さ (送り方向)：50 mm

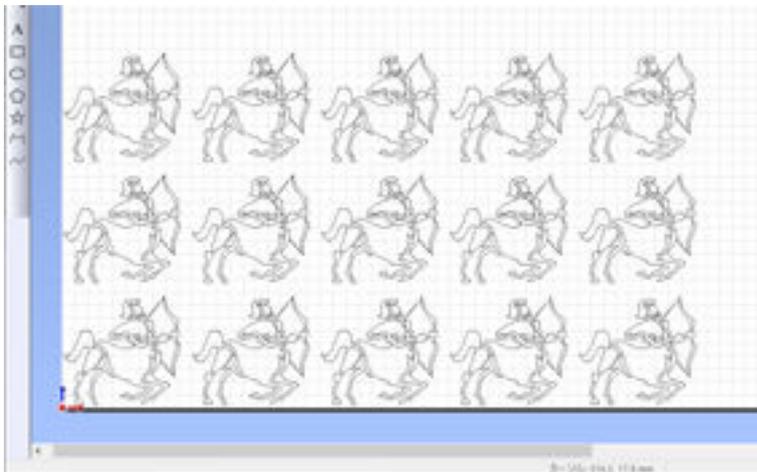
関連情報

- P. 35 シートのサイズを測定する

同じものをたくさん作る

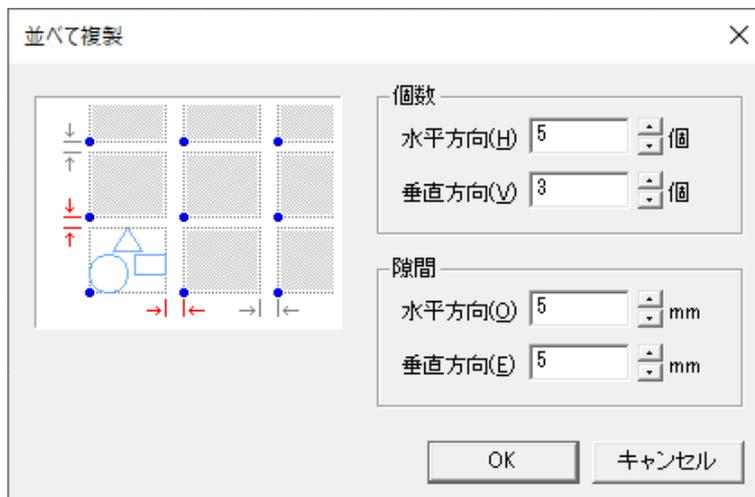
CutStudio の「並べて複製」機能を使います。

オブジェクトどうしの隙間が指定できて、同じカットデータをたくさん作るために最適化された機能です。



手順

1. コピー元のオブジェクトを選択する。
2. [編集]>[並べて複製]をクリックする。
[並べて複製]画面が開きます。
3. 並べる個数と、オブジェクトどうしの隙間を入力する。



4. [OK]をクリックする。

カッティング条件を再利用する

シートを変更するたびにカッティング条件を設定する手間を省くため、よく利用するシートについてはカッティング条件をプリセットに保存できます。次回からは保存したプリセットを呼び出すだけで、お使いのシートに最適な設定に変更されます。

本体でカッティング条件を保存し、再利用する

1. カッティング条件を保存する

カット圧、カットスピード、オフセットを組み合わせたカッティング条件を最大4つまで本機のパネル上で保存できます。

手順

1. [TOOL SELECT] を押す。
シートがセットされている場合は、[ON/OFF LINE]を押して、オフラインモードに切り替えてください。
現在適用されているプリセット番号が表示されます。未登録の場合は通常「1」が表示されます。

メモ

プリセット名は1～4の番号で固定され、変更することができません。



```
1 S 30 F 80 O 0.275 ▲
セッタ: ◀ OK:ENTER ▶
```

2. [▼] を押して、任意のプリセット番号を選択する。
ここで選択する番号にカッティング条件を登録します。
3. [ENTER] を押す。
4. [SPEED] [FORCE] [OFFSET] のカッティング条件を変更する。
選択したプリセット番号にカッティング条件が保存されます。
[P. 43 カッティング条件を調整する](#)

2. 保存したカッティング条件を適用する

操作パネルに保存したプリセットを選択して適用します。

手順

1. [TOOL SELECT] を押す。
シートがセットされている場合は、[ON/OFF LINE]を押して、オフラインモードに切り替えてください。
現在適用されているプリセット番号が表示されます。



```
1 S 30 F 80 O 0.275 ▲
セッタ: ◀ OK:ENTER ▶
```

2. [▼] を押して、適用するカッティング条件のプリセット番号を選択する。
3. [ENTER] を押す。

プリンタードライバーでカッティング条件を保存し、再利用する

1. カッティング条件を保存する

カッティング条件やカット方法の設定をプリンタードライバーに保存します。

手順

1. ドライバーのプロパティを表示する。

(1) デバイスとプリンターの一覧を表示する。

- Windows 11:
 - i. [スタート]>[設定]をクリックする。
 - ii. [Bluetooth とデバイス]>[デバイス]>[その他のデバイスとプリンターの設定]をクリックする。
- Windows 10:
 - i. [スタート]>[Windows システムツール]>[コントロールパネル]をクリックする。
 - ii. [デバイスとプリンターの表示]をクリックする。

(2) 本機のアイコンを右クリックする。

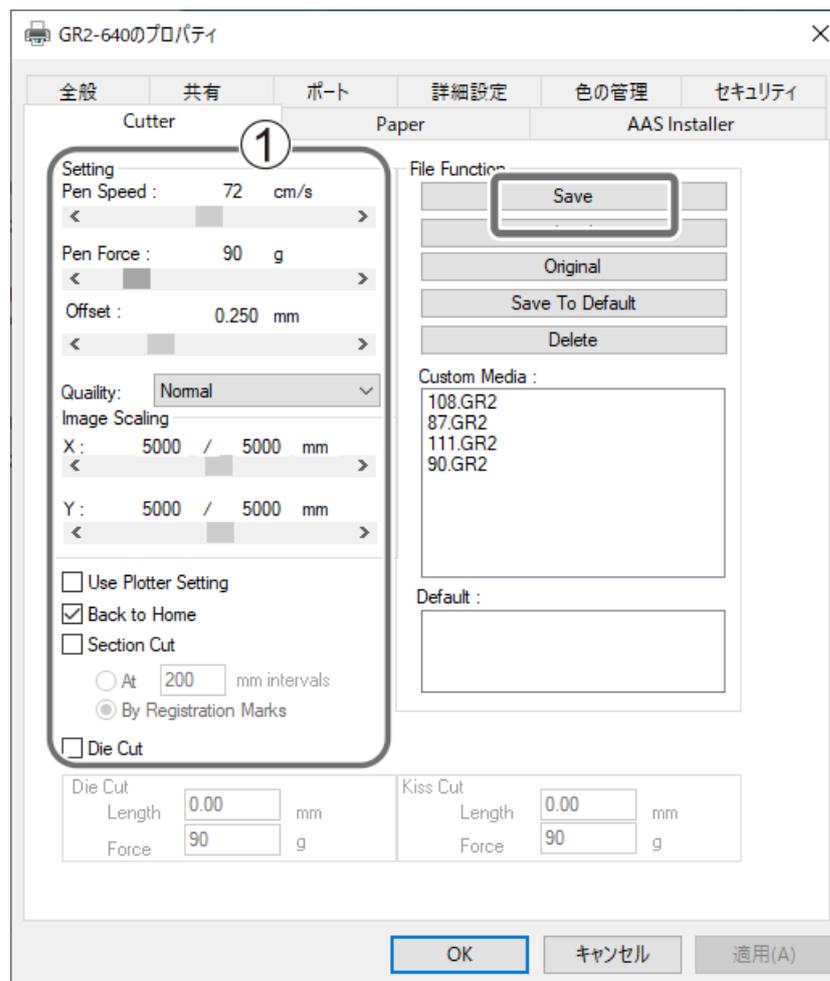
(3) [プリンターのプロパティ]をクリックする。



(4) [プリンターのプロパティ]ウィンドウで[Cutter]タブに切り替える。

2. カッティング条件およびカット方法の設定を変更し (①)、[File Function]の[Save]をクリックする。

[Save]をクリックすると、プリセットファイルを保存するウィンドウが開きます。任意のフォルダを選択してください。



3. ファイル名を入力して、保存する。
シートの名前などで区別できるようなファイル名をつけてください。ファイルには「GR2」の拡張子がつけられます。

メモ

プリセットファイルを削除する場合は、フォルダから手動で削除してください。

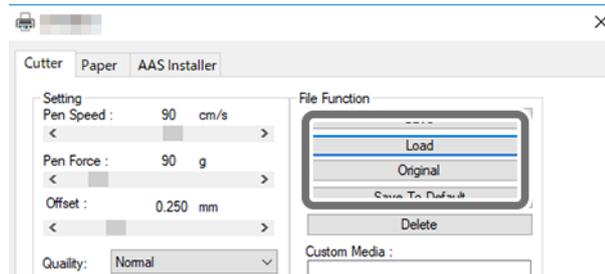
2. 保存したカッティング条件を適用する

カットジョブを本機に送る際にプリンタードライバーのプロパティ画面を開き、プリセットに保存した設定を呼び出します。

手順

1. CutStudio を起動する。
2. [ファイル]>[開く]をクリックして、カットするデータを開く。
3. [ファイル]>[カット設定]をクリックする。
[カット設定]画面が開きます。
4. [変更]をクリックする。
プリンタードライバーのプロパティ画面が開きます。

5. [Cutter]タブを表示する。
6. [File Function]の[Load]をクリックする。



工場出荷時の設定（初期設定）の値を呼び出す場合は、[Original]をクリックしてください。

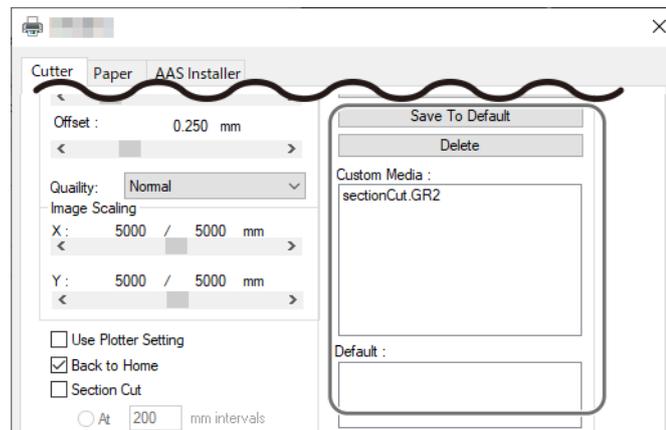
7. 呼び出すプリセットファイルを選択して、[開く]をクリックする。

選択したプリセットの値が適用されます。

現在の設定値ををアプリ起動後のプリンタードライバーのプロパティ画面に表示させる場合は、[Save To Default]をクリックします。

メモ

保存されたプリセットは[Custom Media]に表示されます。[Custom Media]のプリセットをダブルクリックして適用することもできます。[Custom Media]からプリセットの表示を削除する場合は[Delete]をクリックしてください。



8. [OK]をクリックして、プリンタードライバーのプロパティ画面を閉じる。
9. [OK]をクリックする。

出力時間を短縮する

カッティング中の空送り速度を設定する

カット中に、カッターをシートから離して次のカットまで移動させる時の速度を設定します。空送り速度を速くすると、出力時間の短縮になります。空送り中にシートが浮き上がり、カッターがシートを表面を傷つけるような場合には、速度を遅くしてください。

手順

1. [SPEED] を押す。
シートがセットされている場合は、[ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替えてください。
2. [▶] を何回か押して、以下の画面を表示する。
現在設定されている値が画面に表示されます。

3. [▲] [▼] を押して、次のカットデータへ移動する空送り速度を設定する。
4. [ENTER] を押して決定する。
5. [ON/OFF LINE] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

- 出荷時設定：72 cm/sec
- 設定範囲：3～153 cm/sec (3 cm/sec 単位で変更可)

関連情報

- P. 119 空送り速度の加速レベルを設定する

空送り速度の加速レベルを設定する

カッティング中のカッターの空送り速度（1つのカット線をカッティング後、次のカット線をカッティングするためにカッターが水平移動するときの速度）を設定したら、カッターの加速度を設定します。

手順

1. [SPEED] を押す。
シートがセットされている場合は、[ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替えてください。
2. [▶] を何回か押して、以下の画面を表示する。
現在設定されている値が画面に表示されます。

3. [▲] [▼] を押して、加速度のレベルを選択する。
[High]、[Medium]、[Low] の3段階のレベルから選択できます。
4. [ENTER] を押して決定する。
5. [ON/OFF LINE] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

出荷時設定：[Medium]

関連情報

- ・ P. 118 カッティング中の空送り速度を設定する

AAS センサーのクロップマーク検出速度を設定する

プリント&カットで使用するクロップマークの読みとり速度を設定します。

手順

1. [SPEED] を押す。
シートがセットされている場合は、[ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替えてください。
2. [▶] を何回か押して、以下の画面を表示する。
現在設定されている値が画面に表示されます。

3. [▲] [▼] を押して、クロップマークを検出する速度を選択する。
AAS 検出速度は、[Medium]、[Low] の2つのレベルから選択できます。
4. [ENTER] を押して決定する。
5. [ON/OFF LINE] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

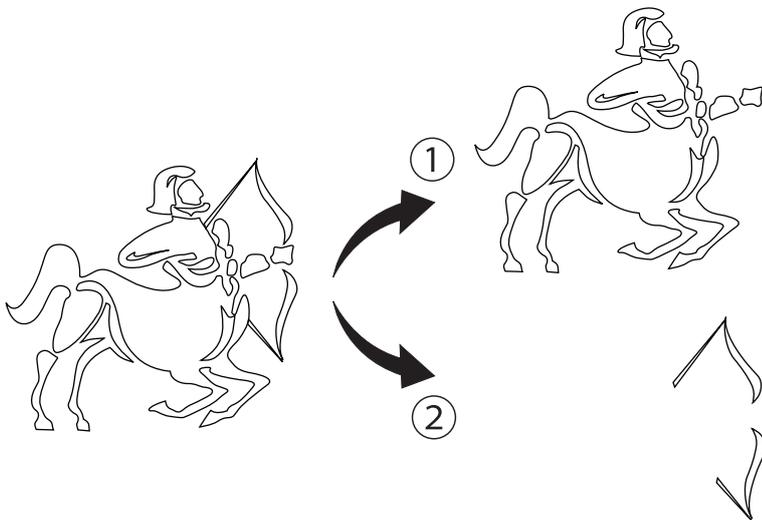
出荷時設定: [Medium]

関連情報

- ・ P. 64 データを作り、出力する

カットしたい線のみを出力する

ミシン目カットのみをあとで出力したり、色の違うシートを組み合わせて1つの成果物を作ったりする場合、カットしたい線を指定して出力したいことがあります。



①	1 回目の出力
②	2 回目の出力

Adobe Illustrator や CorelDRAW では、パスをレイヤーに分けて作り、レイヤー単位で出力するかしないかを選ぶことができます。

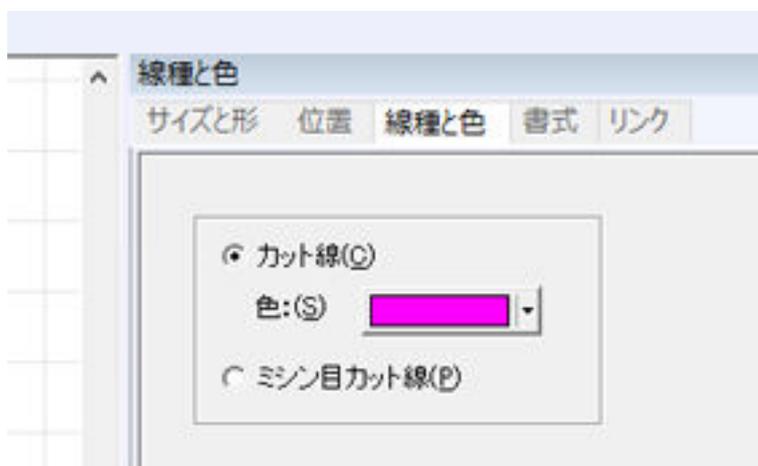
出力のときに対象のレイヤーを選んだり、レイヤー自体に印刷可/不可を設定したり、やり方はソフトウェアによって違います。操作方法については、お使いのソフトウェアの説明書をご覧ください。

CutStudio には、線の色で出力データを仕分ける機能があります。

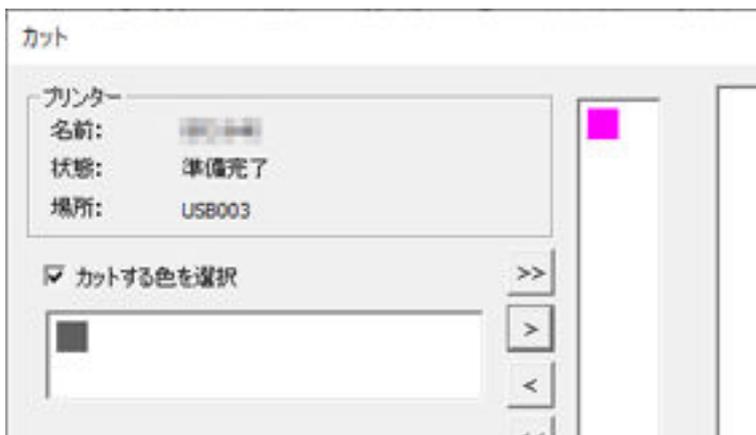
あらかじめ線に色を付けておき、出力時にどの色の線を出力するかを選ぶことができます。

手順

1. 色を付けたいオブジェクトを選択する。
2. ドッキングパネルの[線種と色]タブをクリックする。
3. [カット線]の[色]をクリックし、指定したい色を選択する。
一緒に出力したいカット線は同じ色に設定してください。



4.  をクリックする。
[カット]画面が開きます。
5. [カットする色を選択]をオンにする。
6. カットしたい色をクリックして選び、 をクリックします。
複数の色を指定できます。他の色もカットしたいときは、同じ操作をしてください。



7. [OK]をクリックする。
選んだカット線だけが出力されます。

もう一回カットする

カッティングマシンに送信された1つ前のカットジョブを指定回数カットします。

手順

1. シートをセットし、シートのサイズを測定する。
P. 22 シートをセットアップする
2. [ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替える。
3. [CUT TEST] を押す。
4. [▶] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
リカット/コピー  
セクタ: ◀ OK:ENTER
```

5. [ENTER] を押す。
現在設定されている値が画面に表示されます。

```
リカット # 1▲  
セクタ: ◀ OK:ENTER▼
```

6. [▶] を押して、[コピー] を選択する。

```
コピー # 1▲  
セクタ: ◀ OK:ENTER▼
```

7. [▲] [▼] を押して、繰り返す回数を選択する。
8. [ENTER] を押す。
指定回数カットを開始します。
9. カットが終了したら、[ON/OFF LINE] を押して、もとの画面に戻る。

関連情報

- P. 46 カットデータを作り、出力する
- P. 96 プリンタードライバーで重ね切りを設定する

印刷をし終えてから、まとめてカットする

AAS プラグインを使用して端材のシートにいくつもクロップマーク付きの印刷をしたあと、カッティングマシンでカットを印刷枚数分繰り返すやり方です。このとき、カットデータはその都度出力する必要はなく、最初に送ったカットデータを使ってくりかえしカットすることができます。

手順

1. 必要な枚数分、クロップマーク付きの印刷をする。
 - Adobe Illustrator: [GR2-640 ユーザーズマニュアル \(GreatCut-R をお使いの方\) - カットデータにクロップマークを設定する - AAS プラグインでクロップマークを設定する \(Adobe Illustrator\)](#)
 - CorelDRAW: [GR2-640 ユーザーズマニュアル \(GreatCut-R をお使いの方\) - カットデータにクロップマークを設定する - AAS プラグインでクロップマークを設定する \(CorelDRAW\)](#)
2. シートをセットし、シートのサイズを測定する。
[P. 22 シートをセットアップする](#)
3. カットデータをプリンターへ送信してカットする。
Adobe Illustrator: [2. カットする \(P. 50\)](#)
CorelDRAW: [2. カットする \(P. 54\)](#)
4. カット済みのシートを取り外す。
5. 次のシートをセットし、シートのサイズを測定する。
[P. 22 シートをセットアップする](#)
6. [ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替える。
7. [CUT TEST] を押す。
8. [▶] を何回か押して、以下の画面を表示する。

9. [ENTER] を押す。
以下の画面が表示されます。クロップマークが読み取られたあと、カットが開始します。

10. 手順 4～9 を、印刷した枚数分繰り返す。

メンテナンス

清掃と消耗品の交換

機体の清掃.....	127
シート接触部の清掃.....	127
カッターホルダーキャップの清掃.....	129
消耗品の交換.....	130
カッターの交換.....	131
カッタープロテクションの交換.....	133

機体の清掃

本機をより良い状態でお使いいただくために、定期的に清掃を実施してください。

警告

必ずこの手順の通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。
機械が思わぬ動作をして、けがややけどをすることがあります。

警告

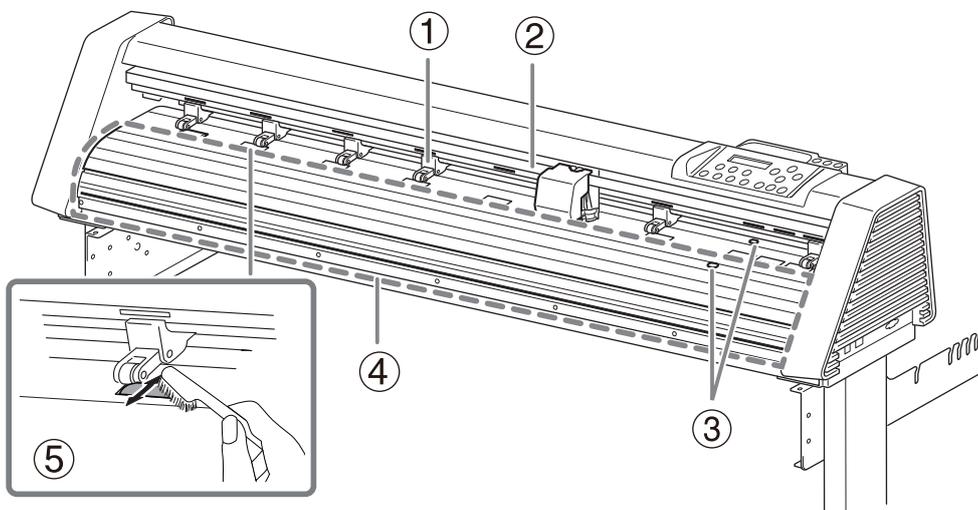
清掃に、ガソリン、アルコール、シンナーなどの溶剤を使わない。
火災の原因になります。

重要

清掃の前に、電源コードを抜いてください。
溶剤、研磨剤入り洗剤、強力な洗剤を使用しないでください。カッティングマシンの表面や可動部が破損する恐れがあります。

シート接触部の清掃

水を含ませてかたくしぼった布で汚れを拭き取ってください。



①	ピンチローラー	ローラーの回転を手でおさえ、ピンチローラーのゴム部に付着した汚れやシートくずを拭き取ってください。その後、乾いた布で拭いてください
②	キャリッジレール*1	汚れとほこりを拭き取ってください
③	ペーパーセンサー	汚れとほこりを拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください
④	プラテン	汚れとほこりを拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください
⑤	グリットローラー*1	ピンチローラーを上げてグリットローラーを回転しながら、ブラシ*2で表面のほこりを取り除いてください

*1 清掃するときはカッティングキャリッジを清掃箇所から離してください。

*2 金属ブラシは使用しないでください。

カッターホルダーキャップの清掃

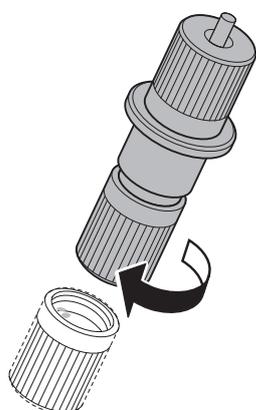
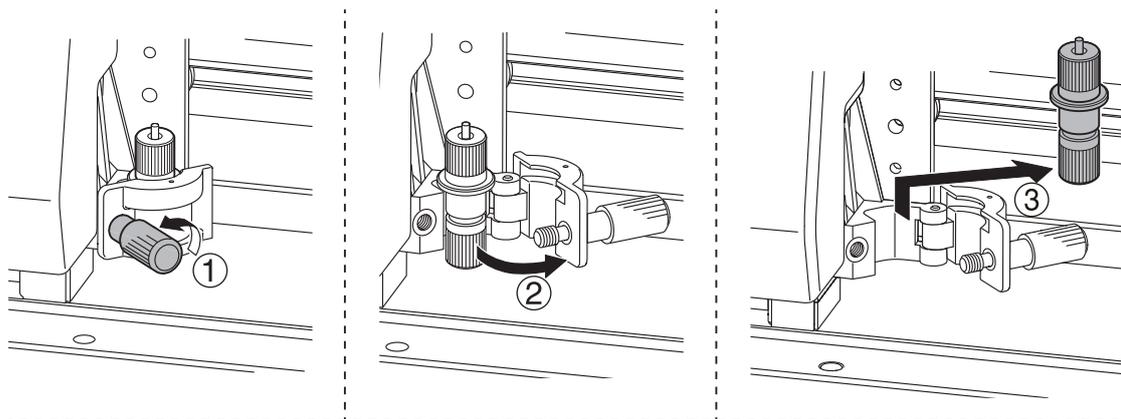
長時間使用したカッターホルダーはカッターを支持している軸受け部の劣化により、カッターが回転しにくくなります。そのまま使い続けると、刃先がうまく回転しないため、きれいにカットできなくなります。また、シートくずやほこりが入り込んでいますと、コーナー部や曲線部が綺麗にカットされない、またはカットがミシン目状になります。このような場合は、カッターホルダーキャップ部の清掃をしてください。

⚠ 注意

カッターの刃先に触らない。

けがをすることがあります。またカッターの切れ具合が悪くなります。

キャップを緩めて取り外し、キャップ内に付着したシートくずやほこりを取り除いてください。



メモ

清掃をしてもカットが改善されない場合は、新しいカッターホルダーに交換してください。

消耗部品の交換

消耗品の購入は当社ウェブサイト (<https://www.rolanddg.co.jp/>) または本機を購入した販売店までお問合せください。

カッター

以下のような場合はカッターの寿命です。新しいものと交換してください。

- 刃先が欠けてしまった
- カッター圧を 50~60 gf 上げても切り残しができる
- 以前と比べて切れ味が悪くなった
- 細かいカットや角をカットするときに台紙からシート部分がめくれあがるようになった
- 長時間の使用または固いシートをカットしたため、刃先が減っている

カッターホルダー

刃先調整をしてカッティングを行うと、カッターホルダーのキャップ部とシートがこする状態でカッティングするため、キャップの先端が徐々に摩耗します。摩耗が進んだ状態では、正しい刃先調整が行えず、きれいなカッティングができなくなります。カッターホルダーを新しいものに交換してください。

カッタープロテクション

以下のような場合はカッタープロテクションを交換してください。

- カッタープロテクション表面が切り傷などによって変形している
- 劣化によって破れたり破損している

カッターの交換

カッターの切れ味が悪くなったら、新しいカッターと交換してください。

⚠ 警告

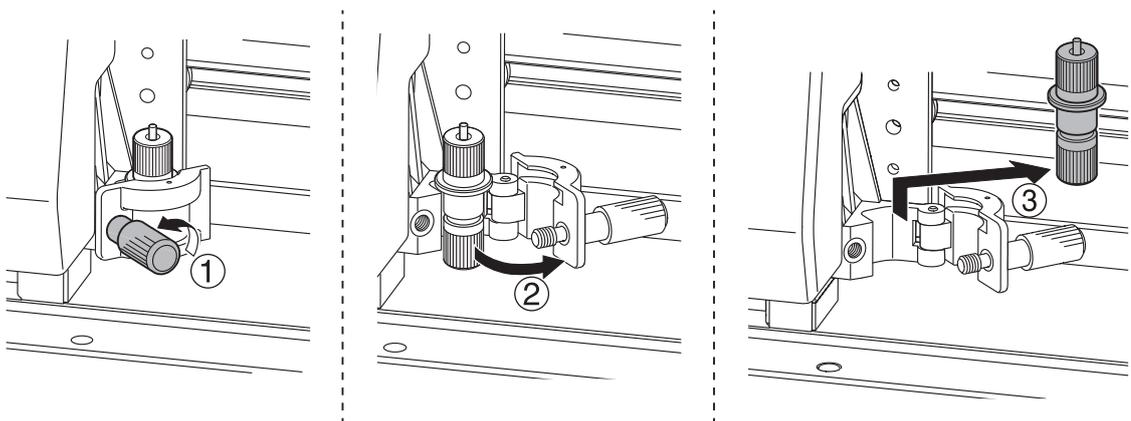
必ずこの手順の通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。
機械が思わぬ動作をして、けがややけどをすることがあります。

⚠ 注意

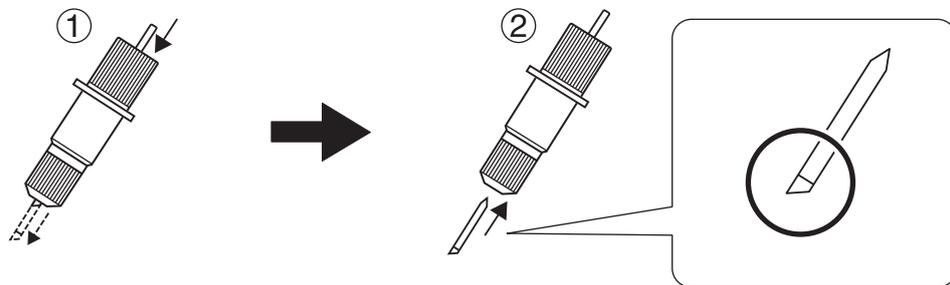
カッターの刃先に触らない。
けがをすることがあります。またカッターの切れ具合が悪くなります。

手順

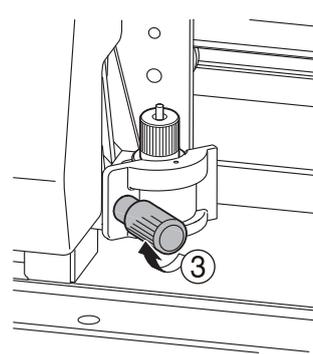
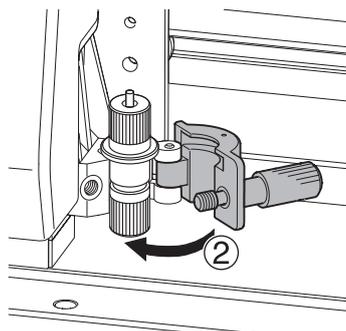
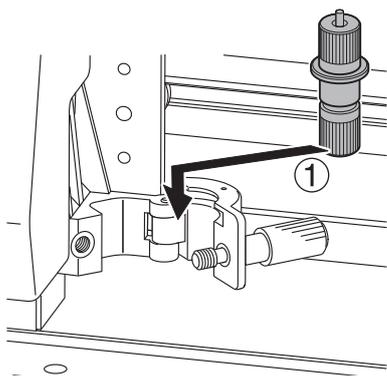
1. シートが取り付けられている場合は、シートを取り外す。
2. カuttingツールを取り外す。



3. カッターを交換する。
 - (1) ピンを押し、古いカッターを押し出す。
 - (2) 新しいカッターを差し込む。



4. CuttingツールをCuttingキャリッジに取り付ける。



5. ネジがしっかりと締められていることを確認する。

関連情報

- P. 36 シートを取り外す
- P. 99 切り込み量を調整する

カッタープロテクションの交換

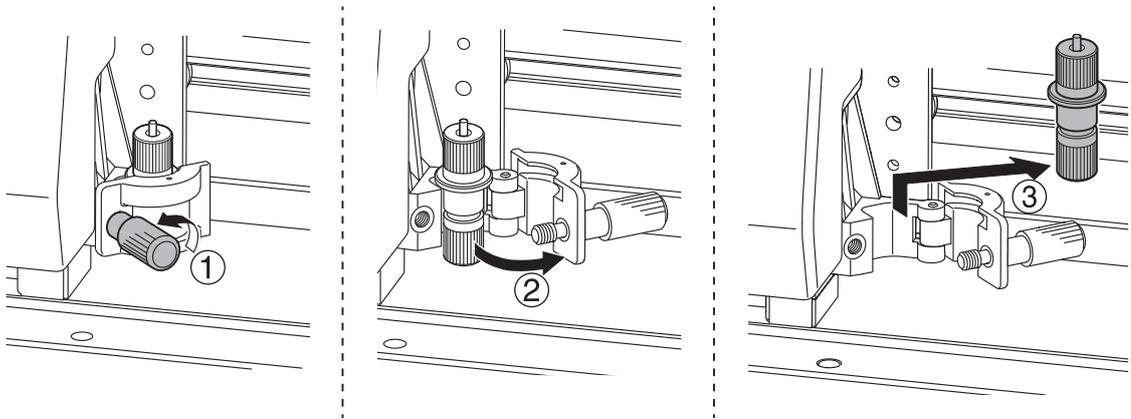
刃先突出量やカッター圧が適切に調整されていない状態でカッティングをすると、刃先が台紙を貫通しカッタープロテクションを傷つけてしまう場合があります。本機に付属するカッティングパッドと交換してください。

⚠ 注意

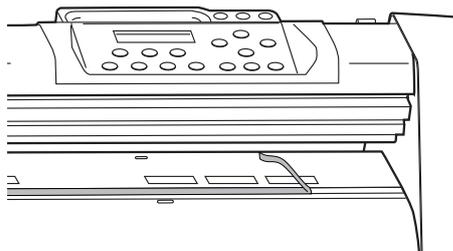
必ずこの手順通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。
機械が思わぬ動作をして、けがややけどをすることがあります。

手順

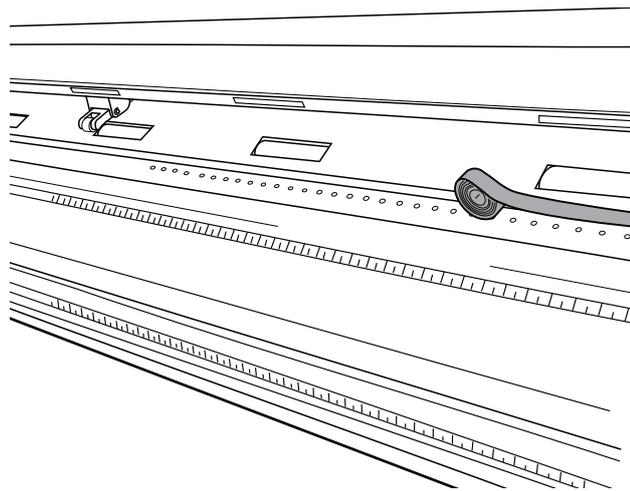
1. シートを取り外す。
レバーを上げておきます。



2. カッティングキャリッジを隅に移動する。
3. カッタープロテクションを取り外す。



4. カッタープロテクションと同じ位置にカッティングパッドをまっすぐ貼る。



AAS オフセットテスト

AAS オフセットテストをする.....	136
AAS オフセットを調整する	138

AAS オフセットテストをする

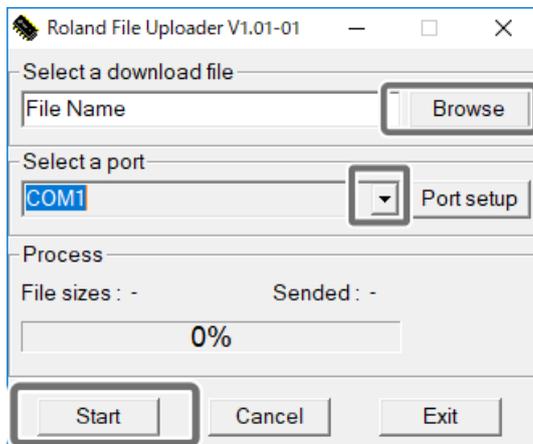
カッティングキャリッジに強い衝撃があると、AAS センサーによるクロップマークの読み取りにずれが生じることがあります。そのような場合は、「File Uploader」をインストールしたコンピューターから AAS オフセットテストファイルのデータを本機に送信して、AAS オフセットテストを実施します。

メモ

カッターのオフセット値は、AAS オフセットテストのためにセットされていません。使用するカッターに合わせてオフセット値を設定してください。

手順

1. ダウンロードした AAS オフセットテストファイルに格納されたいずれかのデータを高精度のプリンターで印刷する。
 - AAS II_X_Y_Offset_Caberation_A4.eps (A4 サイズ)
 - AAS II_X_Y_Offset_Caberation_600_600.eps (デフォルト設定のデータで、テストの使用に推奨)
2. 本機の電源をオンにする。
3. 手順 1 で印刷したシートを本機にセットアップする。
クロップマークの原点を右手前の向きにしてシートをセットしてください。
 - P. 22 シートをセットアップする
 - P. 168 余白とクロップマーク間の距離設定
4. [◀] [▼] [▲] [▶] を押して、クロップマークの原点近くにカッティングキャリッジを配置する。
 - P. 111 未使用で残ったところにカットする
5. USB ケーブルで本機とコンピューターを接続する。
6. 「File Uploader」を起動する。
7. 本機に送る送信用のファイルとポートを選択する。
 - (1) [Browse]を押して、印刷データと同じ条件の prn ファイルを選択する。
 - (2) [Select a port]のプルダウンからカッティンマシンのポートを選択する



8. [Start]をクリックする。
本機に AAS オフセットテストデータが送られ、カットが開始されます。

9. AAS オフセットテスト結果を確認する。

データに印刷された線と切断線の交点にずれがある場合は AAS オフセット調整をします。

関連情報

- [P. 138 AAS オフセットを調整する](#)

AAS オフセットを調整する

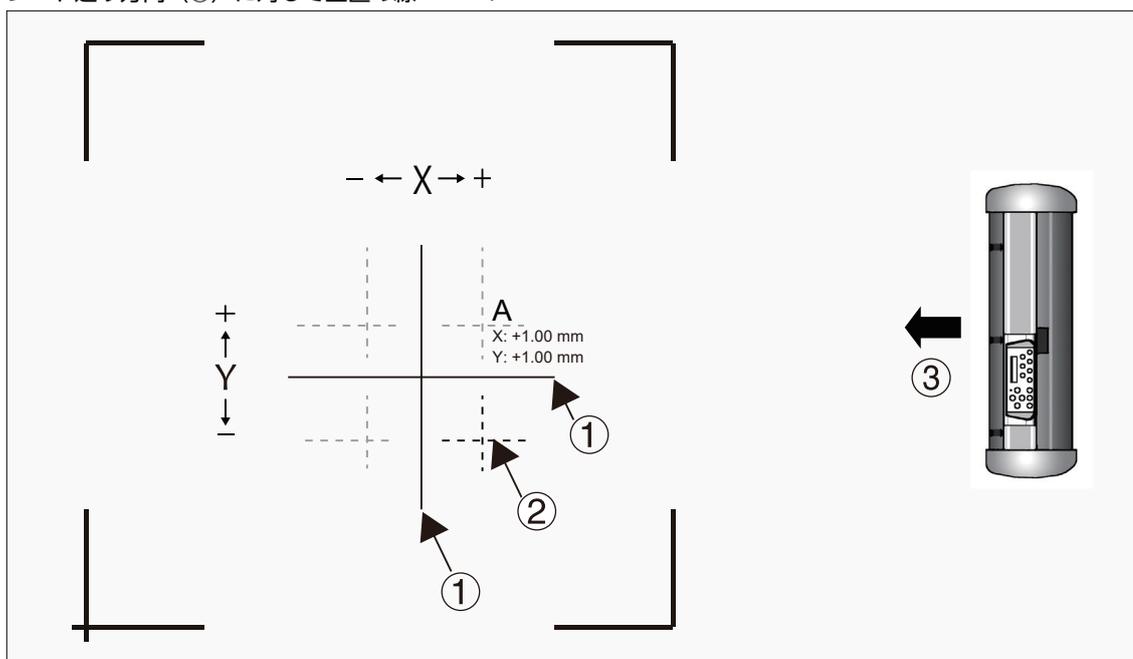
AAS オフセットテストの結果でずれが生じていた場合、幅と長さのずれを調整します。

手順

1. 印刷された線 (①) を基準にカット線 (②) のずれを測定する。

AAS オフセットテスト結果

- ・ シート送り方向 (③) に対して水平の線・・・X
- ・ シート送り方向 (③) に対して垂直の線・・・Y



2. [MISC] を押す。

シートがセットされている場合は、[ON/OFF LINE] を押して、オフラインモードに切り替えてください。

3. [▶] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
AAS オフセット  
センター: ◀ OK:ENTER
```

4. [ENTER] を押す。

5. [▶] を押して、X または Y にカーソルを移動し、[▲] [▼] で誤差の値を入力する。

```
AAS オフセット      mm  
▶ X: -1.000  Y: 0.100
```

プラスにカットされた場合は「-誤差」、マイナスにカットされた場合は「+誤差」を入力します。カット位置の結果が上図「AAS オフセットテスト結果」の (A) の場合、X、Y とともに「-1.00」と入力します。

6. [ENTER] を押す。

7. [ON/OFF LINE] を押して、もとの画面に戻る。

8. 再度 AAS オフセットテストを実施する。

関連情報

- [P. 136 AAS オフセットテストをする](#)

こんなときは

機体のトラブル

機体が動作しない.....	142
ケーブルは接続されていますか？.....	142
電源がオフになっていませんか？.....	142
パワー LED ランプが点灯していますか？.....	142
通信設定は正しいですか？.....	142
オンラインモードになっていますか？.....	142
アプリケーションソフトウェアの設定が間違っていないですか？.....	142
操作アプリからカットデータを送信できない.....	143
通信エラーが発生していませんか？.....	143

機体が動作しない

ケーブルは接続されていますか？

電源コードやコンピュータとの通信ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

電源がオフになっていませんか？

本機の電源をオンにしてください。

パワー LED ランプが点灯していますか？

本機の電源をいったんオフにしてからもう一度オンにしてください。電源をオンにしても LED ランプが点灯せず、操作パネルの表示画面にメニューが表示されない場合は、お買い上げの販売店または当社コールセンターまでご連絡ください。

通信設定は正しいですか？

ケーブルがしっかり接続されておりネットワークに問題がない場合は、IP アドレスなどの設定が適切か確認してください。本機とコンピュータの両方の設定が適切である必要があります。ネットワーク上で IP アドレスが重複していないか、ドライバーのインストールのときに本機で設定した IP アドレスがコンピュータ側に指定されているか、出力ポートや出力デバイスが正しく設定されているか、入力ミスがないかなどを確認しながら設定をやりなおしてください。

オンラインモードになっていますか？

ディスプレイがオフラインモードになっているときは、データを送ってもカッティングできません。

[ON/OFF LINE]を押して、オンラインモードに切替えてください。

シートがセットされていない場合は、オンラインモードに切替わりません。シートをセットアップしてください。

関連情報

- ・ [P. 22 シートをセットアップする](#)

アプリケーションソフトウェアの設定が間違っていないですか？

本機に対応したドライバを選択してください。選択方法はお使いのアプリケーションソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

操作アプリからカットデータを送信できない

通信エラーが発生していませんか？

通信が不安定だったり通信エラーが発生していると、本機にカットデータを送信することができません。

カットデータが送信されないときは、本機とコンピュータの接続方法を変更してください。

- 本機とコンピュータを USB 接続している場合、ポートを差し替える、またはイーサネットに変更してください。
- 本機とコンピュータを LAN 接続している場合、USB 接続に変更してください。

カット出力のトラブル

クロップマークを検出できない	145
シートを正しく取り付けましたか?	145
白色以外、または光沢の強いシートを使っていますか?	145
透明なシートを使っていますか?	145
シートに折り目やしわがついていませんか?	145
クロップマークがかすれているか、黒以外の色ではありませんか?	145
クロップマークは正しい位置に配置されていますか?	145
直射日光や室内照明の強い光が当たっていますか?	146
シートはまっすぐきちんとセットしてありますか? 印刷結果が斜めになってい ませんか?	146
クロップマークの大きさや形は正しいですか?	146
拡大/縮小印刷をしていませんか?	146
クロップマークの線幅は適切ですか?	146
シート送りがなめらかでない	147
シートが厚すぎませんか?	147
グリットローラーが汚れていませんか?	147
シートはまっすぐきちんとセットしてありますか?	147
カッティング中、ピンチローラーからシートが外れる	148
シートがルーラーの目盛りと平行に取り付けられていますか?	148
カッティング中にシートが障害物に当たっていませんか?	148
シート送りを確認せずにカッティングを実行しませんでしたか? (ロールシー トの場合)	148
ピンチローラーでシートの両端を固定していますか?	148
カッティング中にシートが浮き上がり、カッターでシートを傷つけてしまう	149
幅の広いシートを使用していませんか?	149
カッティングキャリッジの水平移動の速度が速すぎませんか?	149

クロップマークを検出できない

シートを正しく取り付けましたか？

シートを正しくセットしてください。

関連情報

- ・ [P. 22 シートをセットアップする](#)

白色以外、または光沢の強いシートを使っていませんか？

模様や色がついているとクロップマークを検出できません。また白色でも光沢の強いシートはクロップマークを検出できないことがあります。

光沢のない（光沢の弱い）白色のシートを用意して、印刷から作業をやり直してください。

関連情報

- ・ [P. 10 使用可能なシートの条件](#)

透明なシートを使っていませんか？

透明なシートの場合、クロップマークを検出できません。使用するシートを変更してください。

関連情報

- ・ [P. 10 使用可能なシートの条件](#)

シートに折り目やしわがついていませんか？

折り目やしわがついているシートを使うとクロップマークが読み取れないことがあります。

折り目やしわを伸ばしてから、もう一度シートを取り付けなおしてください。それでも読み取れない場合は、折り目やしわのない新しいシートを用意して、印刷から作業をやり直してください。

クロップマークがかすれているか、黒以外の色ではありませんか？

クロップマークの色を黒にし、お使いのプリンターで印刷濃度を 100% に指定して印刷し直してください。

関連情報

- ・ [P. 64 データを作り、出力する](#)

クロップマークは正しい位置に配置されていますか？

クロップマークを正しい位置に配置してください。

関連情報

- ・ [P. 168 余白とクロップマーク間の距離設定](#)

直射日光や室内照明の強い光が当たっていませんか？

カッティングキャリッジのセンサーに直射日光や室内照明が当たると、クロップマークを検出できないことがあります。直射日光や室内照明が当たらないように本体の設置場所を変えてください。

シートはまっすぐきちんとセットしてありますか？印刷結果が斜めになっていませんか？

クロップマークの原点を基準に2番目のクロップマークが許容範囲を超えて傾いていると、クロップマークを検出できません。クロップマークに傾きがないようにシートをセットまたは印刷してください。

関連情報

- ・ [P. 24 シートの取り付けについて](#)

クロップマークの大きさや形は正しいですか？

本機では決められた形以外のクロップマークは検出できません。CutStudio、VersaWorks、AAS プラグインでクロップマークを生成してください。

関連情報

- ・ [P. 167 クロップマークの種類](#)

拡大／縮小印刷をしていませんか？

印刷するときに、サイズを拡大／縮小すると、カットするときにクロップマークが読みとれません。倍率は 100 %に指定して印刷してください。

関連情報

- ・ [P. 64 データを作り、出力する](#)

クロップマークの線幅は適切ですか？

クロップマークの線幅が細いとクロップマークが読み取れないことがあります。クロップマークの線幅を太く設定しなおしてください。

シート送りがなめらかでない

シートが厚すぎませんか？

カッティング可能な厚みのシートをお使いください。厚いシートは材質によってシート送りが不安定になることがあります。

関連情報

- ・ [P. 10 使用可能なシートの条件](#)

グリットローラーが汚れていませんか？

グリットローラーにシートカスなどの異物が付着していないか確認してください。定期的な清掃をおすすめします。

関連情報

- ・ [P. 127 シート接触部の清掃](#)

シートはまっすぐきちんとセットしてありますか？

斜めになっていたり、シートの張り具合が左右で違っていたりするとスムーズに送られません。シートをセットしなおしてください。

関連情報

- ・ [P. 24 シートの取り付けについて](#)

カッティング中、ピンチローラーからシートが外れる

シートがルーラーの目盛りと平行に取り付けられていますか？

シートの手前が斜めにカットされている場合はルーラーの目盛りと平行になるよう余分な部分を切り取ってから取り付けてください。

カッティング中にシートが障害物に当たっていませんか？

カッティング中、シートの左右端が本機の内側面に当たらないようにしてください。シートが傷むだけでなく、正常なシート送りができなくなり、シートの位置がずれてきます。

シート送りを確認せずにカッティングを実行しませんでしたか？（ロールシートの場合）

シート送りを確認せずにカットを始めると、シートがうまく送れなかった場合、正しいカッティング結果が得られないだけでなく、エラーや故障、シートの破損の原因となることがあります。

関連情報

- ・ [P. 25 ロールシートをセットする](#)

ピンチローラーでシートの両端を固定していますか？

グリットローラーの範囲内にピンチローラーが配置されていないと、シートが固定されず、正常にシートが送られません。シートをセットしなおしてください。

カッティング中にシートが浮き上がり、カッターでシートを傷つけてしまう

幅の広いシートを使用していませんか？

幅の広いシートを使用する場合は、ピンチローラーをシートの中央付近のグリットローラー上にも配置してください。

カッティングキャリッジの水平移動の速度が速すぎませんか？

カッティングキャリッジの水平移動の速度を下げてください。またカット速度を落としてください。

関連情報

- [P. 118 カッティング中の空送り速度を設定する](#)
- [P. 119 空送り速度の加速レベルを設定する](#)

カット品質のトラブル

プリントとカットがずれる.....	151
厚手のシートを使用していませんか？	151
センサーの読み取りにずれがありませんか？	151
カッティング前にシートが引き出されるように設定していますか？	151
カットデータを回転していませんか？	151
切り残しがある/カットした線がきれいでない	152
カッター、カッターホルダーはしっかりと取り付けられていますか？	152
カッターの刃先が欠けていませんか？	152
刃先にほこりやシートの糊がついていませんか？	152
カッターホルダーの内部にシートやほこりが入り込んでいませんか？	152
厚手のシートを使用していませんか？	152
カット圧、カッティング速度は適切ですか？	152
刃先補正量は適切ですか？	153
スムージングが[ムコウ]になっていませんか？	153
カッタープロテクションが傷ついたり、変形したりしていませんか？	153
台紙をカットしてしまう	154
カットするシートに対して、カッターの刃先調整、カッター圧は適切ですか？	154
二度切りされてしまう	155
線が重なっていませんか？	155
CutStudioの「重ね切り回数」は「0」になっていますか？	155
プリンタードライバーの[Back to Home]がオンになっていませんか？	155
カットの始終点が合わない.....	156
シート送りを設定しましたか？	156

プリントとカットがずれる

厚手のシートを使用していませんか？

実際に使用するシートに合わせてカット長さを補正してください。

関連情報

- ・ [P. 104 シートの厚みを考慮してカッティング時の距離補正をする](#)

センサーの読み取りにずれがありませんか？

長時間のご使用や本機への強い衝撃等により、AAS センサーによるクロップマークの読み取りにずれが生じることがあります。AAS オフセットテストを実施してください。

関連情報

- ・ [P. 136 AAS オフセットテストをする](#)

カッティング前にシートが引き出されるように設定していますか？

ロールシートまたは長さ 1.6 m を超える平型シートを使用する場合、カットデータに必要なシート長さが引き出されていない状態でカットすると、シートがずれたり、モーターエラーによって動作が停止したりすることがあります。カッティング前にシートが引き出されるよう設定してください。

関連情報

- ・ [P. 106 シート送りを設定して位置ずれを防ぐ](#)

カットデータを回転していませんか？

CutStudio でクロップマーク付きのカットデータを初期設定から回転させた場合、原点位置が変わってしまうためカット位置がずれます。

CutStudio の[**カット設定**]を開いて、[**回転**]リストボックスから[**右へ 90°**]を選択してください。

切り残しがある/カットした線がきれいでない

カッター、カッターホルダーはしっかりと取り付けられていますか？

カッティング中にネジが緩まないようにしっかりと取り付けてください。

関連情報

- ・ [P. 131 カッターの交換](#)

カッターの刃先が欠けていませんか？

新しいカッターに交換してください。

関連情報

- ・ [P. 131 カッターの交換](#)

刃先にほこりやシートの糊がついていませんか？

カッターを取り外し、刃先を掃除してください。

関連情報

- ・ [P. 131 カッターの交換](#)

カッターホルダーの内部にシートやほこりが入り込んでいませんか？

カッターホルダーの先端を取り外し、中に入り込んだシートやほこりを取り除いてください。

関連情報

- ・ [P. 129 カッターホルダーキャップの清掃](#)

厚手のシートを使用していませんか？

実際に使用するシートに合わせてカット長さを補正してください。またカット速度を遅めにして、カット品質のレベルをあげて設定してください。

関連情報

- ・ [P. 104 シートの厚みを考慮してカッティング時の距離補正をする](#)
- ・ [P. 44 カット速度を設定する](#)

カット圧、カッティング速度は適切ですか？

カットテストを行い、うまくカットできるまで適切な値に設定してください。

関連情報

- ・ [P. 41 カットテストをする](#)

刃先補正量は適切ですか？

カッターに対して刃先補正量（オフセット量）が正しくセットされていないと、角が丸くなったり、ツノができたりします。刃先補正量を適切な値にしてください。

関連情報

- ・ [P. 45 刃先補正量を設定する](#)

スムージングが[ムコウ]になっていませんか？

曲線をきれいにカットする場合は、スムージングを[ユウコウ]にしてください。

関連情報

- ・ [P. 102 円弧等の曲線をなめらかにカットする（スムージング）](#)

カッタープロテクションが傷ついたり、変形したりしていませんか？

カッタープロテクションに傷がついていると、本機の設定およびカッターやカッターホルダーの取り付け方が正しくても、シートがうまく切れないことがあります。

本機に付属するカッティングパッドに交換してください。

関連情報

- ・ [P. 133 カッタープロテクションの交換](#)

台紙をカットしてしまう

カットするシートに対して、カッターの刃先調整、カッター圧は適切ですか？

カットテストを行い、適切な刃先調整およびカット圧調整を行ってください。

関連情報

- ・ [P. 40 カッティング条件の目安](#)
- ・ [P. 41 カットテストをする](#)
- ・ [P. 99 切り込み量を調整する](#)

二度切りされてしまう

線が重なっていませんか？

同じデータがコピーされて線が重なっていることがあります。データを確認してください。

CutStudio の「重ね切り回数」は「0」になっていますか？

CutStudio の[カット]画面で、[重ね切り回数]が0以外に設定されているときは重ね切りが設定されています。[重ね切り回数]を0に設定してください。

関連情報

- ・ [P. 96 CutStudio で重ね切りを設定する](#)

プリンタードライバーの[Back to Home]がオンになっていませんか？

プリンタードライバーの[Back to Home]がオンになっていると、カット済みの場所に次の出力が重なってしまうことがあります。[Back to Home]をオフにしてください。

カットデータを出力するとき[Back to Home]がいつもオンになっている場合は、ドライバーにその設定が保存されています。ドライバーに保存された設定を変更する手順は、以下の通りです。

手順

1. プリンタードライバーのプロパティ画面を開く。
 - ・ Windows 11:
 - a. [スタート]>[設定]をクリックする。
 - b. [Bluetooth とデバイス]>[プリンターとスキャナー]をクリックする。
 - c. 本機を選び、[プリンターのプロパティ]をクリックする。
 - ・ Windows 10:
 - a. [スタート]>[Windows システムツール]>[コントロールパネル]をクリックする。
 - b. [デバイスとプリンターの表示]をクリックする。
 - c. 本機のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ]をクリックする。
2. [Cutter]タブをクリックし、[Back to Home]をオフにする。
3. [Save To Default]をクリックする。
4. [OK]をクリックする。

関連情報

- ・ [P. 96 プリンタードライバーで重ね切りを設定する](#)

カットの始終点が合わない

シート送りを設定しましたか？

ロールシートまたは 1.6 m を超える平型シートを使用する場合、カットデータに必要なシート長さが引き出されていない状態でカットすると、カットの始終点が合わないことがあります。

カッティング前にシートが引き出されるよう設定してください。

関連情報

- [P. 106 シート送りを設定して位置ずれを防ぐ](#)

操作パネルのメッセージ

メッセージ.....	158
[File Too Large Press OFFLINE]	158
[Buffer Empty Press OFFLINE]	158
[Reboot Please]	158
[File size exceed 16M Please adjust]	158
[Please Stop Transmit File: Press OFFLINE]	158
[AAS Detect Fail]	158
[AAS ADC Value Error]	158
エラーメッセージ	159
[Error; Rollers Are /Up Sensor]	159
[Error; Check Media Or Drum Or X Motor]	159
[Error; Check Media Or Y Motor]	159
[Error; Check Carriag Sensor Or VC Motor]	159
[Out Of Space; # of Copies finished]	159
[HPGL/2 Cmd. Error]	159
[Communication Error Setup Press MISC]	159
[AAS File Command Error]	160
[ERROR: AAS CMDs was Wrapped]	160

メッセージ

正しい操作を促すために、本機の表示画面に表示される主なメッセージです。特にエラーを示すものではありません。メッセージに従って操作してください。

〔File Too Large Press OFFLINE〕

繰り返しジョブを実行するとき、ファイルの容量がバッファメモリを超えました。
ファイルの容量を確認して再送してください。

〔Buffer Empty Press OFFLINE〕

繰り返しジョブを実行するとき、メモリが空になっています。
ファイルを確認して再送してください。

〔Reboot Please〕

工場出荷の設定（初期設定）に戻したため、再起動する必要があります。
本機の電源をオフにして、再度電源をオンにしてください。

関連情報

- ・ [P. 20 すべての設定を初期設定に戻す](#)

〔File size exceed 16M Please adjust〕

AAS ファイルの容量が 16MB を超えています。
ファイルの容量を確認してください。

〔Please Stop Transmit File: Press OFFLINE〕

ジョブが実行されているときに、出力を中止しました。
ジョブを再送してください。

〔AAS Detect Fail〕

クロップマークの自動検出に失敗しました。
クロップマークの位置を確認し、クロップマークの長さや幅を大きくしてください。その後、ジョブを再送してください。

〔AAS ADC Value Error〕

クロップマークとシートとのコントラストが低すぎます。
クロップマークの線幅を太くしてください。

エラーメッセージ

本機の表示画面に表示されるエラーメッセージとその対処方法です。ここで説明する対処をしても復帰できない場合や、ここにないエラーメッセージが表示された場合は、お買い上げの販売店または当社コールセンターまでご連絡ください。

〔Error; Rollers Are /Up Sensor〕

シートサイズの測定時にエラーが発生した。
ピンチローラーを2つ以上降ろしてください。

関連情報

- ・ [P. 24 シートの取り付けについて](#)

〔Error; Check Media Or Drum Or X Motor〕

X モーターにエラーが発生した。
電源オフ後、お買い上げの販売店または当社コールセンターにディスプレイに表示されたメッセージをご連絡ください。

〔Error; Check Media Or Y Motor〕

Y モーターにエラーが発生した。
電源オフ後、お買い上げの販売店または当社コールセンターにディスプレイに表示されたメッセージをご連絡ください。

〔Error; Check Carriag Sensor Or VC Motor〕

VC モーターにエラーが発生した。
電源オフ後、お買い上げの販売店または当社コールセンターにディスプレイに表示されたメッセージをご連絡ください。

〔Out Of Space; # of Copies finished〕

カットテストを実行するのに十分なシートサイズがない。
シートを確認し、サイズを変更してください。

〔HPGL/2 Cmd. Error〕

不明な命令を受信した。
ファイルの設定を確認してください。

〔Communication Error Setup Press MISC〕

コンピューターから命令を受信するとき、RS-232 とコンピューターの通信設定が一致しない。
通信設定を確認してください。

関連情報

- ・ [P. 17 システム情報を確認する](#)

[AAS File Command Error]

AAS ジョブを実行するとき、コンピュータ上のファイルとセットされたシートの最初のクランプマークの方向が一致しない。印刷されたシートと送信用ファイルの方向を確認してください。

関連情報

- ・ [P. 24 シートの取り付けについて](#)

[ERROR: AAS CMDs was Wrapped]

AAS をやり直しする場合、上限を超えている。
コピー回数を減らしてください。

付録

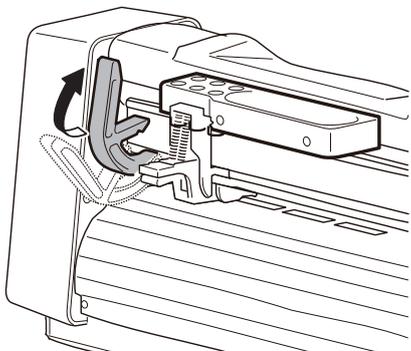
移送するときの作業

シートとカッターホルダーを取り外す.....	163
カッティングキャリッジとピンチローラーを固定具で固定する	164
USB ケーブルバンドを取り外す	165

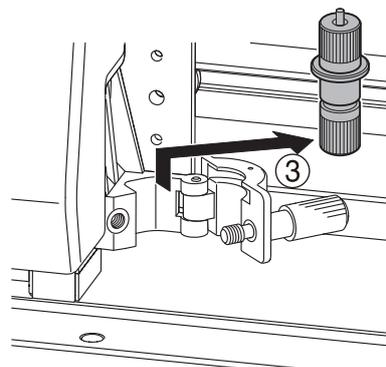
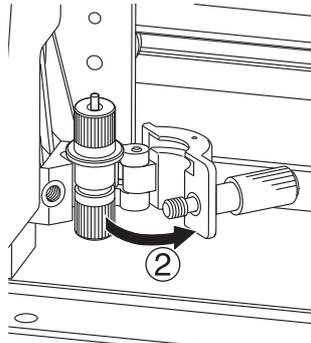
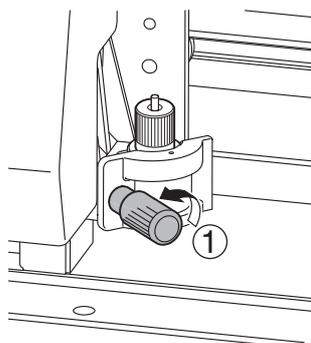
シートとカッターホルダーを取り外す

手順

1. レバーを上げる。
シートが取り付けられている場合は、シートを取り外します。



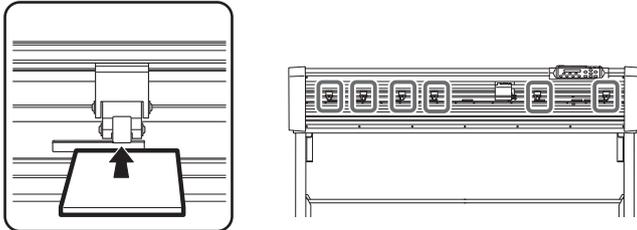
2. カuttingツールを取り外す。



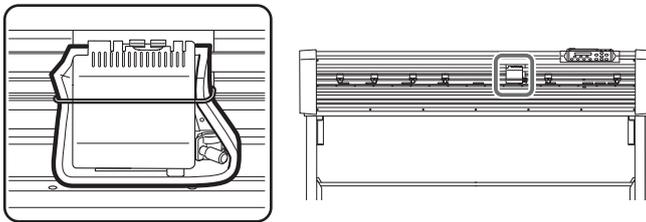
カッティングキャリッジとピンチローラーを固定具で固定する

手順

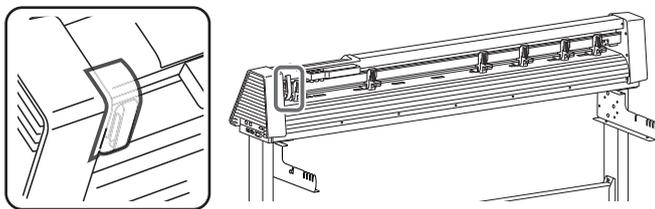
1. 設置時に保管した固定具を用意する。
2. ピンチローラーとカッタープロテクションの間に固定クッションを挟む。



3. カッティングキャリッジを緩衝材で包む。



4. レバーが動かないよう、テープ等で固定する。

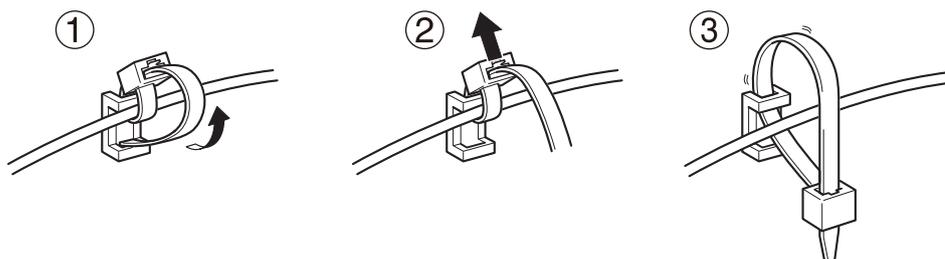
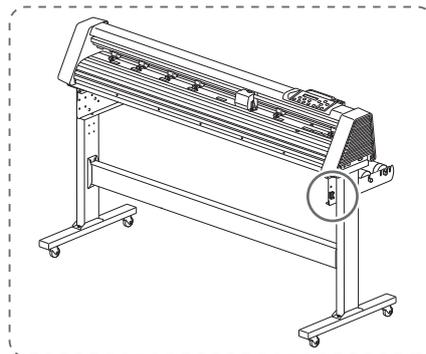


USB ケーブルバンドを取り外す

USB ケーブルバンドは取り外さず、機体に固定させておいても構いません。取り外した USB ケーブルバンドを取り付けるときは、セットアップマニュアルを参照してください。

手順

1. USB ケーブルバンド先端をバンドヘッドから引き抜く。
2. ケーブルバンドのピンを押し込んでから手前に引く。
3. ケーブルバンドを緩める。



クroppマークについて

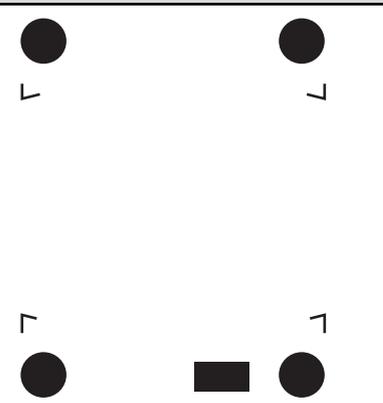
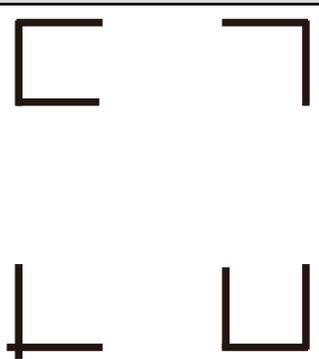
クroppマークの種類.....	167
余白とクroppマーク間の距離設定	168
CutStudio / VersaWorks の作業領域と必要な余白	168
AAS プラグイン の作業領域と必要な余白	169
AAS プラグインでの位置合わせについて	170
4 点方式	170
セグメント方式.....	171
複数方式.....	172

クロップマークの種類

プリンターで印刷したシートを本機でカットする場合、印刷位置とカット位置をぴったり合わせる必要があります。この位置合わせに利用するのが、「クロップマーク」です。グラフィックの周囲にクロップマークを付けて印刷し、カットのまえにそれらをスキャンして位置を合わせます。

クロップマークは、VersaWorks、CutStudio、AAS プラグインを使ってデータに付加できます。

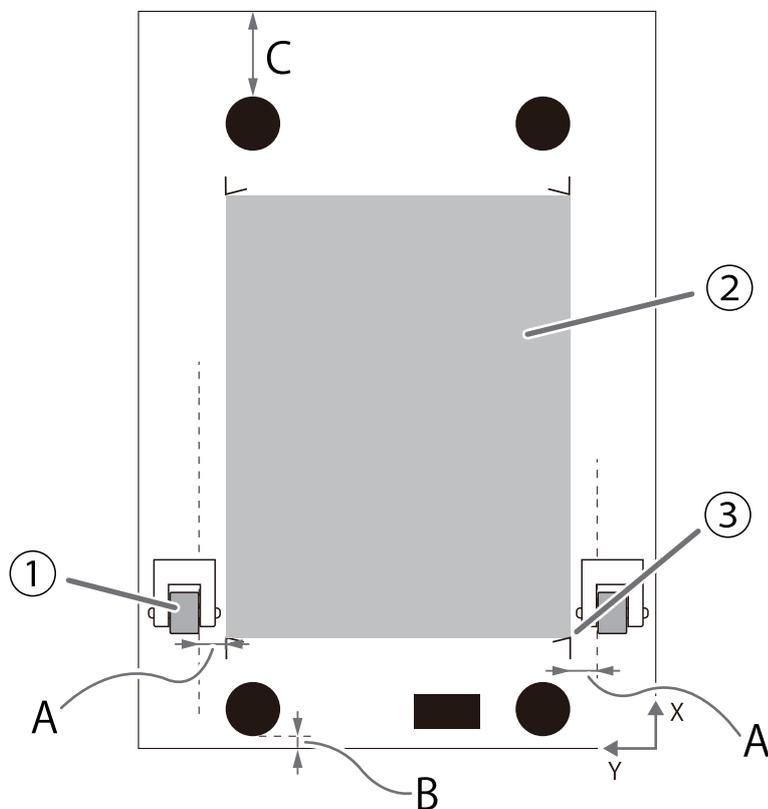
クロップマーク形状は、以下の通りです。

	CutStudio / VersaWorks	AAS プラグイン
クロップマークの形状		

余白とクロップマーク間の距離設定

CutStudio / VersaWorks の作業領域と必要な余白

クロップマークを使用する場合の作業領域と必要な余白です。

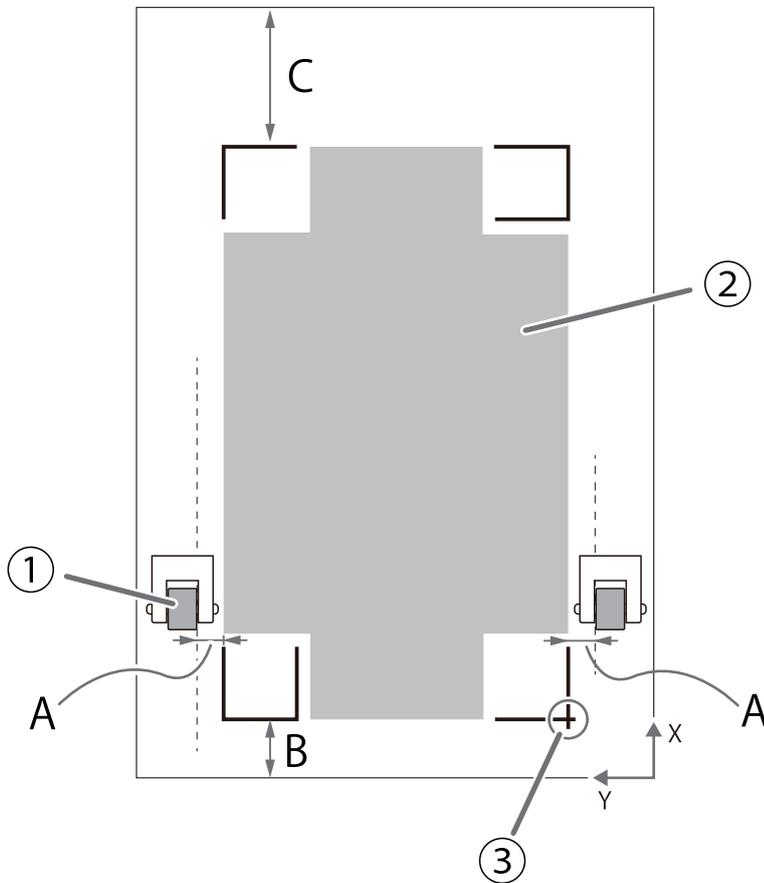


①	ピンチローラー
②	作業領域
③	クロップマーク原点
A	25 mm
B	5 mm
C	最小 80 mm (または 50 mm* ¹)

*1 送り方向 (長さ) 拡張時

AAS プラグイン の作業領域と必要な余白

クロップマークを使用する場合の作業領域と必要な余白です。



①	ピンチローラー
②	作業領域
③	クロップマーク原点
A	10 mm
B	20 mm
C	最小 80 mm (または 50 mm*1)

*1 送り方向 (長さ) 拡張時

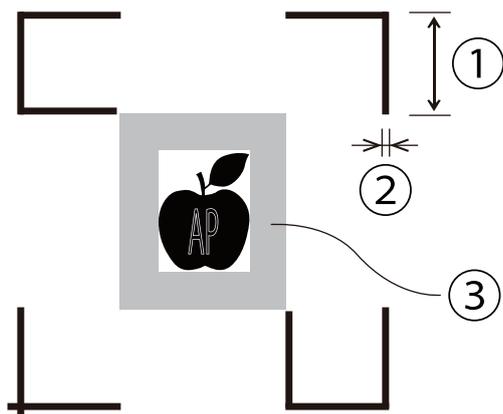
AAS プラグインでの位置合わせについて

AAS プラグインでは、クロップマークを付加する数や位置により、3つの方式があります。

4点方式

選択するオブジェクトの四隅に作成されるクロップマークです。

4点方式の設定条件が全てのクロップマークに引き継がれます。オブジェクトごとではなく、ページ全体でクロップマーク設定したいときに使用するクロップマークです。

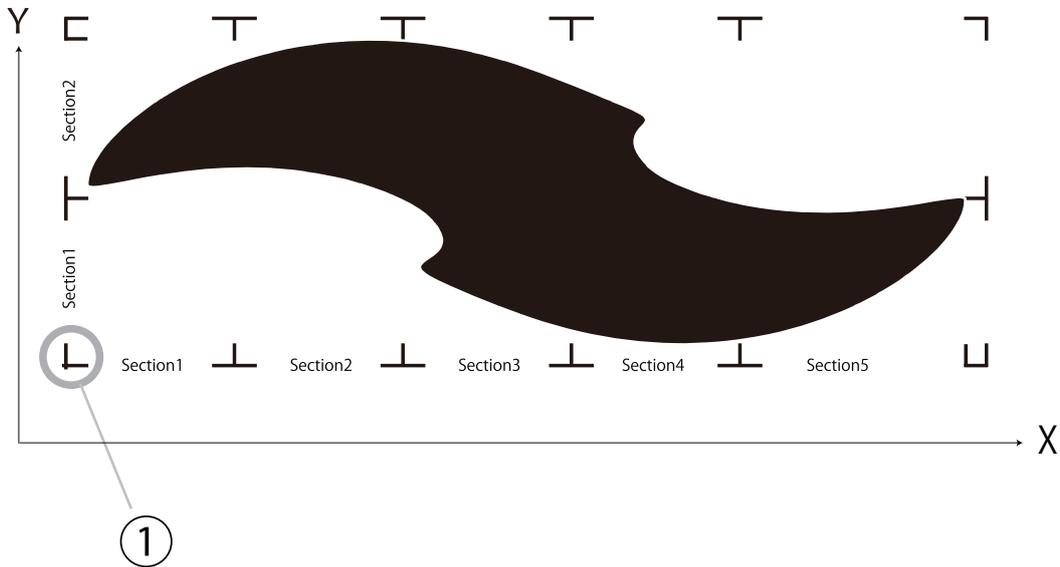


クロップマークの長さや線幅、オブジェクトとの余白を以下の範囲内に収めてください。

	設定項目	設定範囲	推奨値
①	長さ/ Length	5 ~ 50 mm	25 mm
②	線幅/ Thickness	1 ~ 2 mm	1 mm
③	余白/ Margin	0 ~ 50 mm	5 mm

セグメント方式

長尺印刷物のカットに適したクロープマークです。長いシートのカット時に「ゆがみを補正」したり、「分割してスキャン」したりします。4点方式クロープマークの中間に、クロープマークの原点 (①) から X (送り方向)、Y (幅) に指定した距離で中間のクロープマークが追加されます。

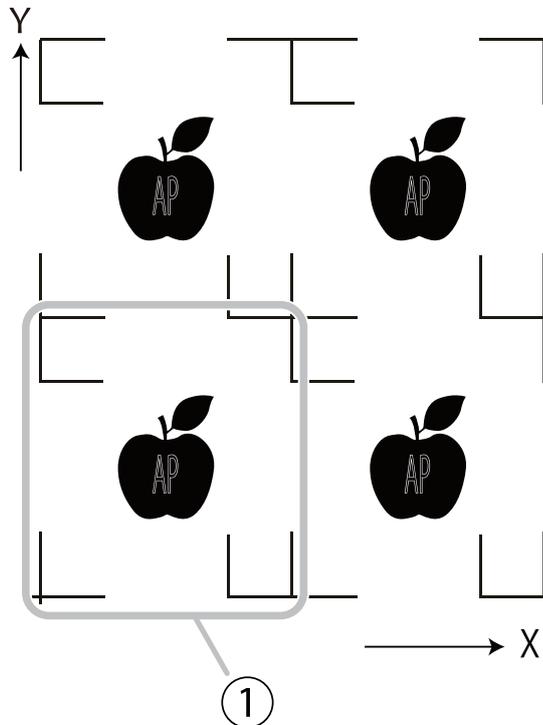


	設定範囲
X : 送り方向	50 ~ 600 mm
Y : シート幅	200 ~ 600 mm

複数方式

4点方式のク롭マークの設定条件を基本に、複製する数量と複製方向（X、Y方向）を指定して作成します。

選択したオブジェクトに対して1つのク롭マークが対になって付加されるので、複雑なオブジェクトをいくつもカットしたいときなどにおすすめです。



①

元データ

Memo

記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。

